

# D V基本計画策定に係る市民意識調査 結果報告書

令和5年3月

大津市





# 目 次

I 調査概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査項目.....	1
3. 調査の設計.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書の見方.....	1
6. 回答者の属性.....	2
II 調査結果.....	3
1. 配偶者やパートナーなど近い人間関係の中で起こる身体的、精神的、性的な暴力 (DV等)について.....	3
(1) DVの認知度.....	3
(2) デートDVの認知度.....	7
(3) DV防止法の認知度.....	11
(4) 身近での見聞き経験.....	13
(5) 自身のDV被害経験.....	14
(6) 自身のデートDV被害経験.....	18
(7) DV・デートDV被害の対応.....	22
(8) DV・デートDV被害で何もしなかった理由.....	39
(9) 相談機関の認知度.....	56
(10) DV被害の相談相手.....	58
2. DVと児童虐待との関連性やそのほか家庭内に生じる影響などについて.....	61
(1) 児童虐待の内容.....	61
(2) 児童虐待の理解.....	62
(3) 心理的虐待について.....	64
(4) 家族内に生じる影響.....	65
3. DVやデートDVに対する取組等について.....	67
(1) DV・デートDV未然防止に対する有効な取組.....	67
(2) DV・デートDV支援に対する有効な取組.....	71
(3) DV・デートDVに関する意見.....	73

# I 調査概要

## 1. 調査の目的

本市では、「大津市配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する基本計画」(DV基本計画)を策定している。この計画の期間が令和5年度末をもって終了するため、次期計画の基礎資料とする。

## 2. 調査項目

- (1) 配偶者やパートナーなど近い人間関係の中で起こる身体的、精神的、性的な暴力(DV等)について
- (2) DVと児童虐待との関連性やそのほか家庭内に生じる影響などについて
- (3) DVやデートDVに対する取組等について

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 大津市全域
- (2) 調査対象 市内在住の満18歳以上の男女個人
- (3) 標本数 2,000人
- (4) 抽出方法 無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法・インターネット調査法の併用
- (6) 調査期間 令和5年2月1日～2月17日
- (7) 調査実施機関 日本情報通信株式会社

## 4 回収結果

標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)
	郵送	インター ネット	
2,000	601	151	37.6

## 5. 報告書の見方

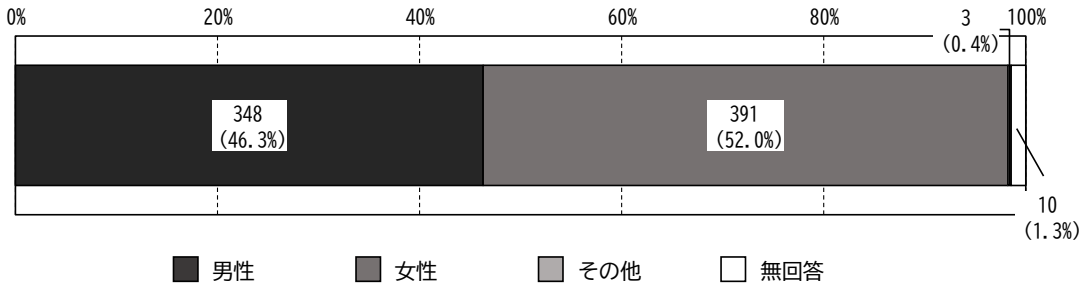
- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため合計が100.0パーセントにならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数)として掲載した。したがって比率は、nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何パーセントを占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常100パーセントを超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。
- (5) 自由記述については、判別不明なものなどは伏字で表示する等を行っている。

## 6. 回答者の属性

### 【性別】

図1 性別

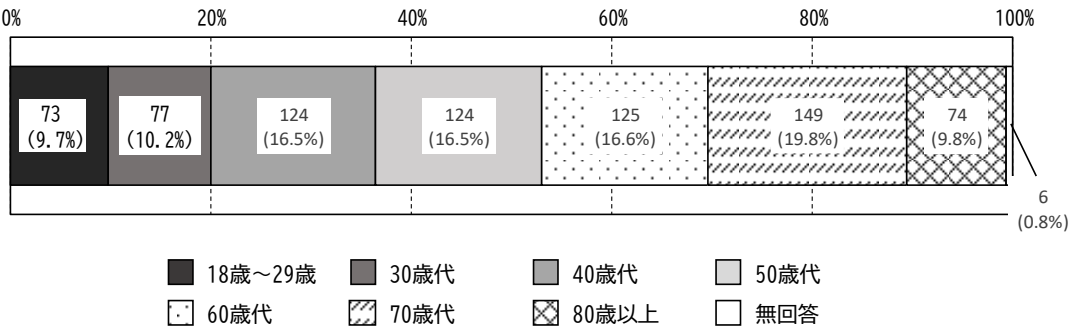
回答者数 (n=752)



### 【年代】

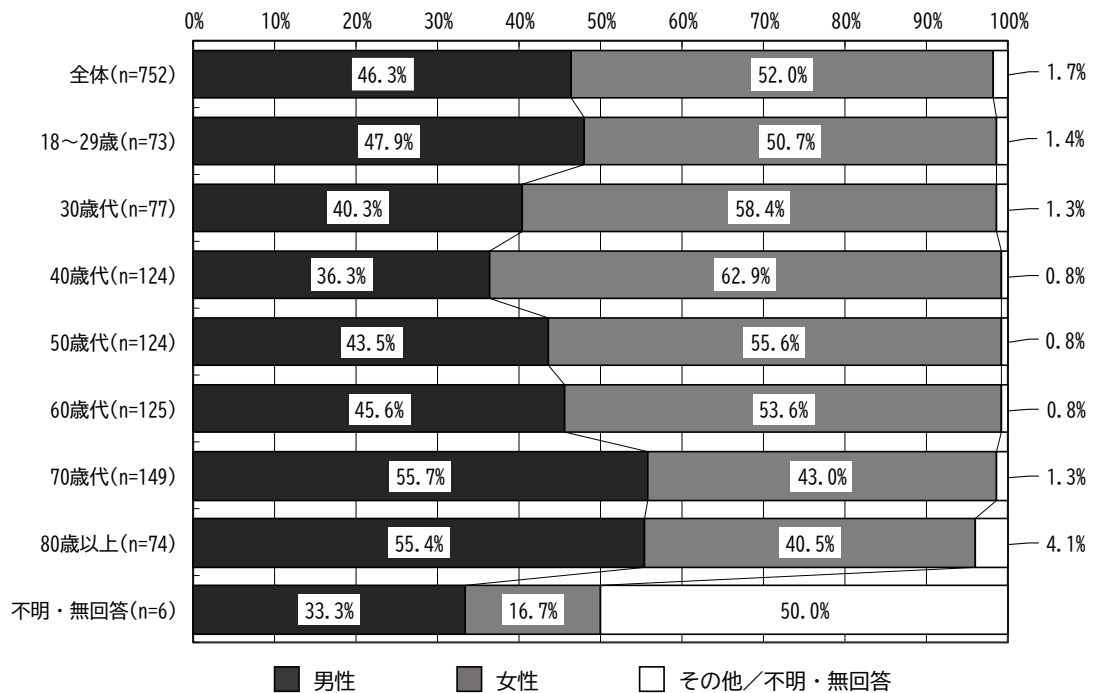
図2 年代

回答者数 (n=752)



### 【性別・年代】

図3 性別・年代



## Ⅱ 調査結果

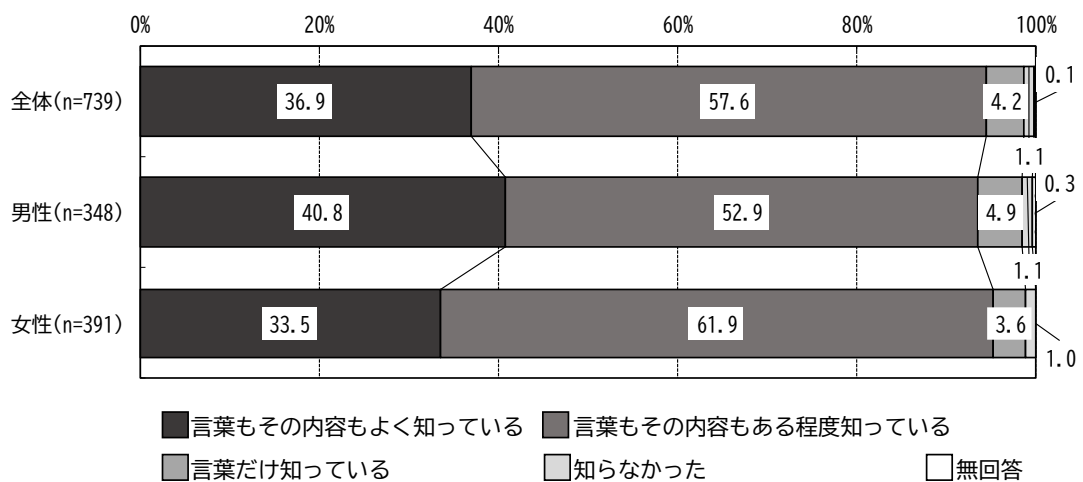
### 1. 配偶者やパートナーなど近い人間関係の中で起こる身体的、精神的、性的な暴力（DV等）について

#### (1) DVの認知度

問3 あなたは、DVについて知っていますか。（○は1つ）

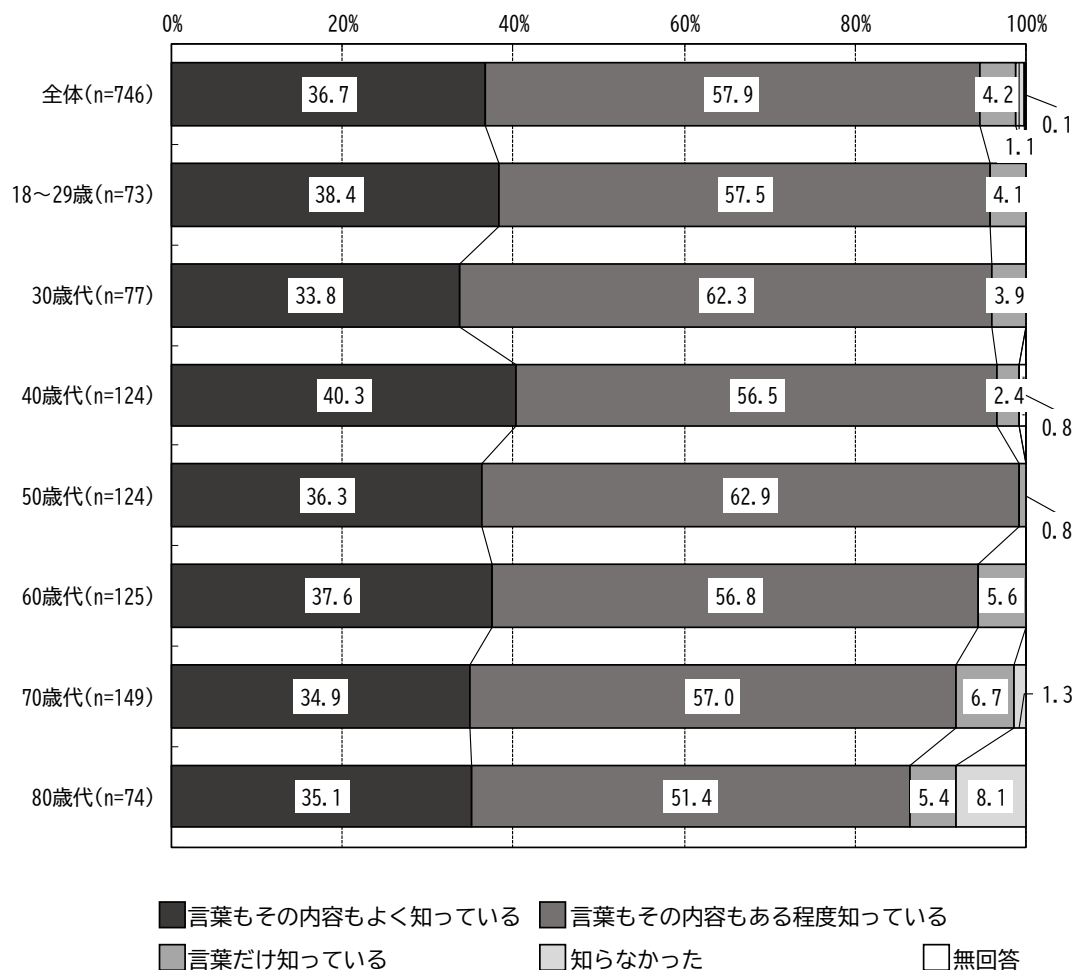
性別（図 1-1）でみると、「言葉もその内容もある程度知っている」が最も高く、男性で52.9%、女性で61.9%となっている。全体でみると「言葉もその内容も知っている」と「言葉もその内容もある程度知っている」を合わせた比率は90%以上とDVの認知度は高くなっている。

図 1-1 DVの認知度（性別）



年代別（図1-2）でみると、「言葉もその内容もある程度知っている」は50歳代で62.9%と最も高く、次いで30歳代で62.3%となっている。「言葉もその内容もよく知っている」は40歳代で40.3%と最も高く、次いで18歳～29歳で38.4%となっている。

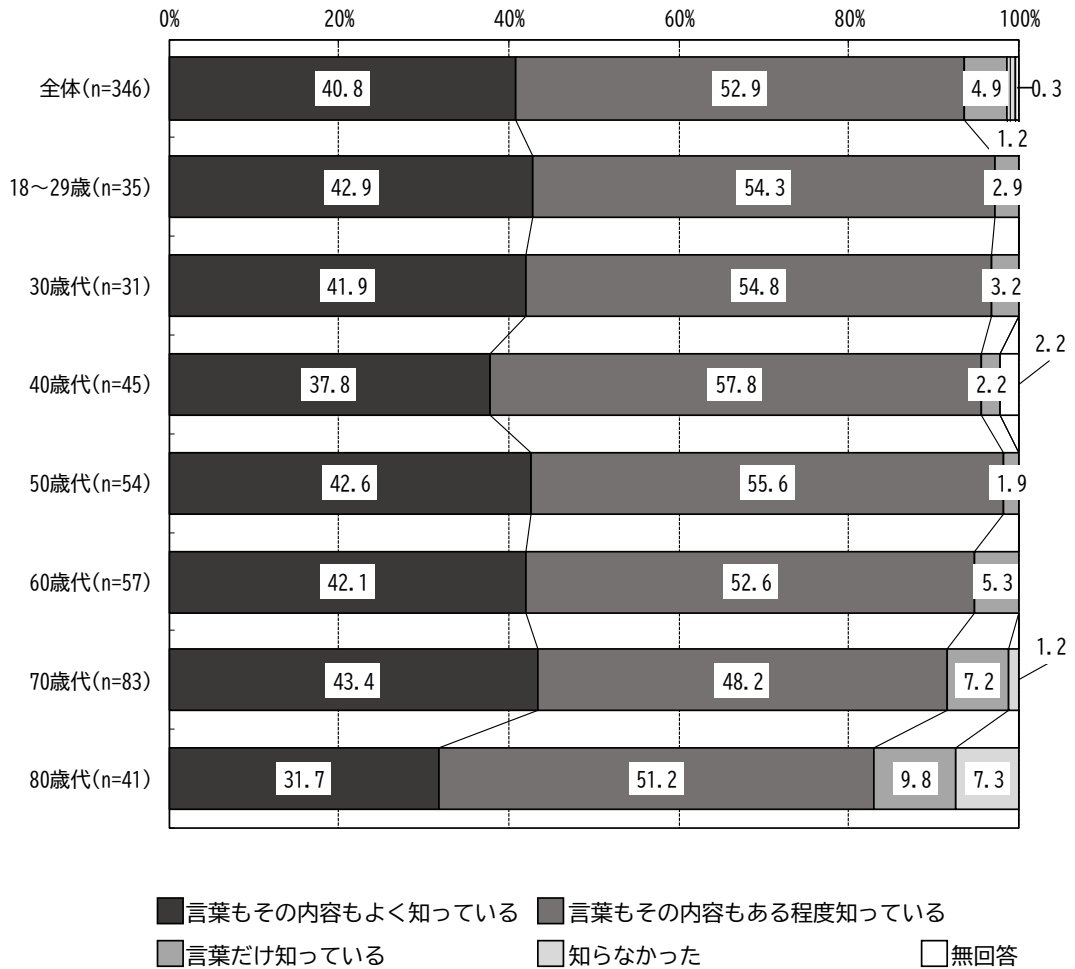
図1-2 DVの認知度（年代別）





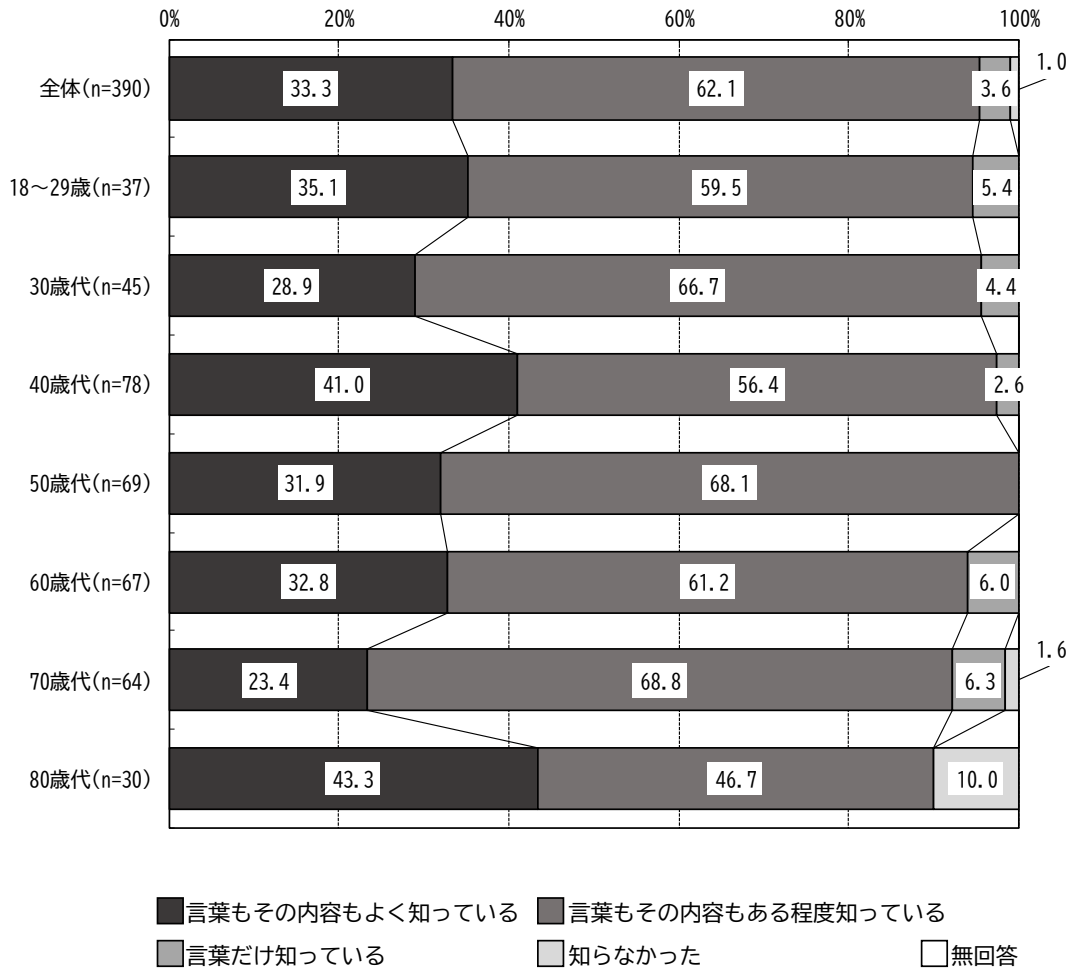
男性の年代別（図 1-3）で見ると、「言葉もその内容もある程度知っている」は 40 歳代で 57.8%と最も高く、次いで 50 歳代で 55.6%となっている。「言葉もその内容もよく知っている」は 70 歳代で 43.4%と最も高く、次いで 18 歳～29 歳で 42.9%となっている。

図 1-3 DVの認知度（男性・年代別）



女性の年代別（図 1-4）でみると、「言葉もその内容もある程度知っている」は 70 歳代で 68.8%と最も高く、次いで 50 歳代で 68.1%となっている。「言葉もその内容もよく知っている」は 80 歳代で 43.3%と最も高く、次いで 40 歳代で 41.0%となっている。

図 1-4 DVの認知度（女性・年代別）

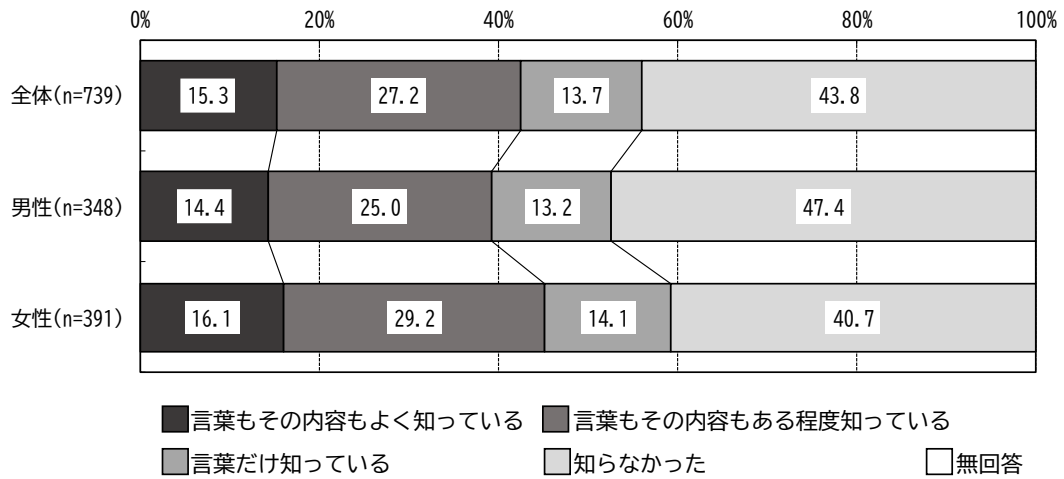


## (2) デートDVの認知度

問4 あなたは、デートDVについて知っていますか。(○は1つ)

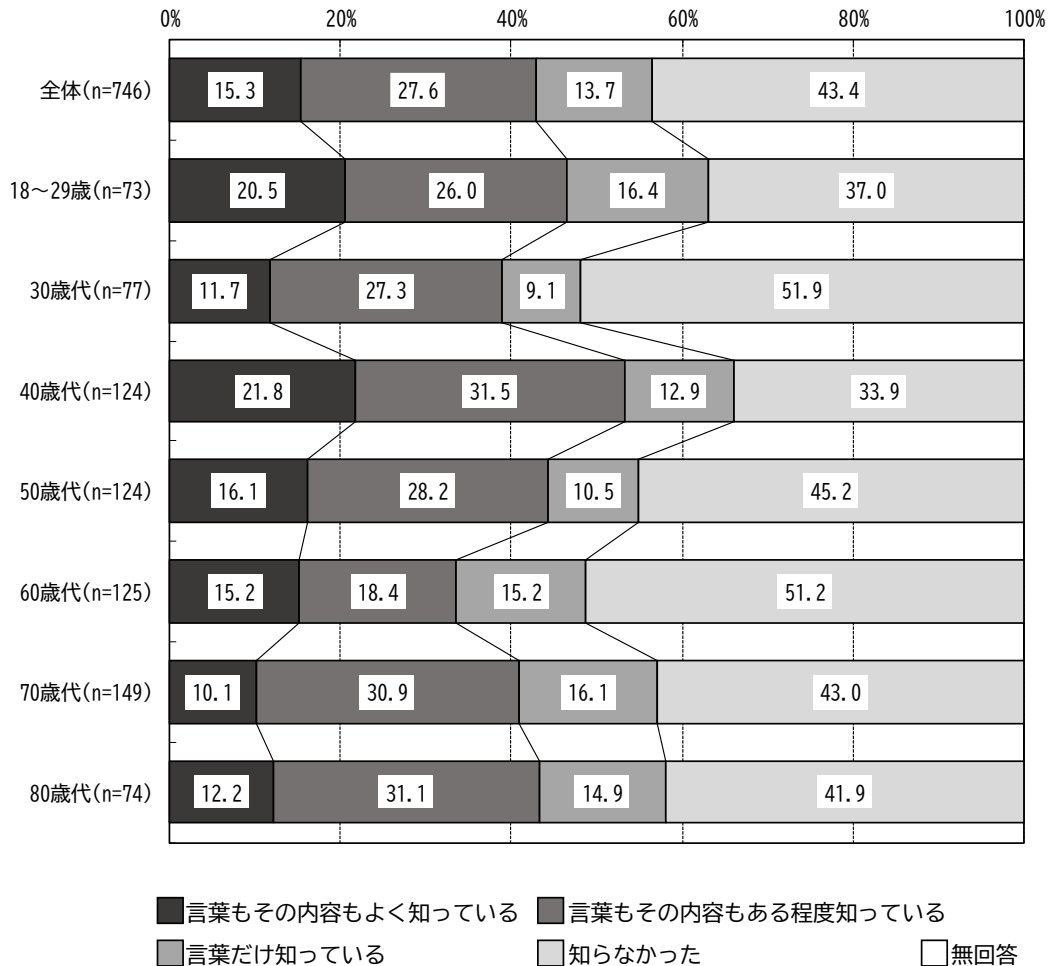
性別(図2-1)で見ると、「知らなかった」が最も高く、男性で47.4%、女性で40.7%となっている。また、女性は「言葉もその内容も知っている」と「言葉もその内容もある程度知っている」を合わせた比率は45.3%と男性に比べて5.9%高くなっている。

図2-1 デートDVの認知度(性別)



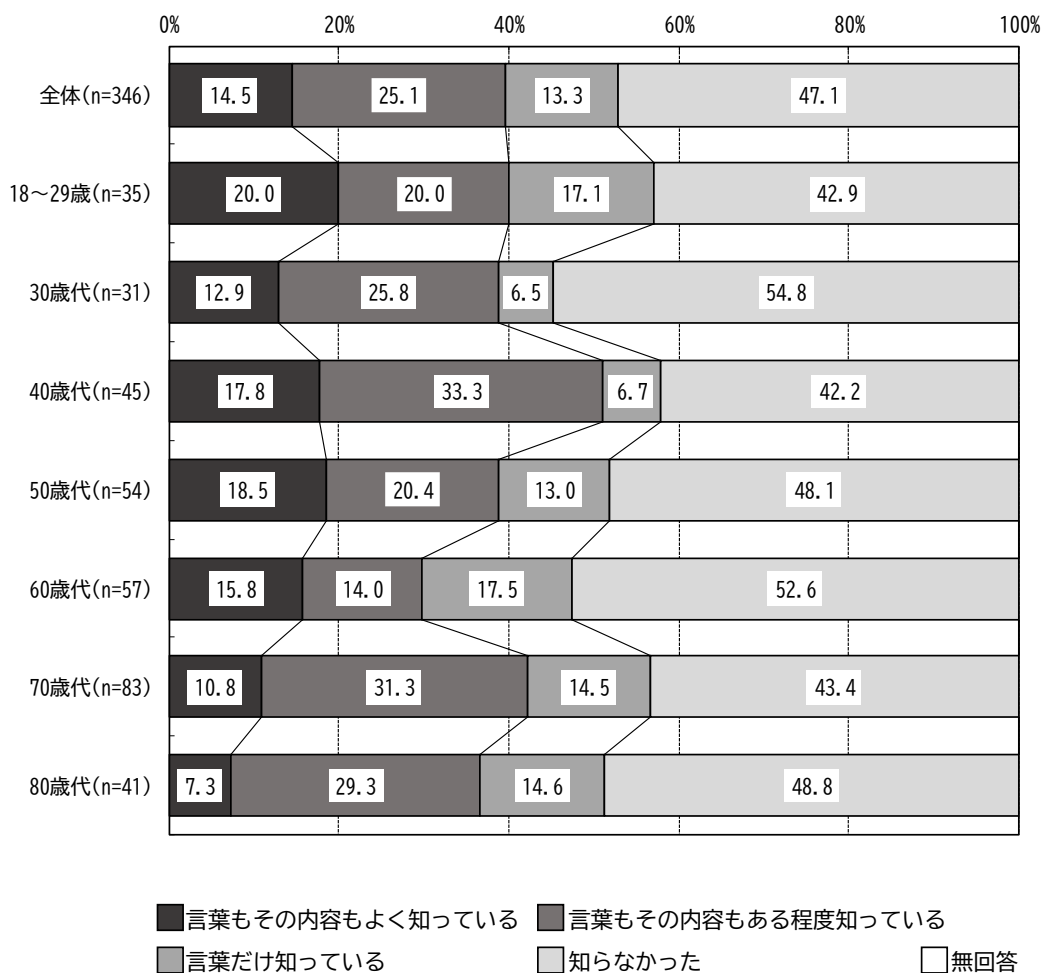
年代別（図 2-2）でみると、「知らなかった」は 30 歳代で 51.9%と最も高く、次いで 60 歳代で 51.2%となっており、全ての年代でも比率が高くなっている。また、「言葉もその内容も知っている」と「言葉もその内容もある程度知っている」を合わせた比率は 40 歳代で 53.3%と最も高く、次いで 18～29 歳で 46.5%となっている。

図 2-2 デートDVの認知度（年代別）



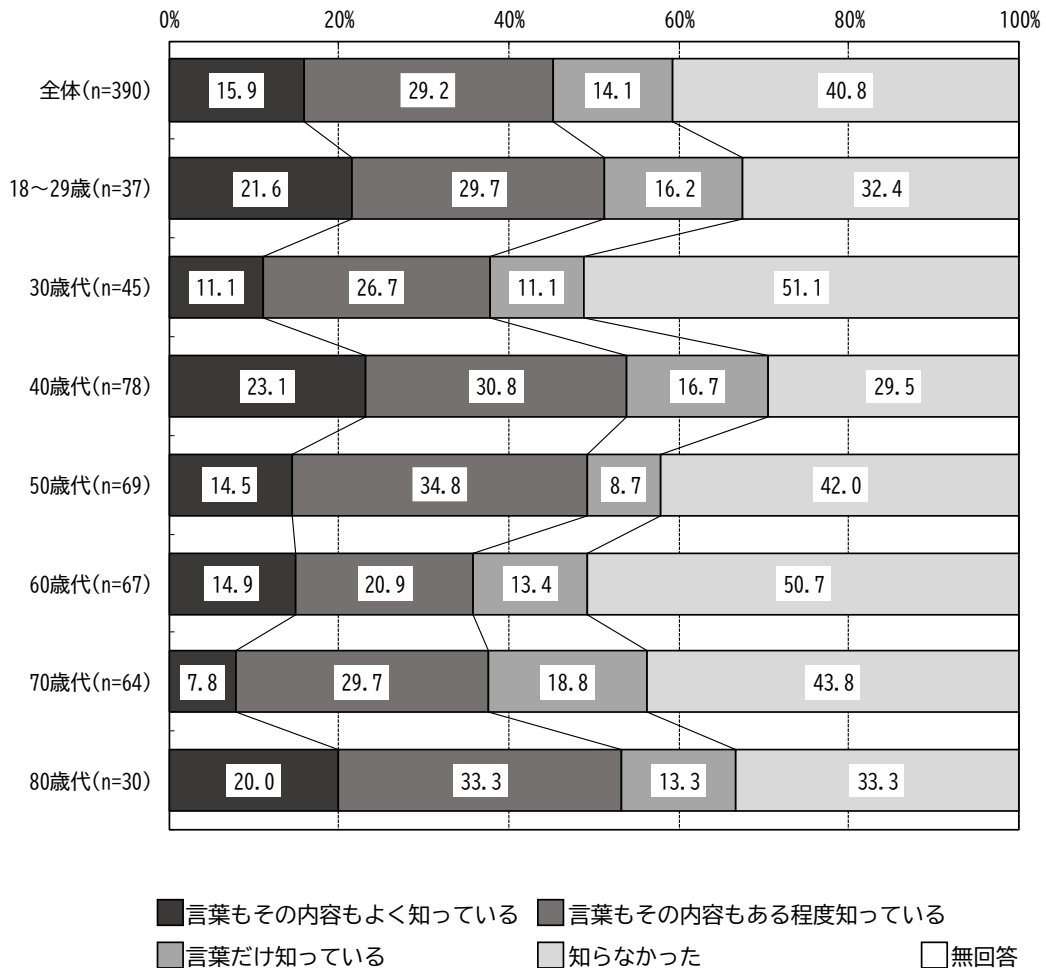
男性の年代別（図 2-3）で見ると、「知らなかった」は 30 歳代で 54.8%と最も高く、次いで 60 歳代で 52.6%となっている。また、「言葉もその内容も知っている」と「言葉もその内容もある程度知っている」を合わせた比率は 40 歳代で 51.1%と最も高く、次いで 70 歳代で 42.1%となっている。

図 2-3 デートDVの認知度（男性・年代別）



女性の年代別（図 2-4）で見ると、「知らなかった」は 30 歳代で 51.1%と最も高く、次いで 60 歳代で 50.7%となっている。また、「言葉もその内容も知っている」と「言葉もその内容もある程度知っている」を合わせた比率は 40 歳代で 53.9%と最も高く、次いで 80 歳代で 53.3%、18～29 歳で 51.3%といずれも 50%以上となっている。

図 2-4 デートDVの認知度（女性・年代別）

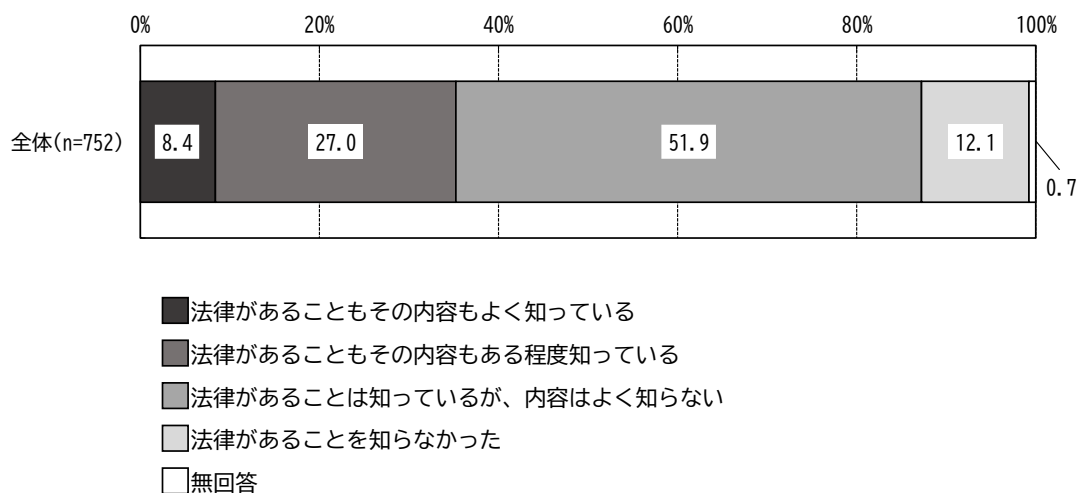


### (3) DV防止法の認知度

問5 あなたは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」(DV防止法)について知っていますか。(○は1つ)

全体(図3-1)で見ると、「法律があることは知っているが、内容はよく知らない」が51.9%で最も高く、次いで「法律があることもその内容もある程度知っている」が27.0%となっている。また、「法律があることを知らなかった」は12.1%となっている。

図3-1 DV防止法の認知度

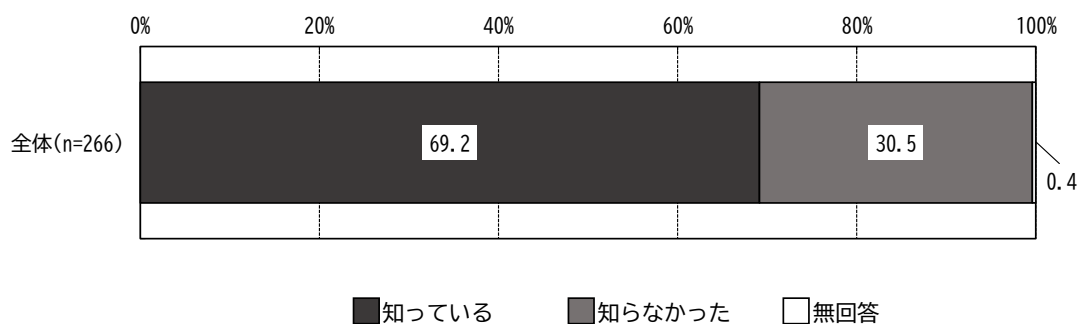


(付問1) 通報の努力義務について

問6 (注) 問5で1又は2と答えた方のみ回答してください。  
DV防止法の中で、DVを受けている人を発見した人は、その旨を警察などに通報する努力義務(通報の対象は身体に対する暴力に限ります。)があることを知っていますか。(○は1つ)

全体(図3-1-1)で見ると、「知っている」が69.2%、「知らなかった」が30.5%となっている。

図3-1-1 通報の努力義務



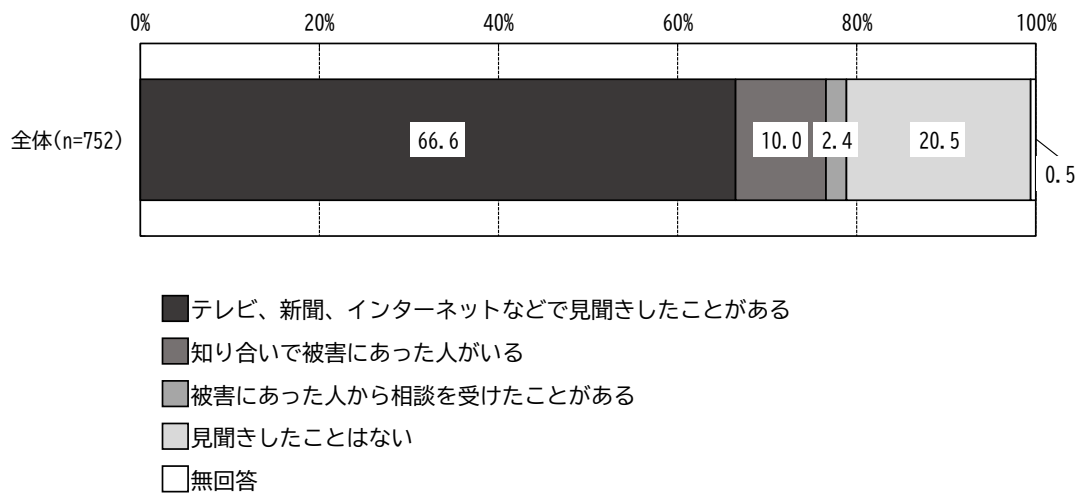


#### (4) 身近での見聞き経験

問7 あなたは、配偶者や交際相手など親しい人間関係の中で起こる身体的・心理的・性的な暴力などについて見聞きしたことがありますか。(○は1つ)

全体(図4-1)で見ると、「テレビ、新聞、インターネットなどで見聞きしたことがある」が66.6%で最も高く、次いで「見聞きしたことはない」が20.5%となっている。また、「知り合いで被害にあった人がある」は10.0%となっている。

図4-1 身近での見聞き経験

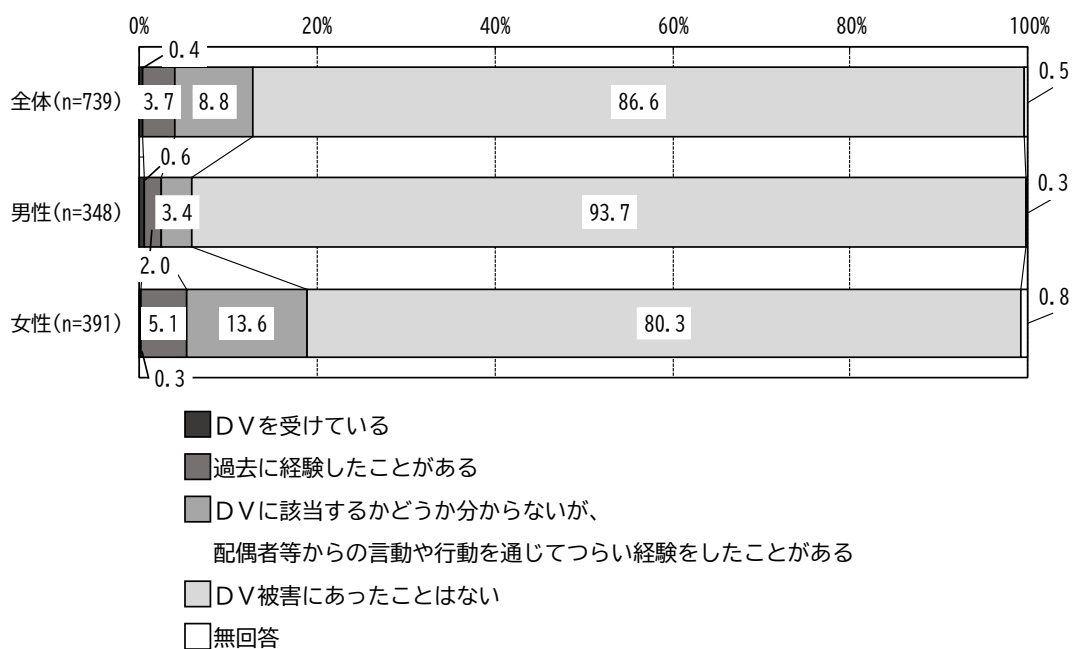


### (5) 自身のDV被害経験

問8 あなたは、DVの被害経験がありますか。(○は1つ)

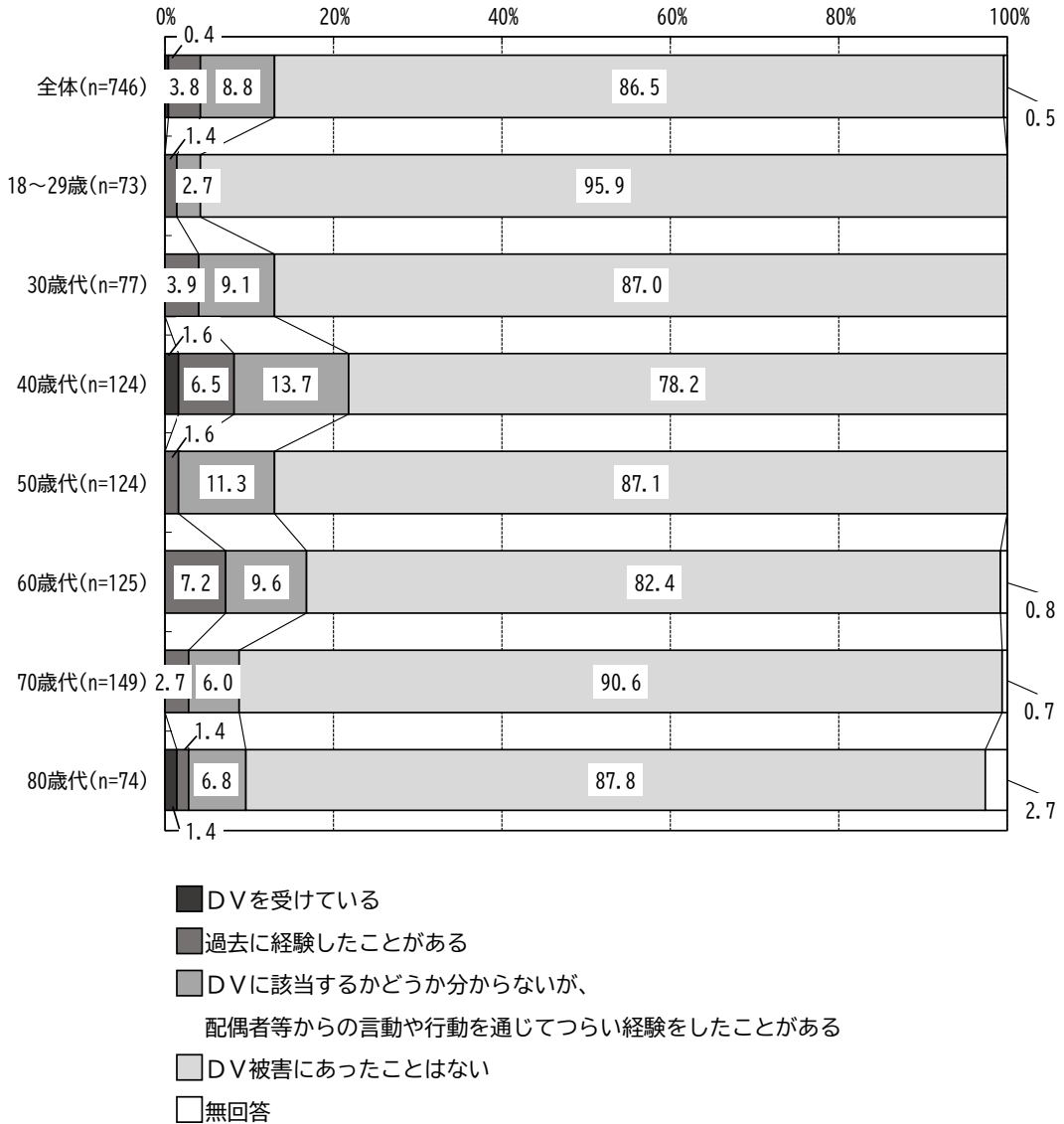
性別(図5-1)で見ると、「DV被害にあったことはない」が最も高く、男性で93.7%、女性で80.3%となっている。全体で見ると「DVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は4.1%(739人中30人)となっており、約24人に1人の割合でDVの被害経験を自覚している。

図5-1 自身のDV被害経験(性別)



年代別（図5-2）でみると、「DV被害にあったことはない」は18～29歳で95.9%と最も高く、次いで70歳代で90.6%となっている。「DVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は40歳代で8.1%と最も高く、次いで60歳代で7.2%となっている。

図5-2 自身のDV被害経験（年代別）



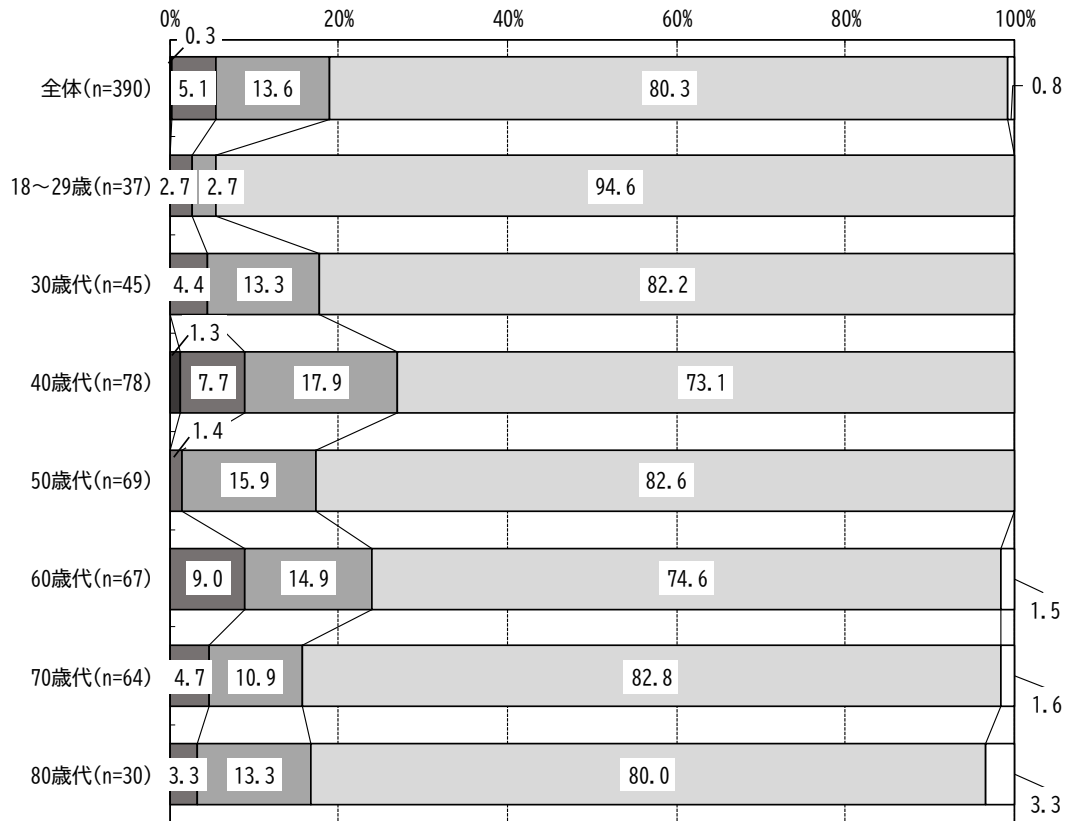
男性の年代別（図 5-3）でみると、「DV被害にあったことはない」は18～29歳で100.0%と最も高く、次いで30歳代で96.8%となっている。「DVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は60歳代で5.3%と最も高く、次いで40歳代で4.4%となっている。

図 5-3 自身のDV被害経験（男性・年代別）



女性の年代別（図 5-4）で見ると、「DV被害にあったことはない」は 18～29 歳で 94.6%と最も高く、次いで 70 歳代で 82.8%となっている。「DVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は 40 歳代と 60 歳代が同率で 9.0%と最も高く、次いで 70 歳代で 4.7%となっている。

図 5-4 自身のDV被害経験（女性・年代別）



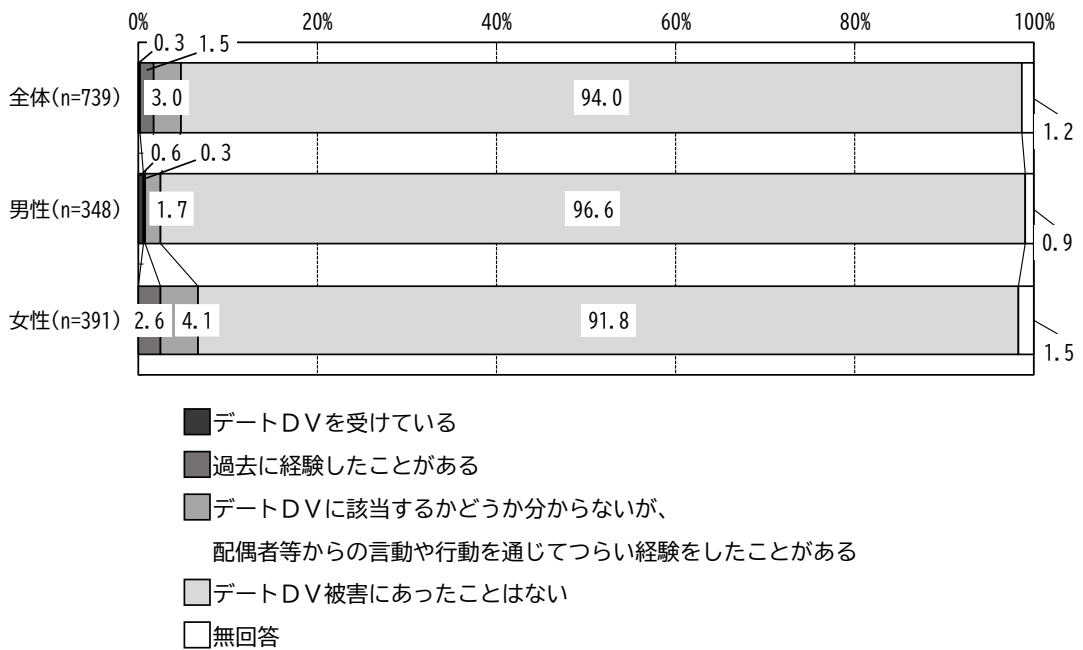
- DVを受けている
- 過去に経験したことがある
- DVに該当するかどうか分からないが、  
配偶者等からの言動や行動を通じてつらい経験をしたことがある
- DV被害にあったことはない
- 無回答

(6) 自身のデートDV被害経験

問9 あなたは、デートDVの被害経験がありますか。(○は1つ)

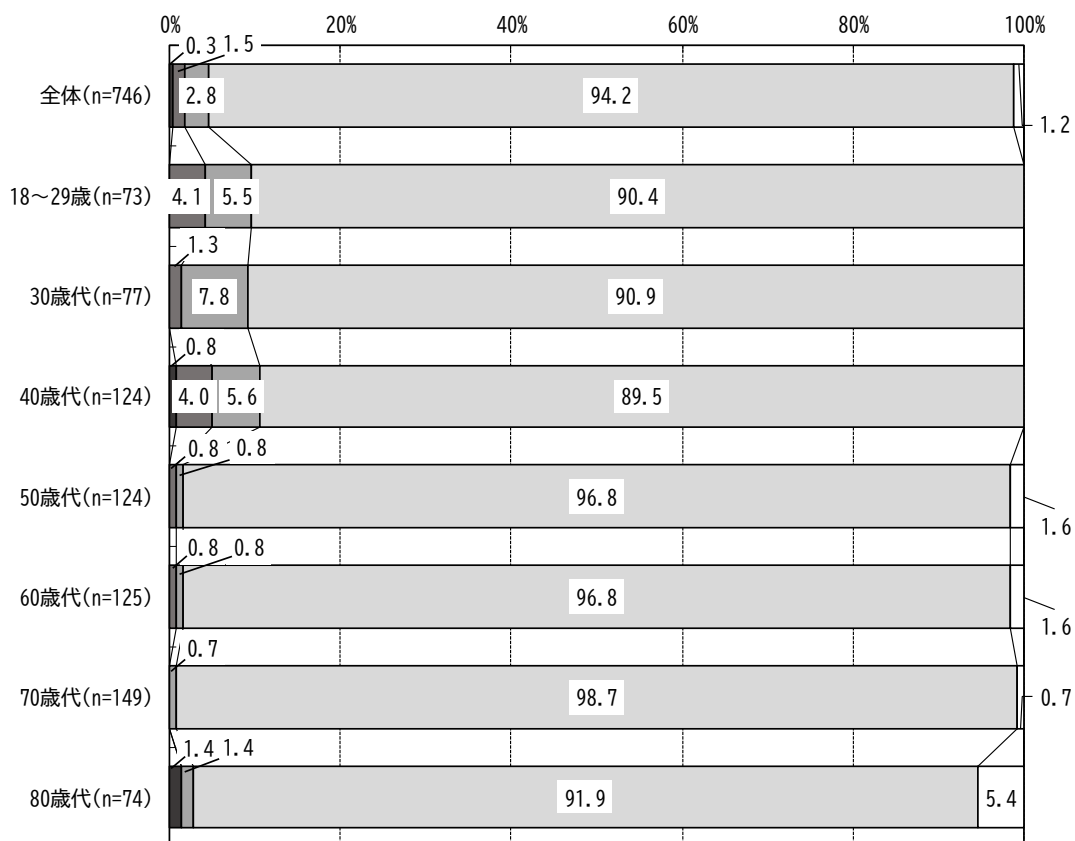
性別(図7-1)で見ると、「デートDV被害にあったことはない」が最も高く、男性で96.6%、女性で91.8%となっている。全体で見ると「デートDVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は1.8%（739人中13人）となっており、約56人に1人の割合でデートDVの被害経験を自覚している。

図7-1 自身のデートDV被害経験（性別）



年代別（図 7-2）でみると、「デートDV被害にあったことはない」は 70 歳で 98.7%と最も高く、次いで 50 歳代と 60 歳代が同率で 96.8%となっている。「デートDVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は 40 歳代で 4.8%と最も高く、次いで 18～29 歳で 4.1%となっている。

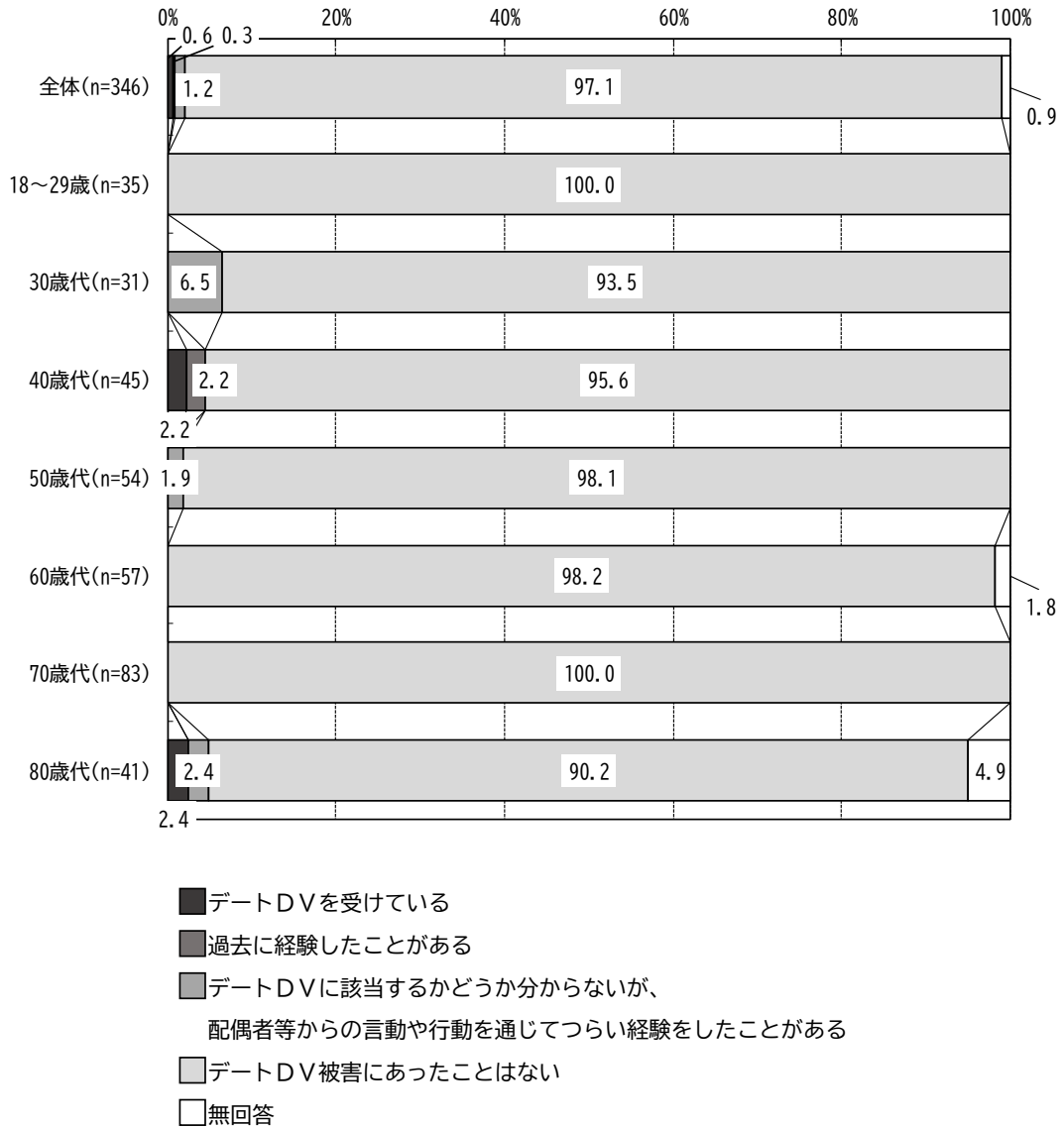
図 6-2 自身のデートDV被害経験（年代別）



- デートDVを受けている
- 過去に経験したことがある
- デートDVに該当するかどうか分からないが、  
配偶者等からの言動や行動を通じてつらい経験をしたことがある
- デートDV被害にあったことはない
- 無回答

男性の年代別（図 6-3）でみると、「デートDV被害にあったことはない」は18～29歳と70歳代が同率で100.0%と最も高く、次いで60歳代で98.2%となっている。「デートDVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は40歳代で4.4%と最も高く、次いで80歳代で2.4%となっている。

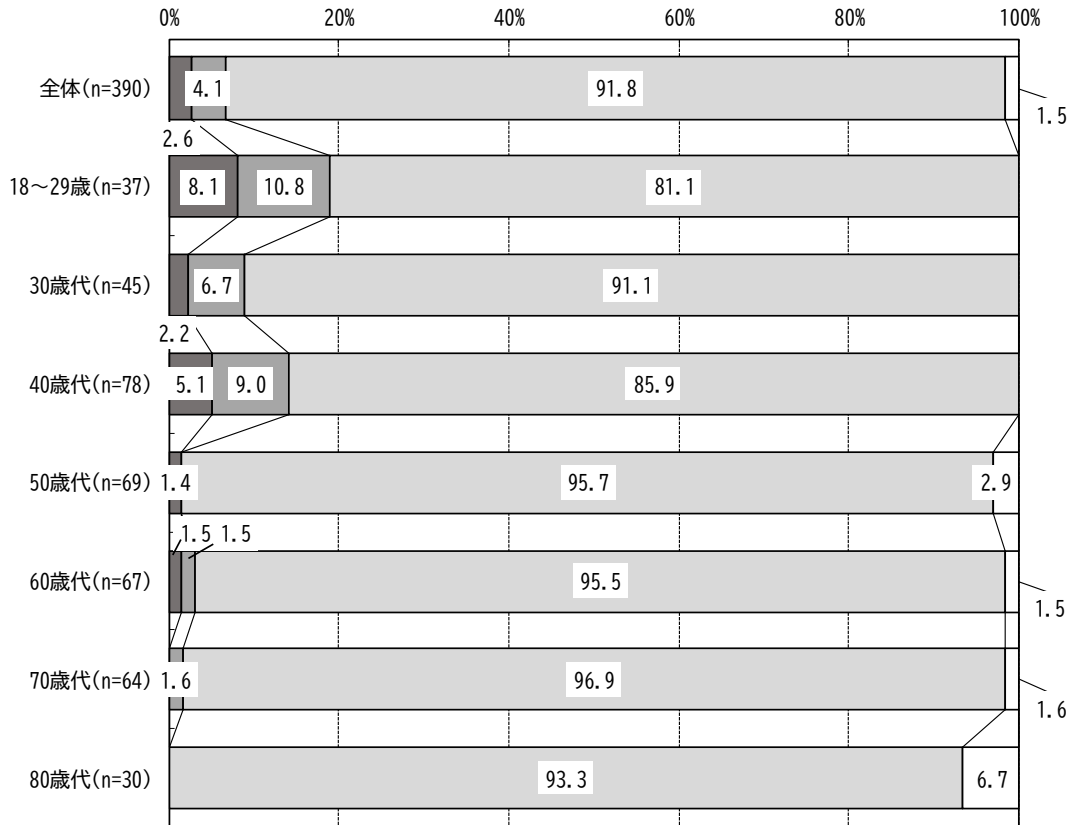
図 6-3 自身のデートDV被害経験（男性・年代別）





女性の年代別（図 6-4）で見ると、「デートDV被害にあったことはない」は 70 歳代で 96.9%と最も高く、次いで 50 歳代で 95.7%となっている。「デートDVを受けている」と「過去に経験したことがある」を合わせた比率は 18～29 歳で 8.1%と最も高く、次いで 40 歳代で 5.1%となっている。

図 6-4 自身のデートDV被害経験（女性・年代別）



- デートDVを受けている
- 過去に経験したことがある
- デートDVに該当するかどうか分からないが、  
配偶者等からの言動や行動を通じてつらい経験をしたことがある
- デートDV被害にあったことはない
- 無回答

(7) DV・デートDV被害の対応

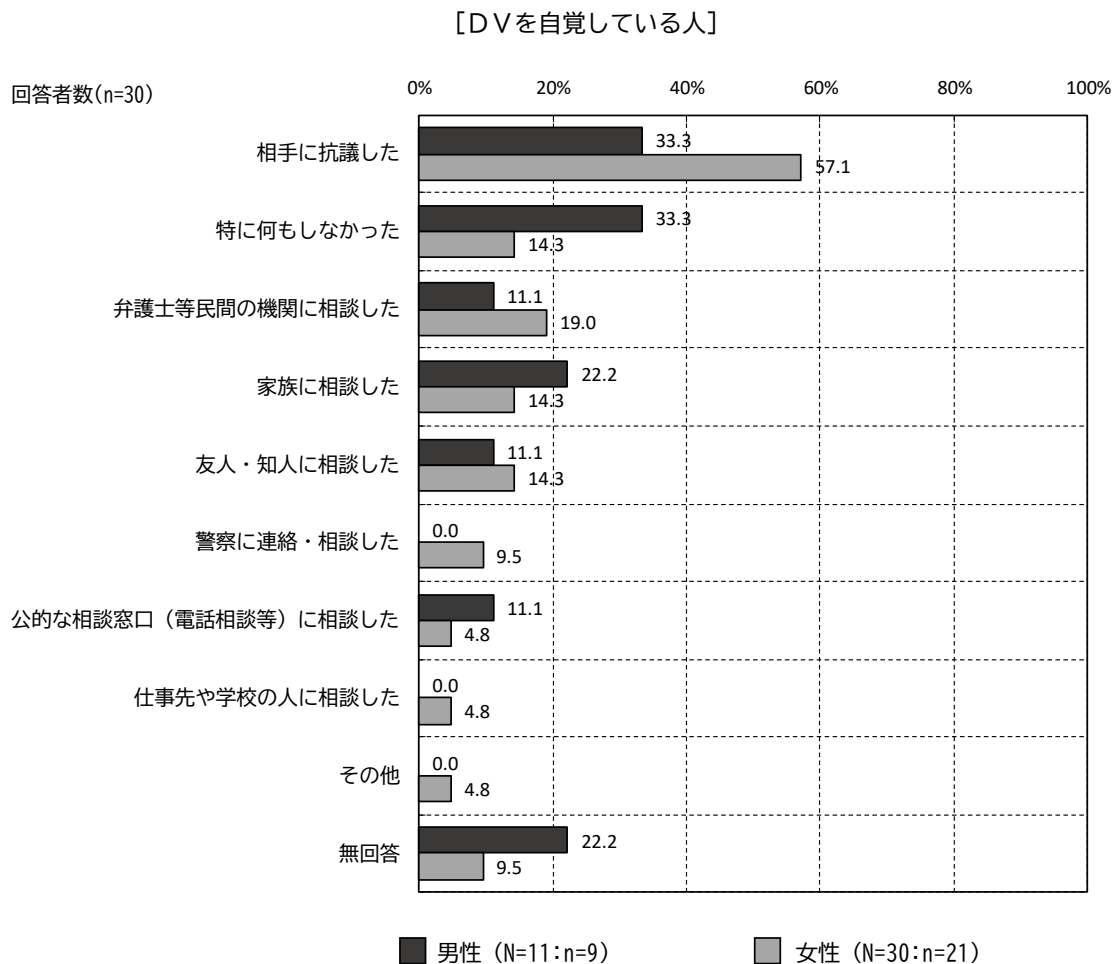
問10 (注) 問8又は問9で1、2又は3と答えた方のみ回答してください。  
被害にあったとき、どのような対応をとりましたか。(あてはまるものすべてに○)

○ 問8で1又は2の回答者 ※DVを自覚している人

【DV被害の対応】

性別(図7-1-1)で見ると、「相手に抗議した」が最も高く、男性が33.3%、女性が57.1%となっている。次いで「特に何もなかった」が高く、男性が33.3%、女性が14.3%となっている。(男性は「相手に抗議した」と同率、女性は「家族に相談した」「友人・知人に相談した」と同率)

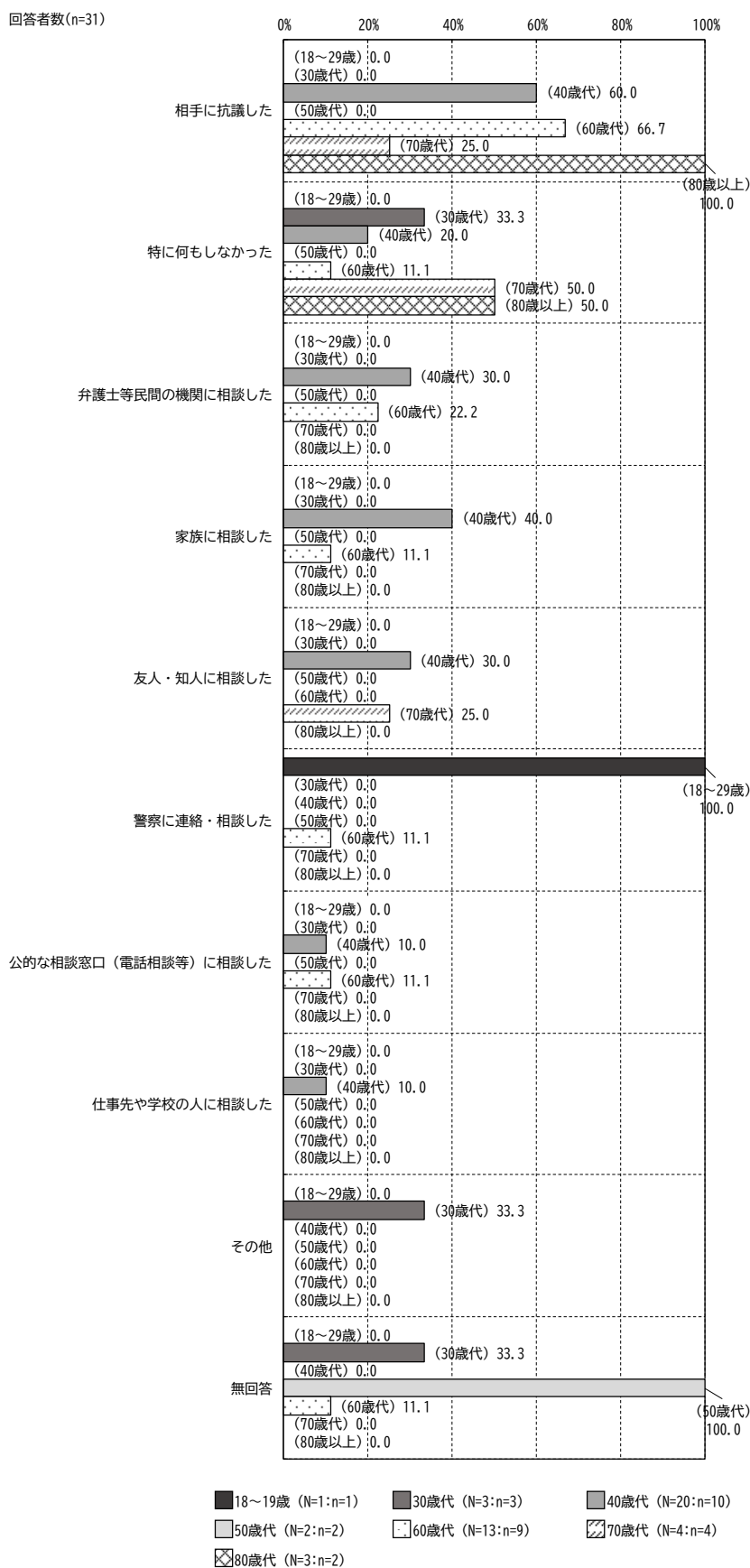
図7-1-1 DV被害の対応(性別)



年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

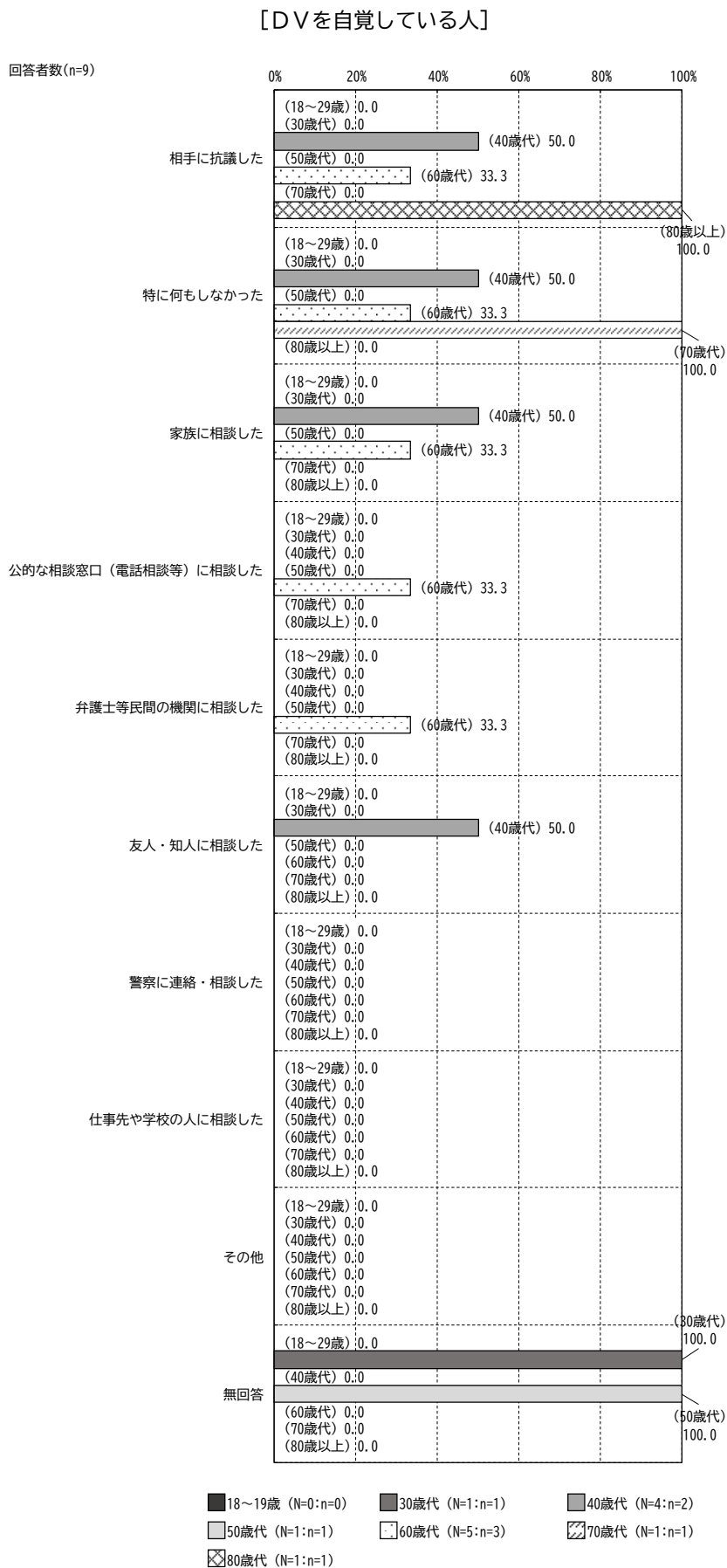
図 7-1-2 DV被害の対応（年代別）

[DVを自覚している人]



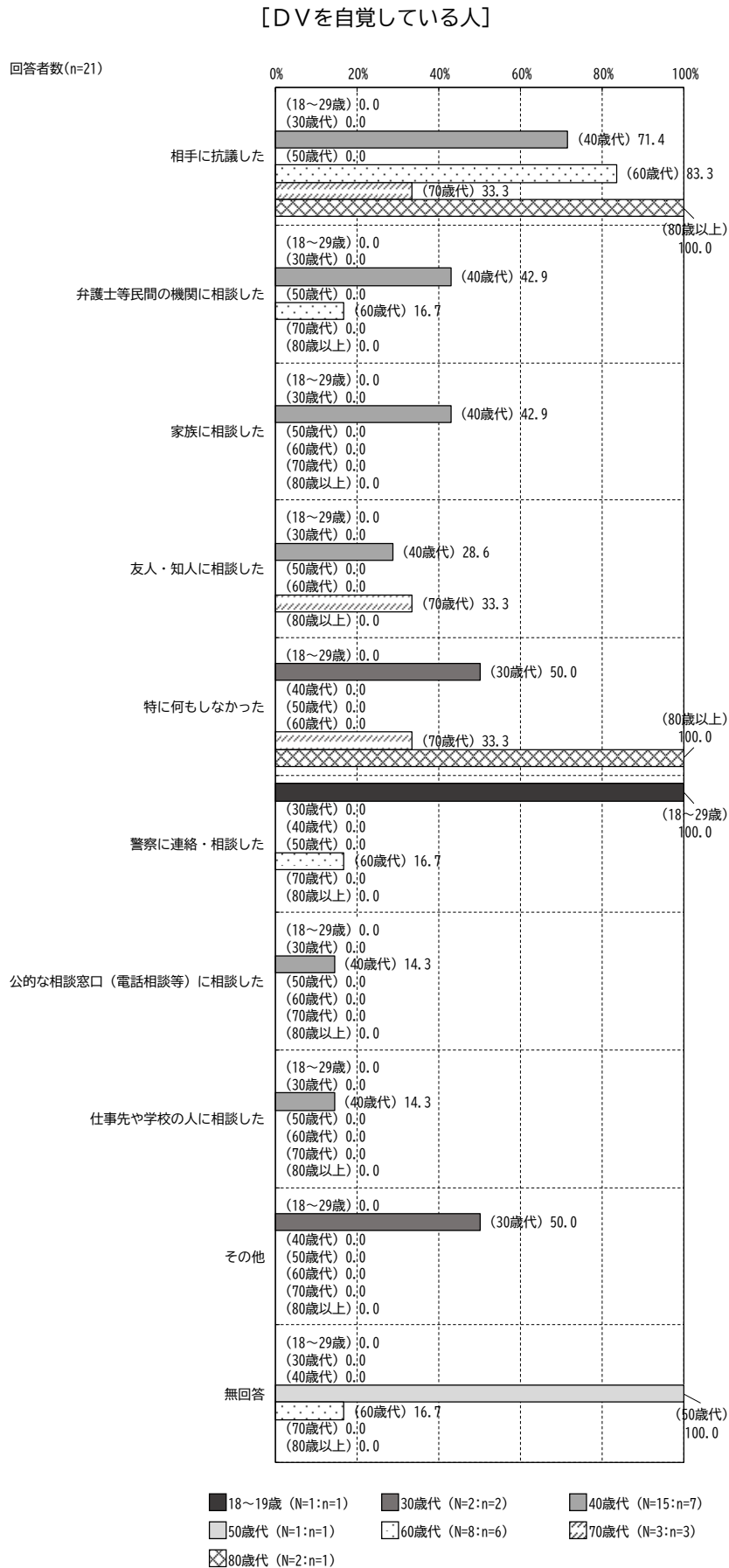
男性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-1-3 DV被害の対応（男性・年代別）



女性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-1-4 DV被害の対応（女性・年代別）



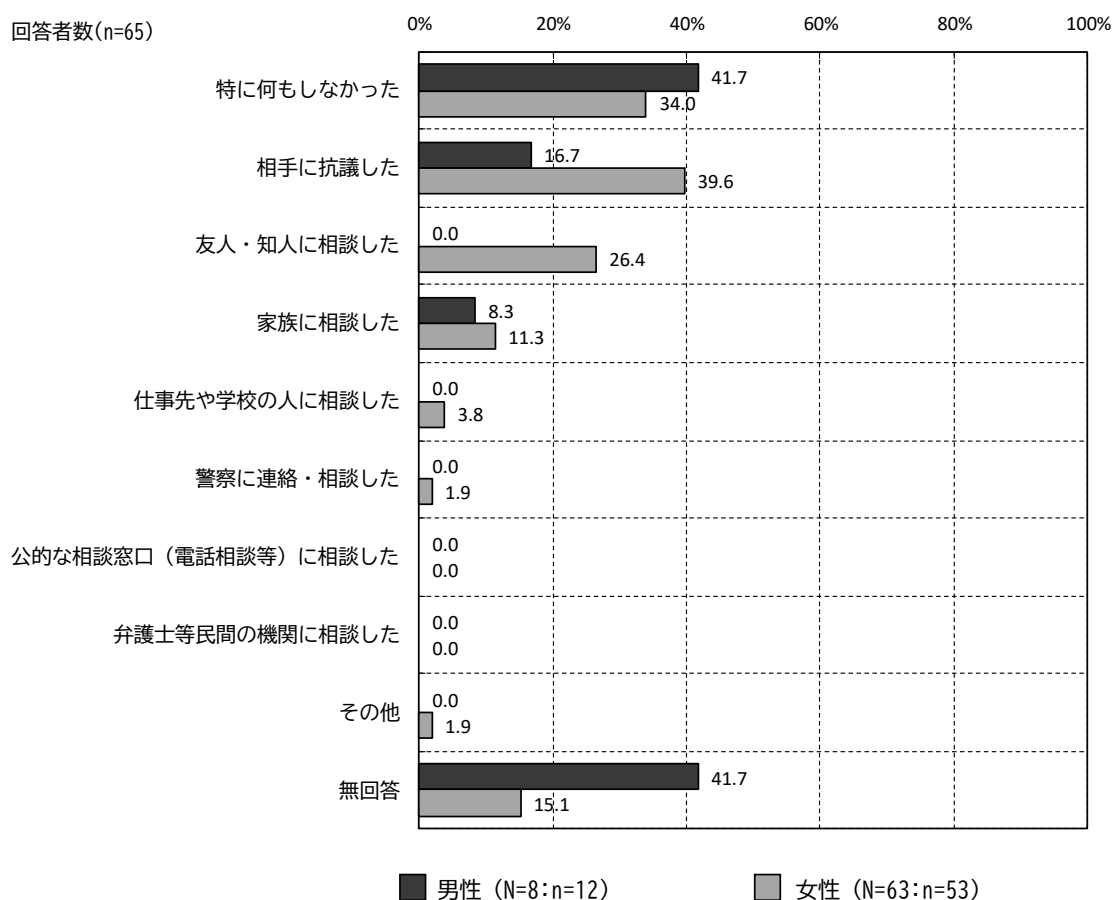
○ 問8で3の回答者 ※DVの自覚はないが困難を抱えている人

【DV被害の対応】

性別（図 7-2-1）で見ると、「特に何もしなかった」が最も高く、男性が41.7%、女性が34.0%となっている。次いで「相手に抗議した」が高く、男性が16.7%、女性が39.6%となっている。

図 7-2-1 DV被害の対応（性別）

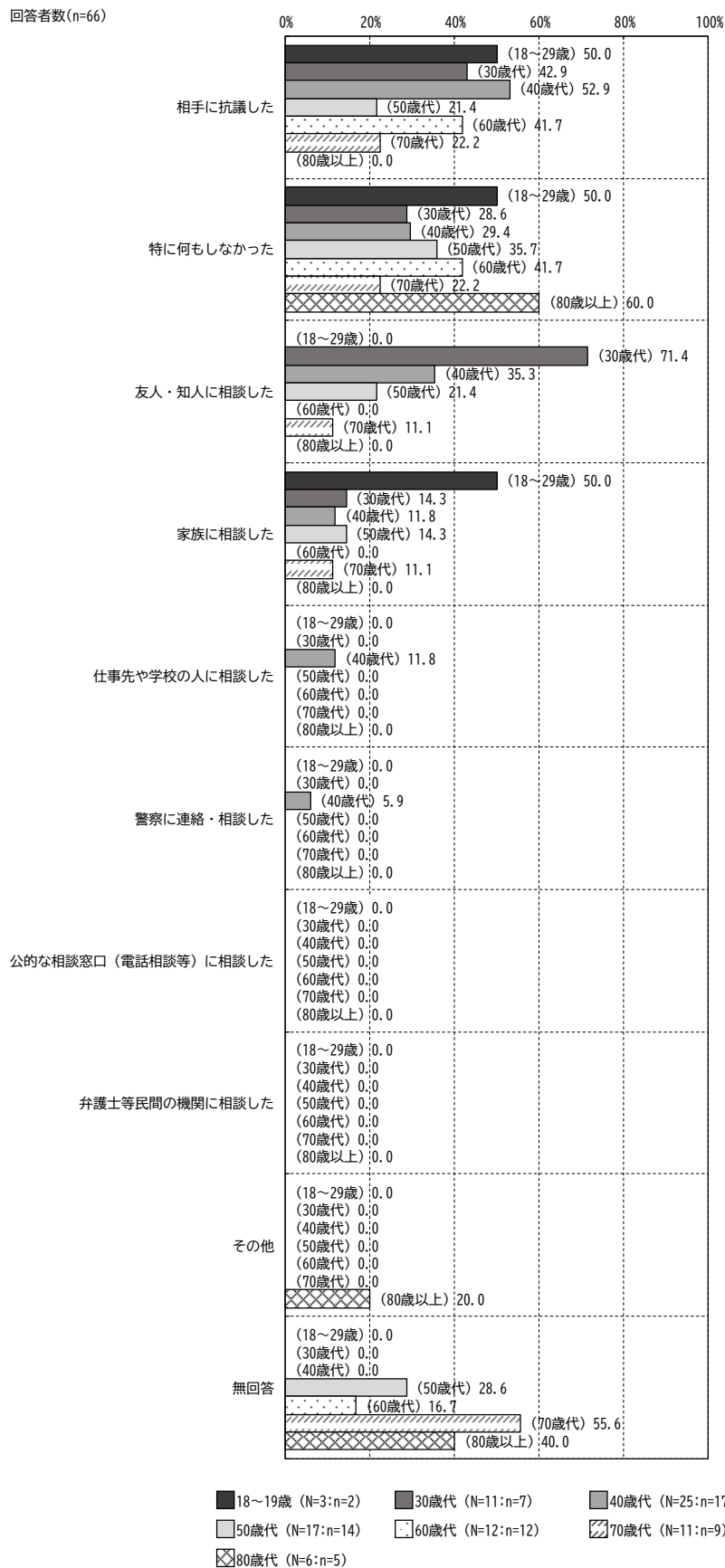
[DVの自覚はないが困難を抱えている人]



年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-2-2 DV被害の対応（年代別）

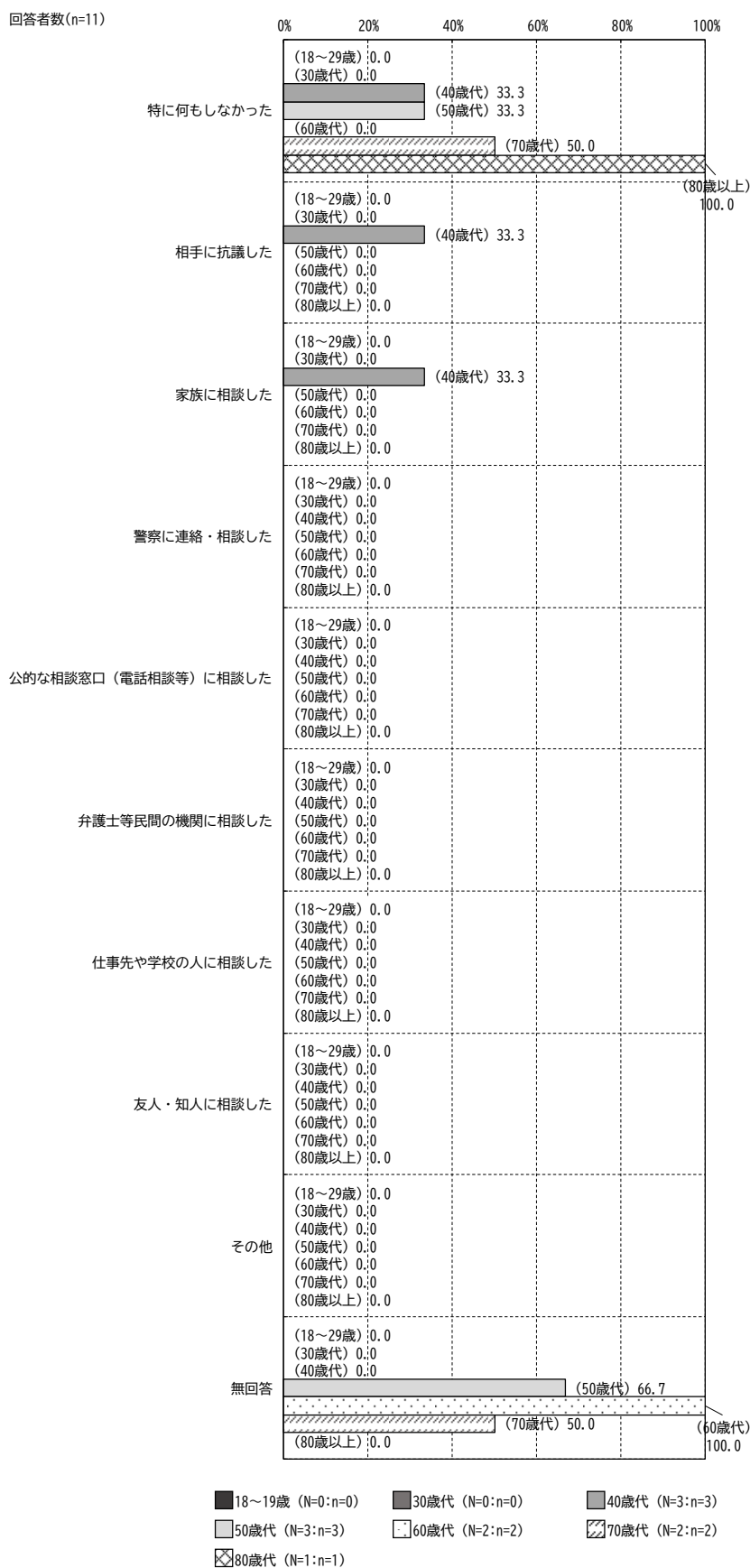
[DVの自覚はないが困難を抱えている人]



男性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-2-3 DV被害の対応（男性・年代別）

[DVの自覚はないが困難を抱えている人]

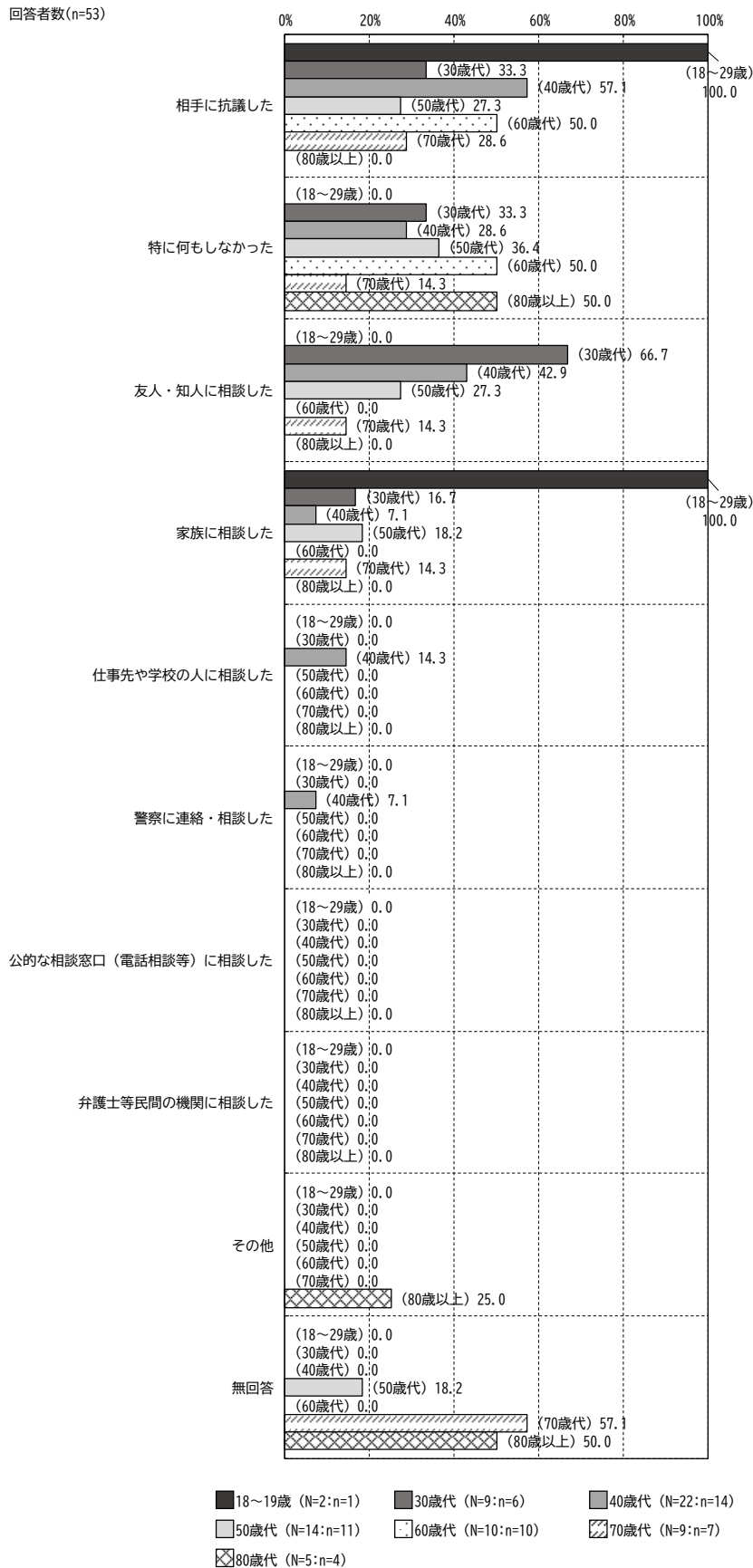




女性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-2-4 DV被害の対応（女性・年代別）

[DVの自覚はないが困難を抱えている人]

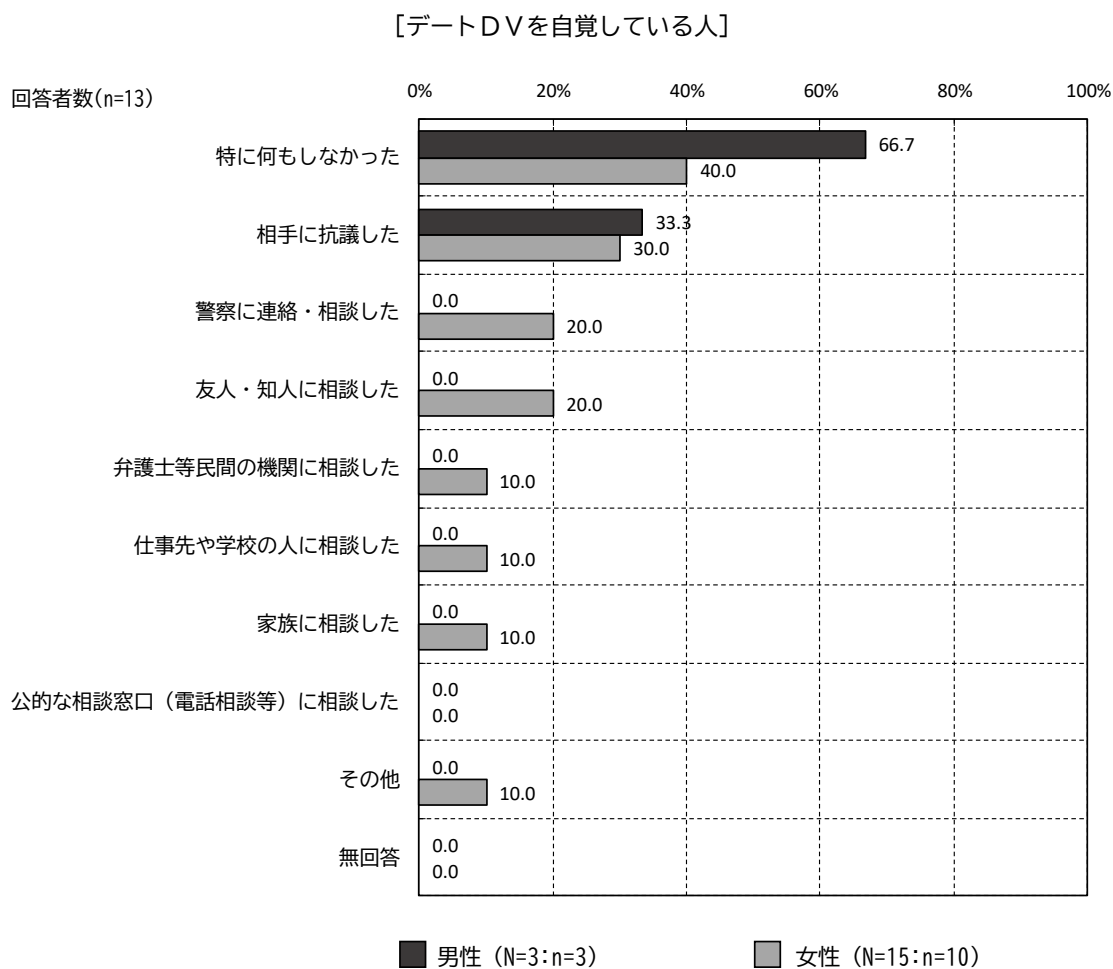


○ 問9で1又は2の回答者 ※デートDVを自覚している人

【デートDV被害の対応】

性別（図7-3-1）で見ると、「特に何もしなかった」が最も高く、男性が66.7%、女性が40.0%となっている。次いで「相手に抗議した」が高く、男性が33.3%、女性が30.0%となっている。

図7-3-1 デートDV被害の対応（性別）



年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-3-2 デートDV被害の対応（年代別）

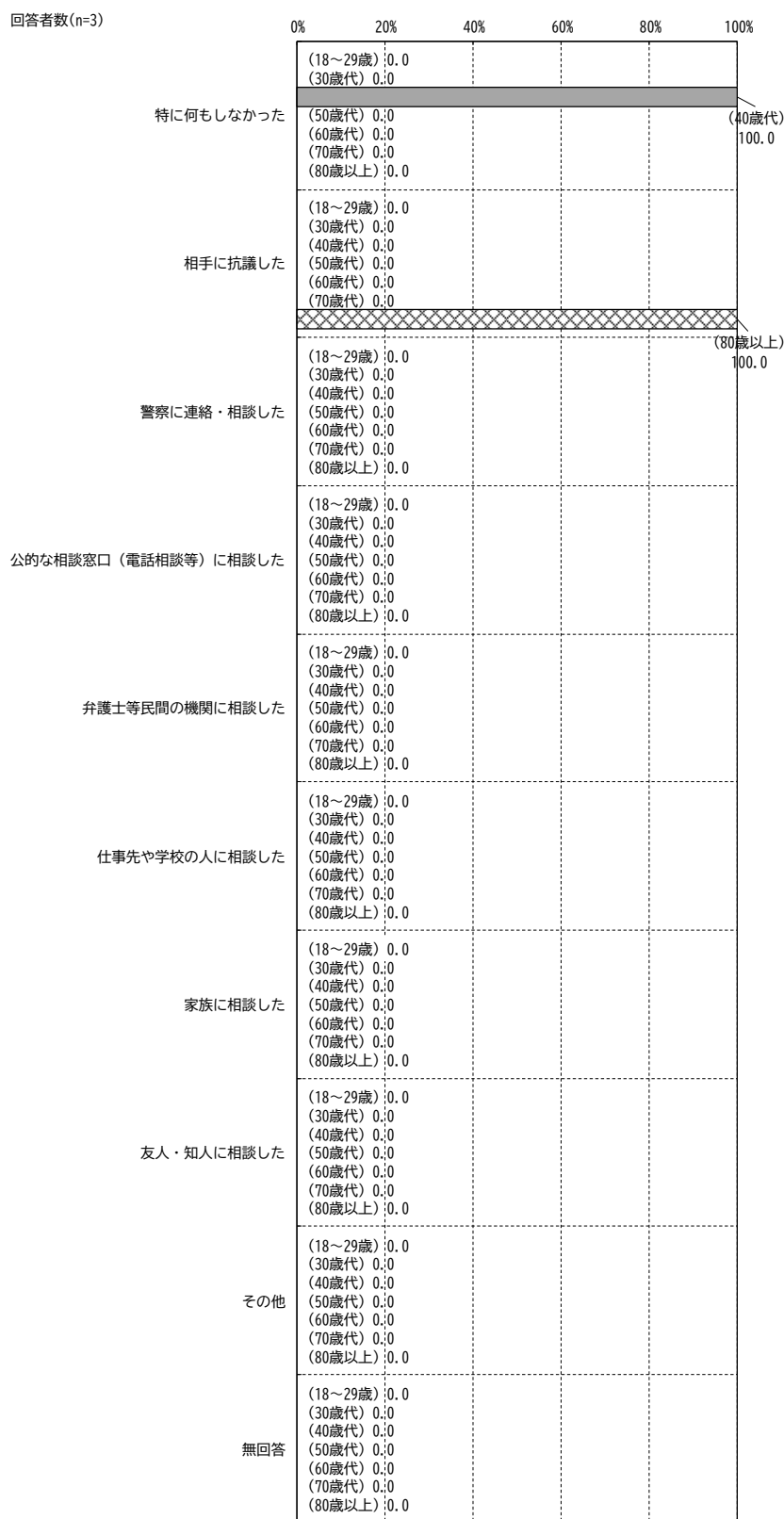
〔デートDVを自覚している人〕



男性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-3-3 デートDV被害の対応（男性・年代別）

〔デートDVを自覚している人〕

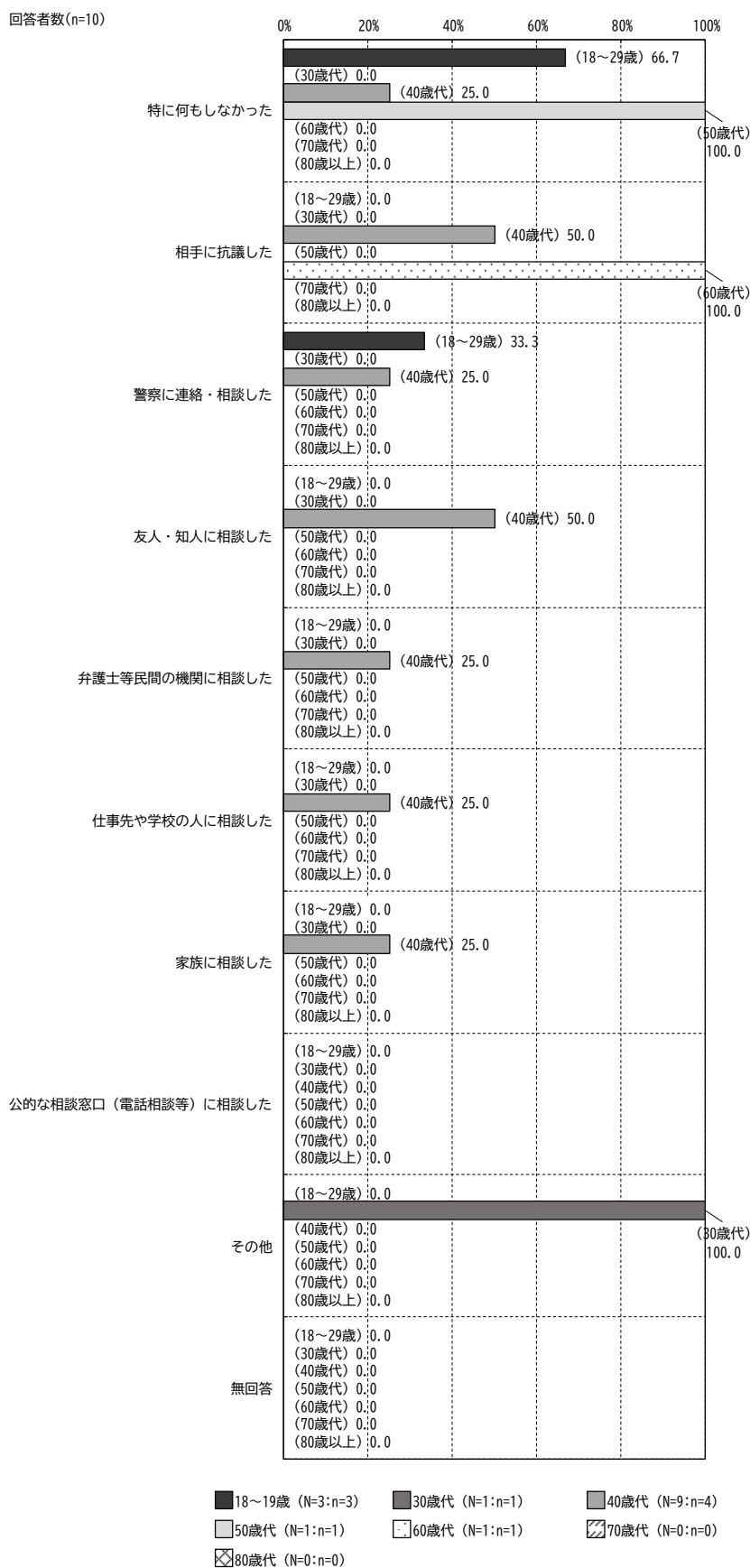


■ 18～19歳 (N=0:n=0)    ■ 30歳代 (N=0:n=0)    ■ 40歳代 (N=2:n=2)  
 ■ 50歳代 (N=0:n=0)    ■ 60歳代 (N=0:n=0)    ■ 70歳代 (N=0:n=0)  
 ■ 80歳代 (N=1:n=1)

女性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-3-4 デートDV被害の対応（女性・年代別）

〔デートDVを自覚している人〕



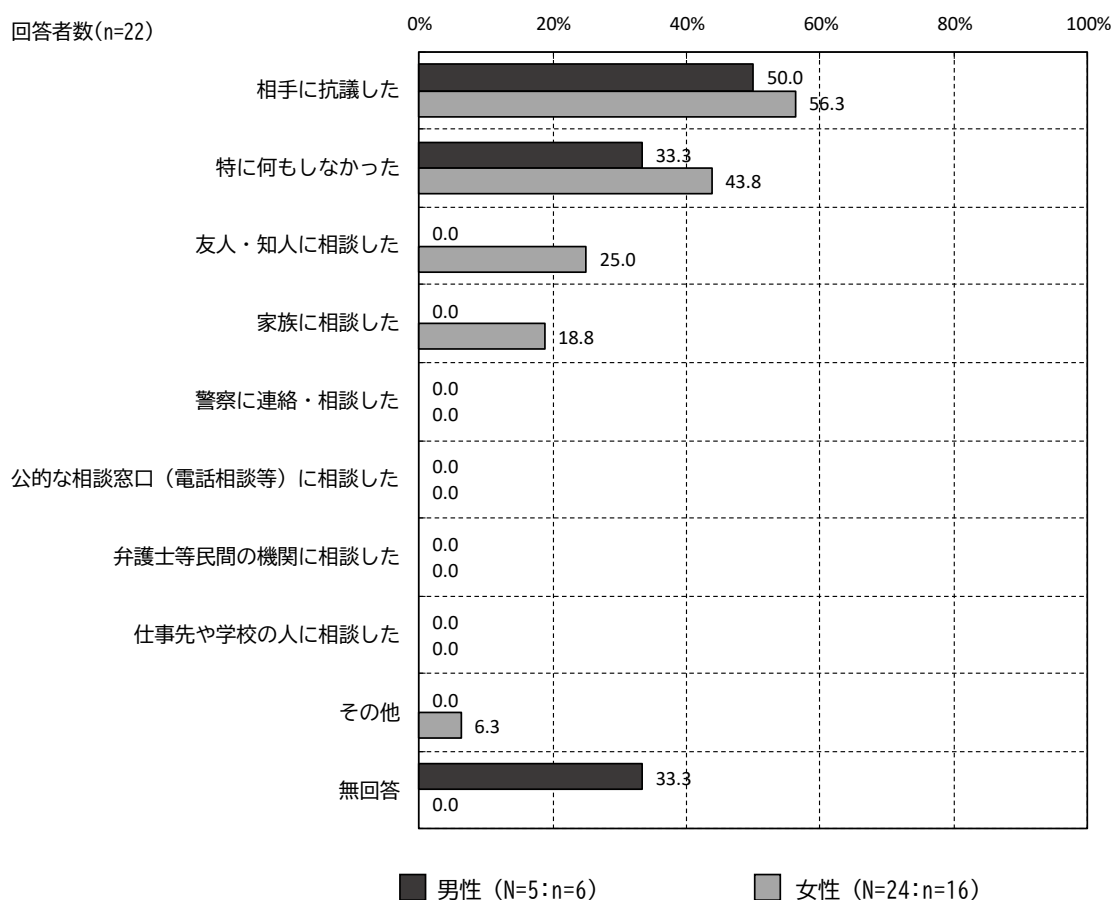
○ 問9で3の回答者 ※デートDVの自覚はないが困難を抱えている人

【デートDV被害の対応】

性別（図7-4-1）で見ると、「相手に抗議した」が最も高く、男性が50.0%、女性が56.3%となっている。次いで「特に何もしなかった」が高く、男性が33.3%、女性が43.8%となっている。

図7-4-1 デートDV被害の対応（性別）

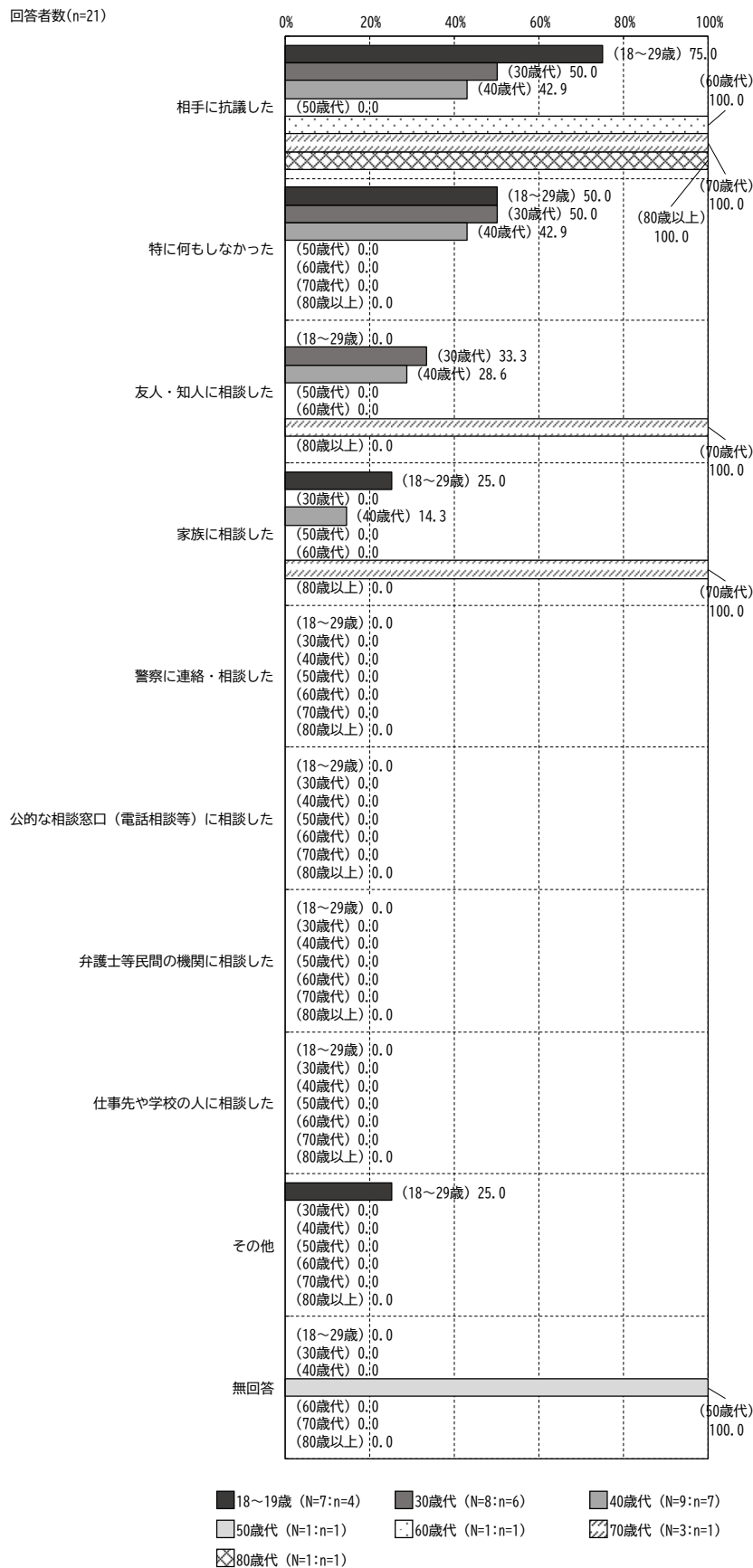
[デートDVの自覚はないが困難を抱えている人]



年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-4-2 デートDV被害の対応（年代別）

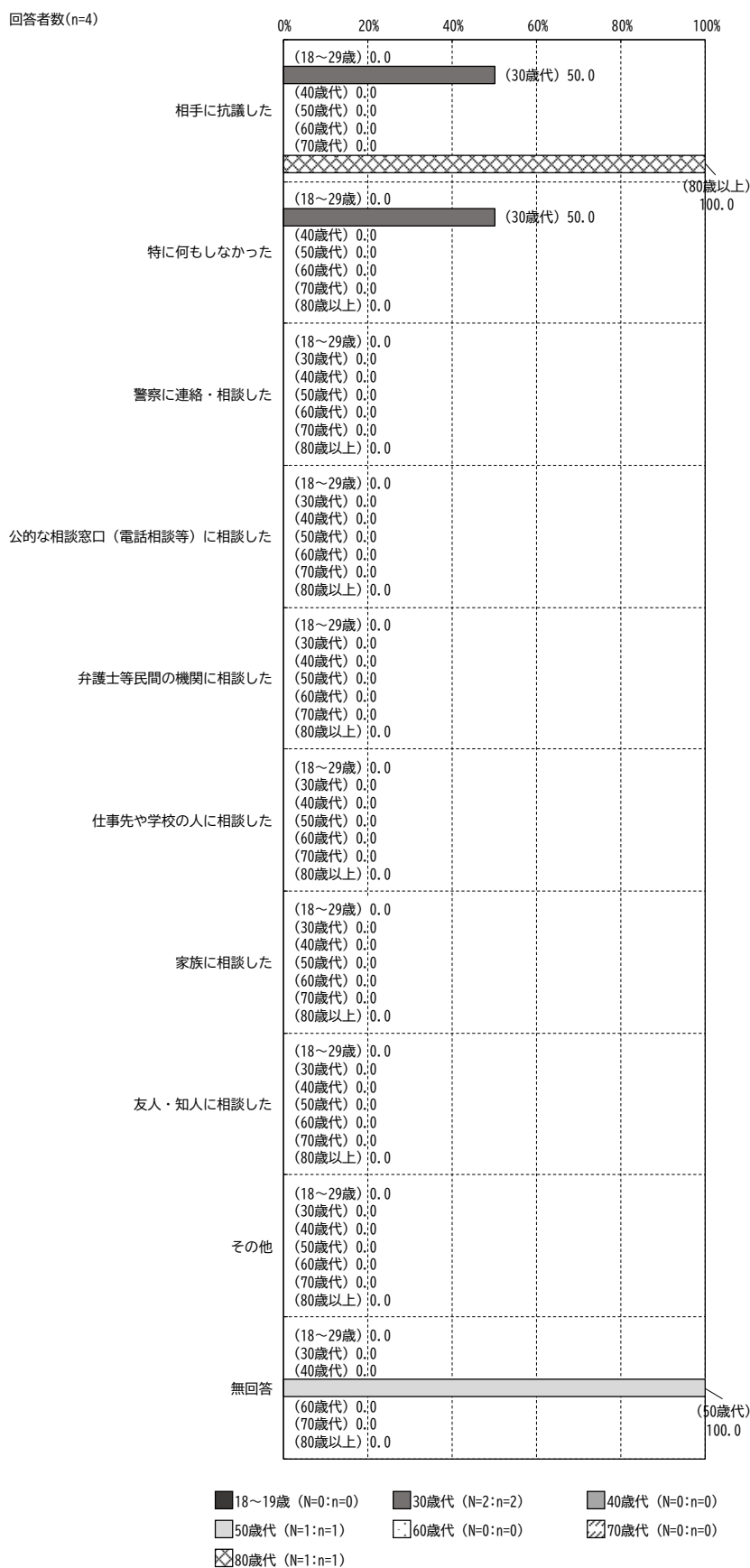
〔デートDVの自覚はないが困難を抱えている人〕



男性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-4-3 デートDV被害の対応（男性・年代別）

〔デートDVの自覚はないが困難を抱えている人〕

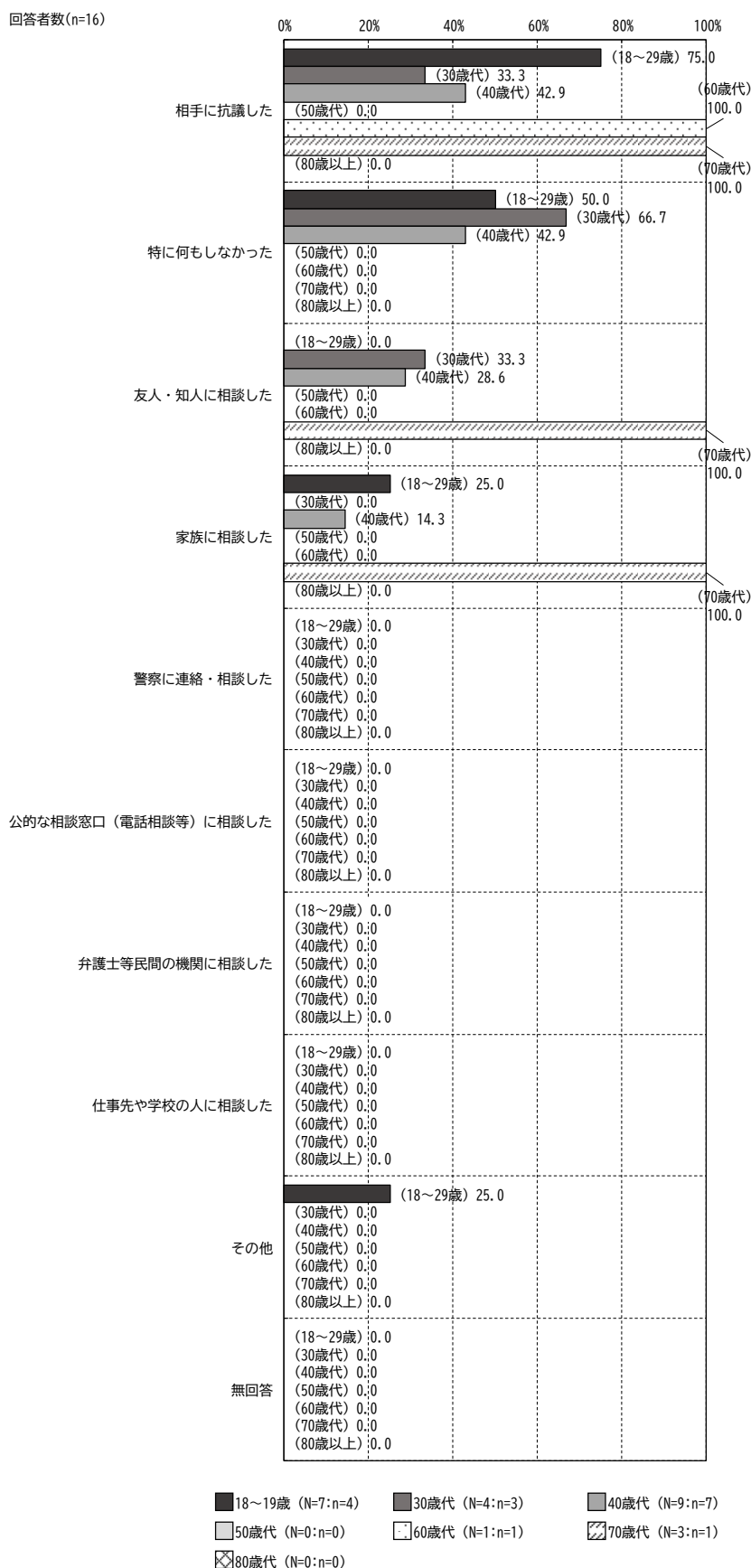




女性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 7-4-4 デートDV被害の対応（女性・年代別）

〔デートDVの自覚はないが困難を抱えている人〕



○ 問10 その他（自由記載）の回答（4件）

No.	回答
1	昔はあたり前でもまんしていた
2	ナシ
3	第三者が通報してくれた
4	避妊してもらえなかった。でも聞くと ED だからと言われました。本当なのか疑ったらしっかりとゴム使った場合をしっかりともらったら本当に出来なかったので私が理解し寄り添う事にしましたが内心不安で仕方なかったです。

(8) DV・デートDV被害で何もしなかった理由

問11 (注) 問10で8と答えた方のみ回答してください。

何もしなかった主な理由は次のうちどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

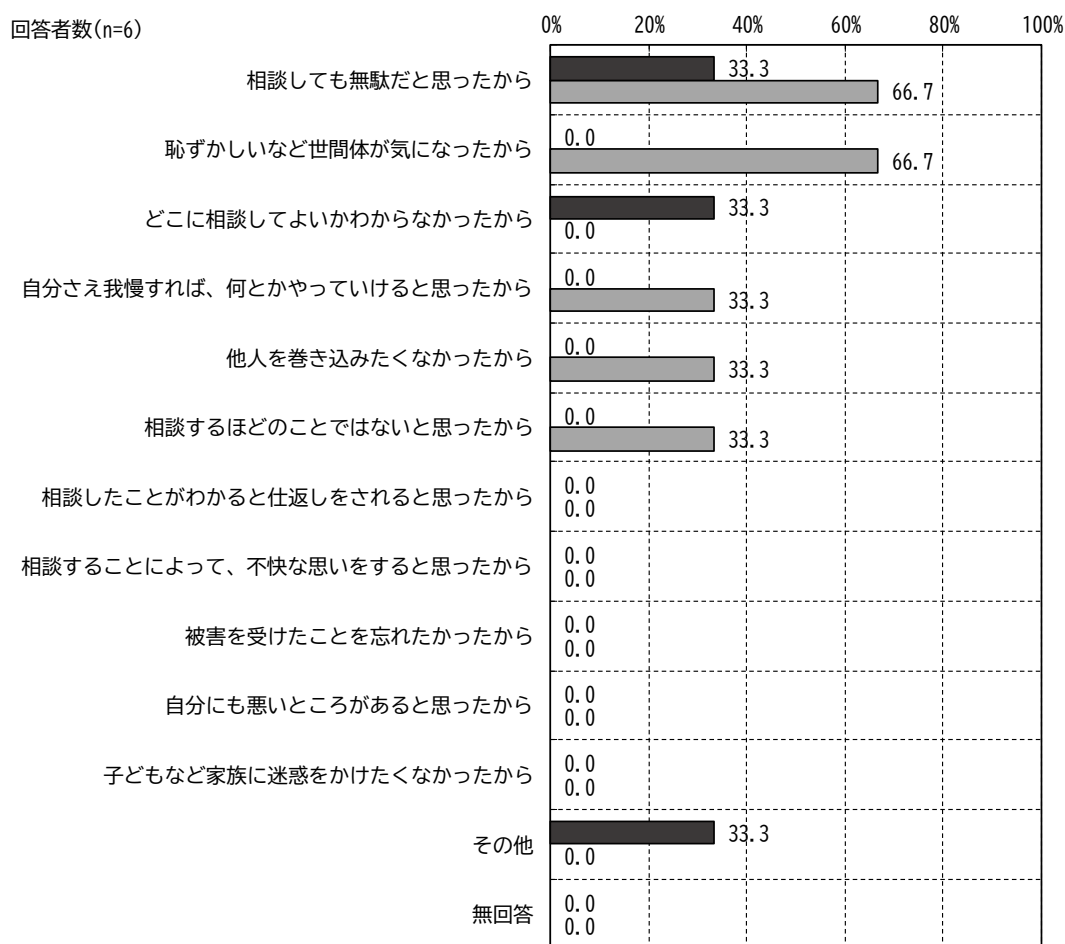
○ 問8で1又は2の回答者 ※DVを自覚している人

【DV被害で何もしなかった理由】

性別(図8-1-1)で見ると、「相談しても無駄だと思ったから」が最も高く、男性が33.3%、女性が66.7%となっている。(男性は「どこに相談してよいかわからなかったから」「その他」と同率、女性は「恥ずかしいなど世間体が気になったから」と同率)

図8-1-1 DV被害で何もしなかった理由(性別)

[DVを自覚している人]



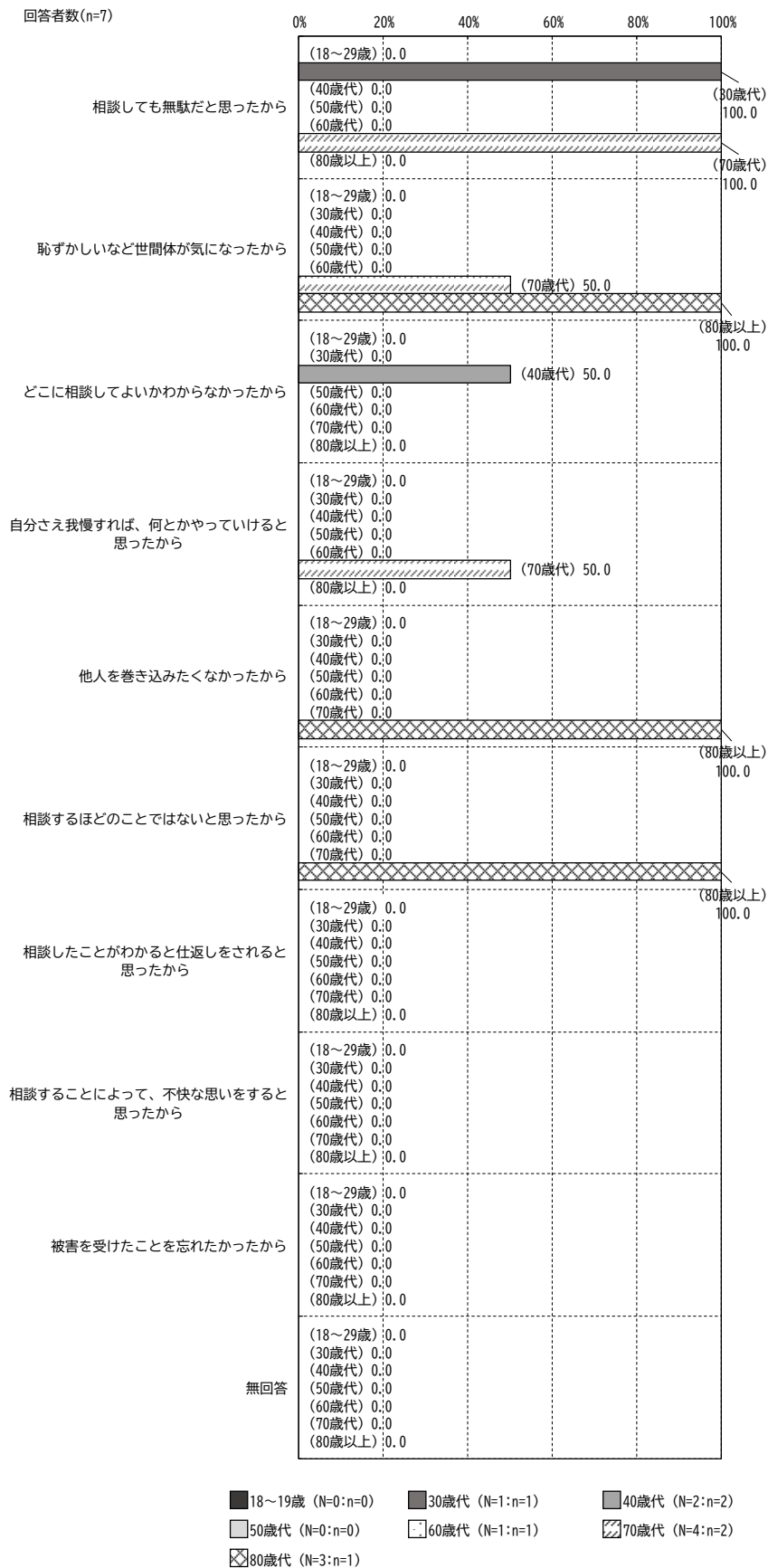
■ 男性 (N=2:n=3)

■ 女性 (N=6:n=3)

年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-1-2 DV被害で何もなかった理由（年代別）

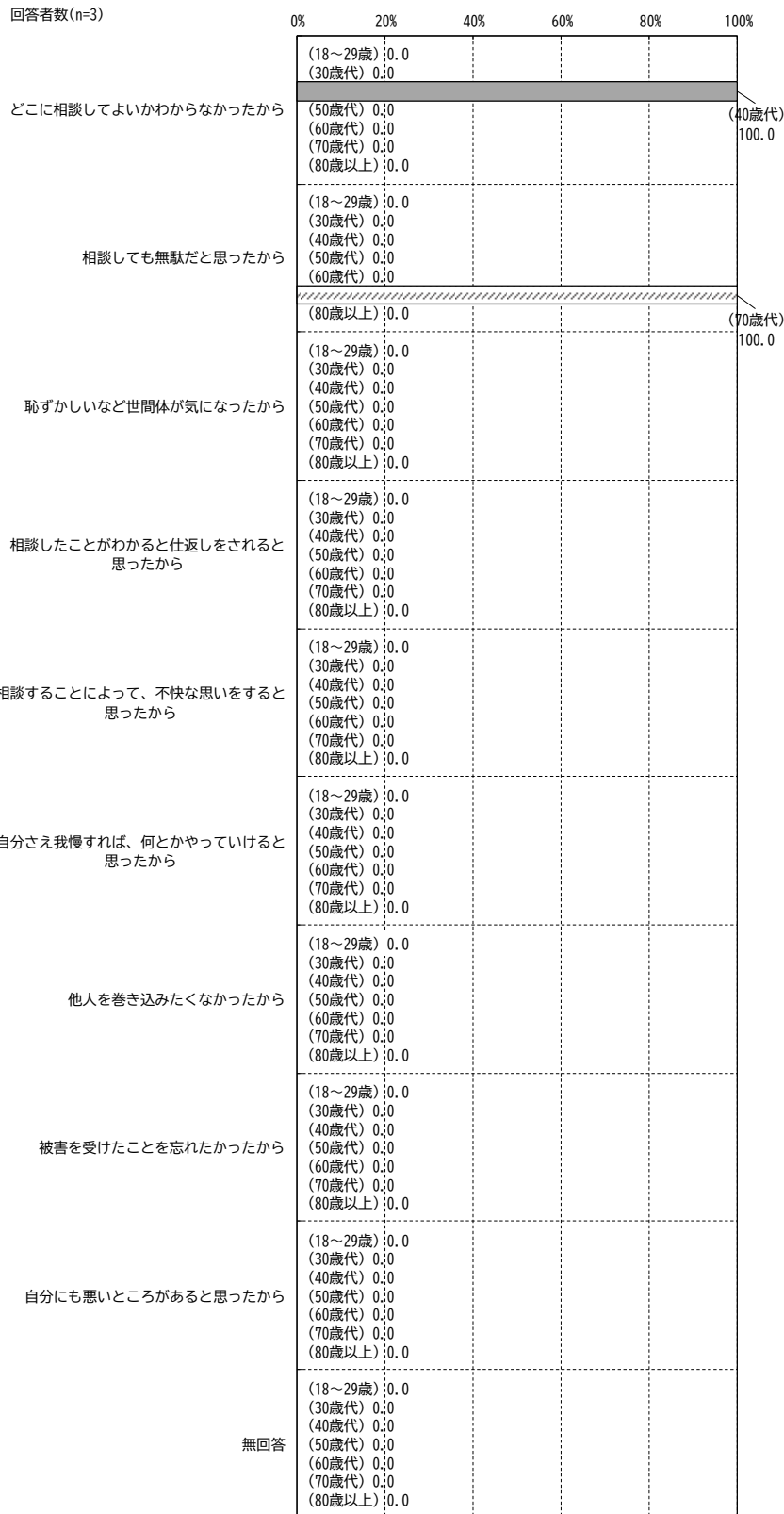
[DVを自覚している人]



男性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-1-2 DV被害で何もなかった理由 (男性・年代別)

[DVを自覚している人]

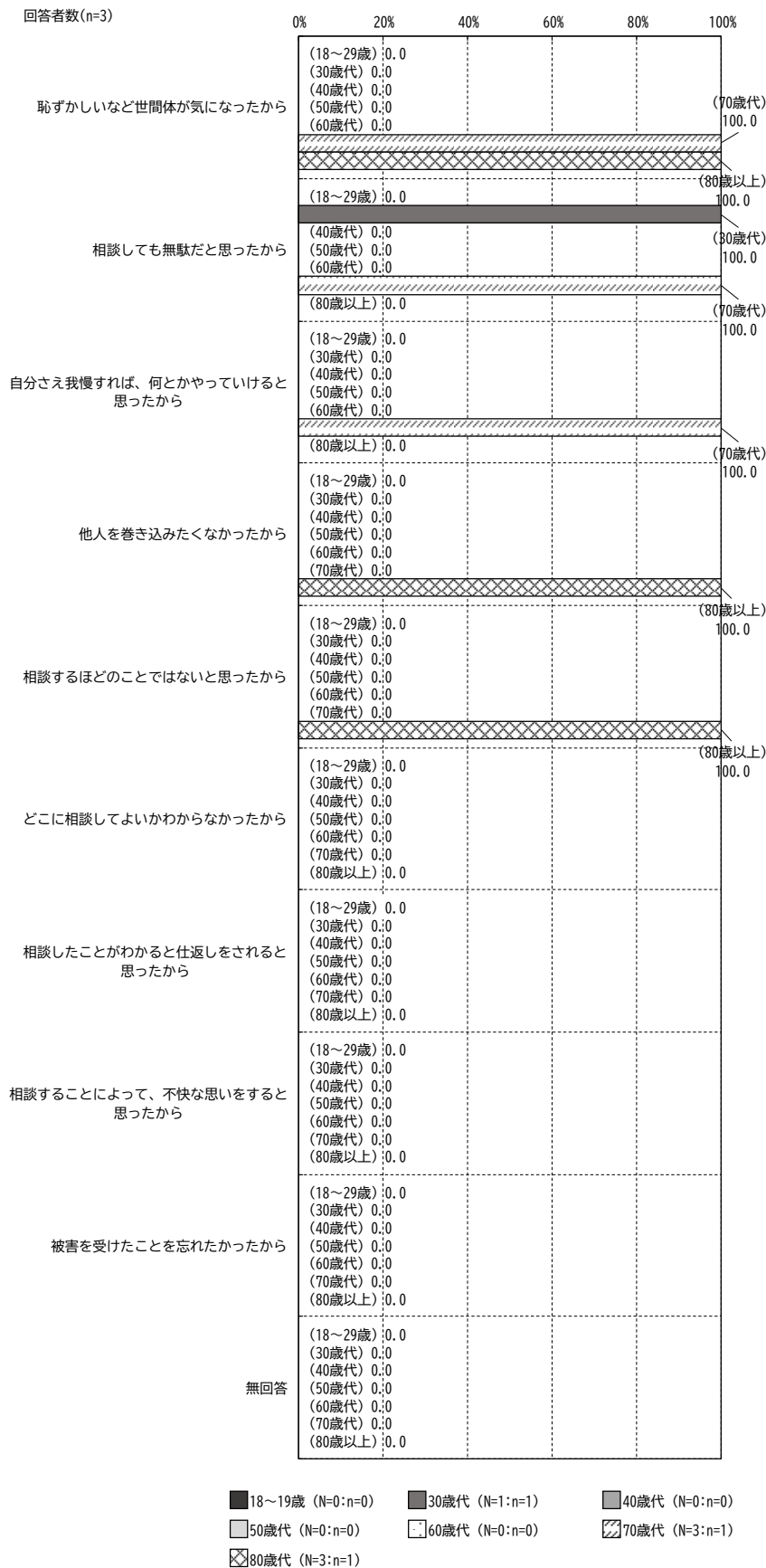


■ 18~19歳 (N=0:n=0)    ■ 30歳代 (N=0:n=0)    ■ 40歳代 (N=1:n=1)  
 ■ 50歳代 (N=0:n=0)    ■ 60歳代 (N=1:n=1)    ■ 70歳代 (N=1:n=1)  
 ■ 80歳代 (N=0:n=0)

女性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-1-2 DV被害で何もなかった理由 (女性・年代別)

[DVを自覚している人]



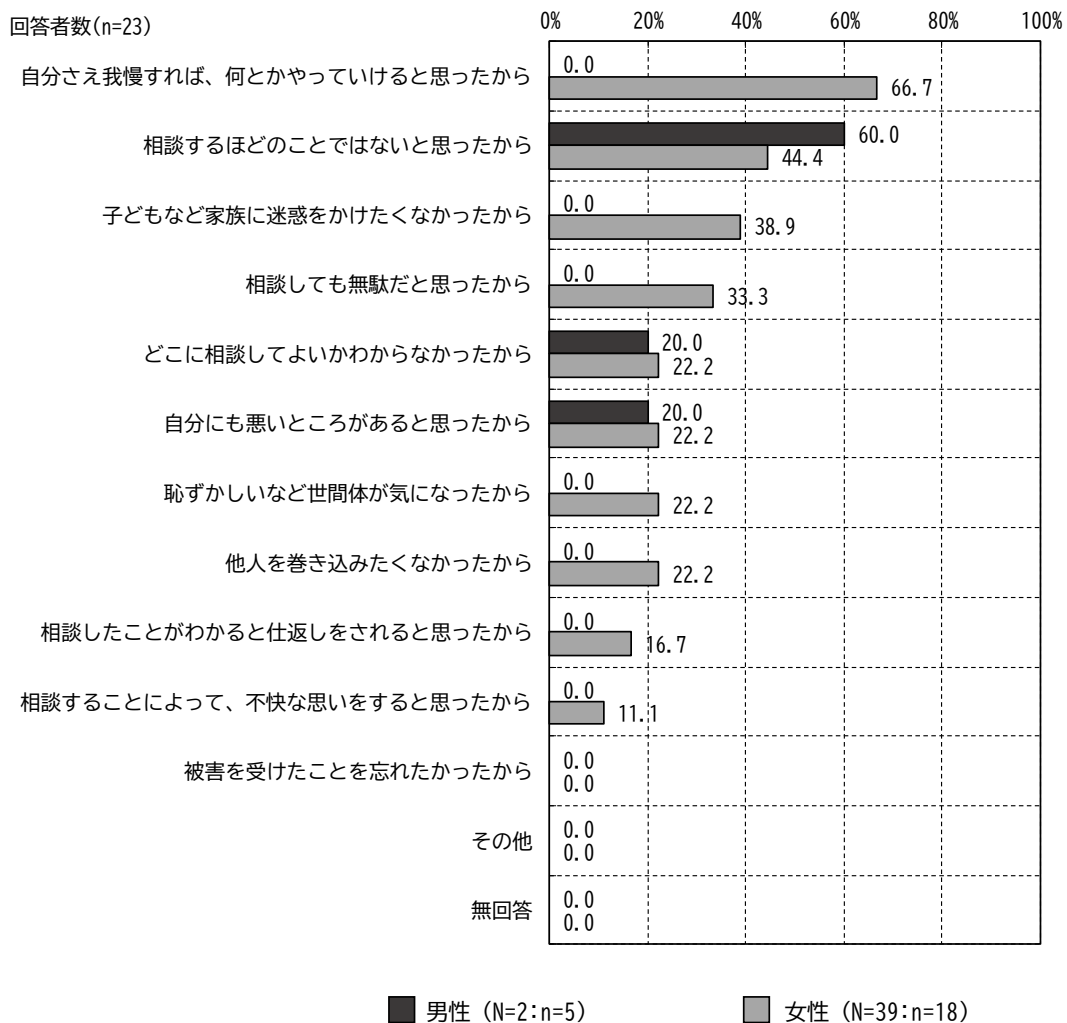
○ 問8で3の回答者 ※DVの自覚はないが困難を抱えている人

【DV被害で何もしなかった理由】

性別(図8-2-1)で見ると、男性は「相談するほどのことではないと思ったから」が60.0%と最も高く、女性は「自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから」が66.7%と最も高くなっている。

図8-2-1 DV被害で何もしなかった理由(性別)

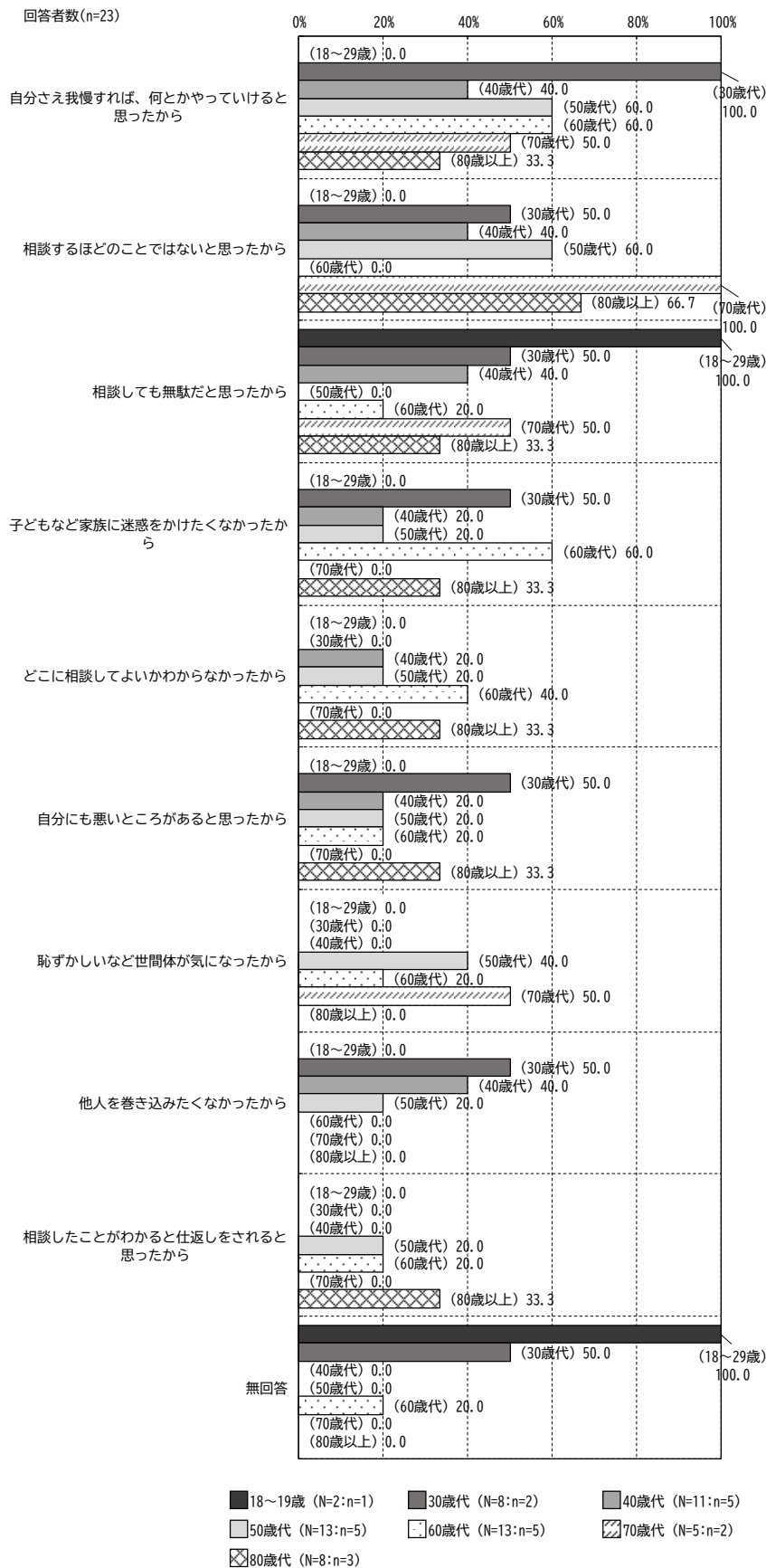
[DVの自覚はないが困難を抱えている人]



年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-2-2 DV被害で何もなかった理由（年代別）

[DVの自覚はないが困難を抱えている人]

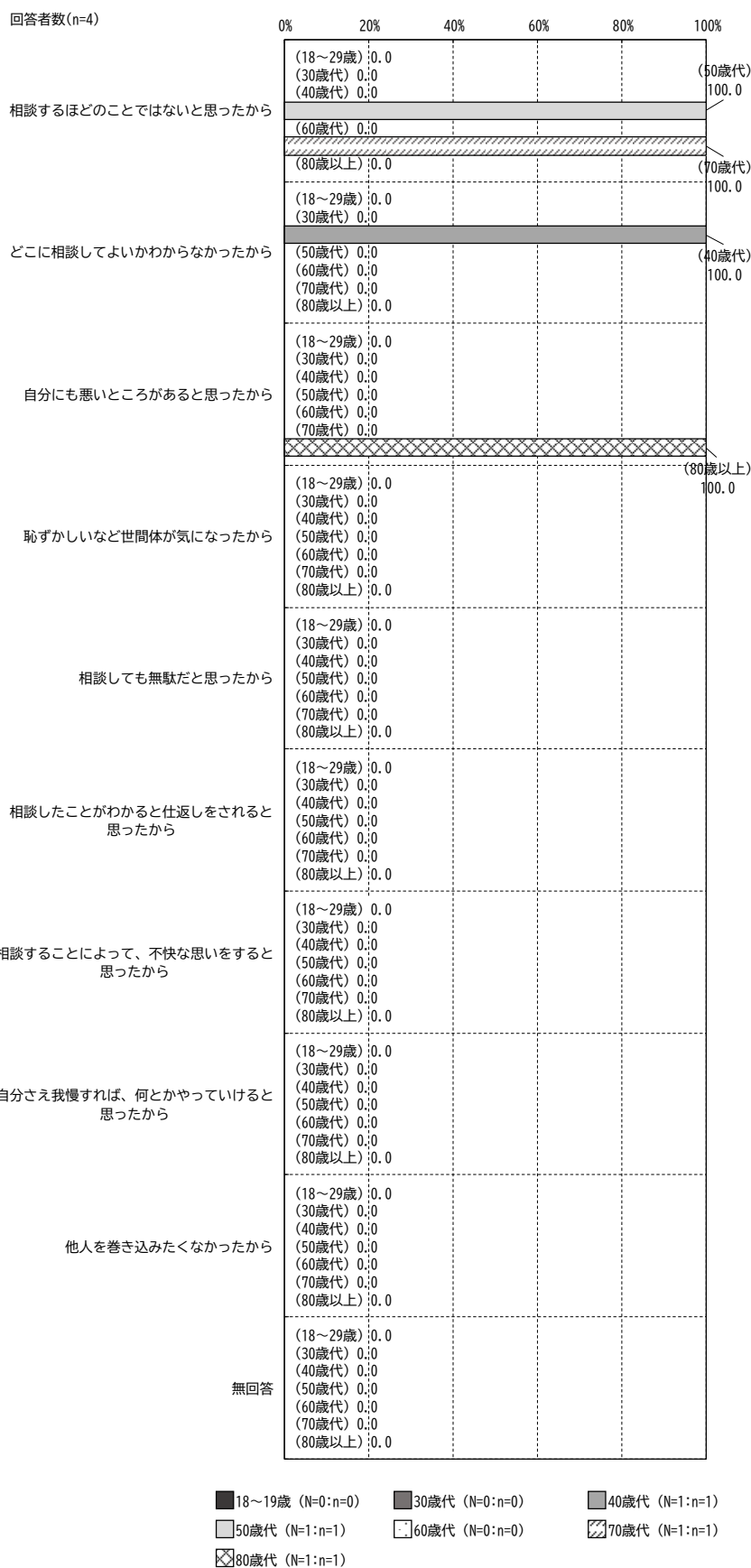




男性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-2-2 DV被害で何もしなかった理由（男性・年代別）

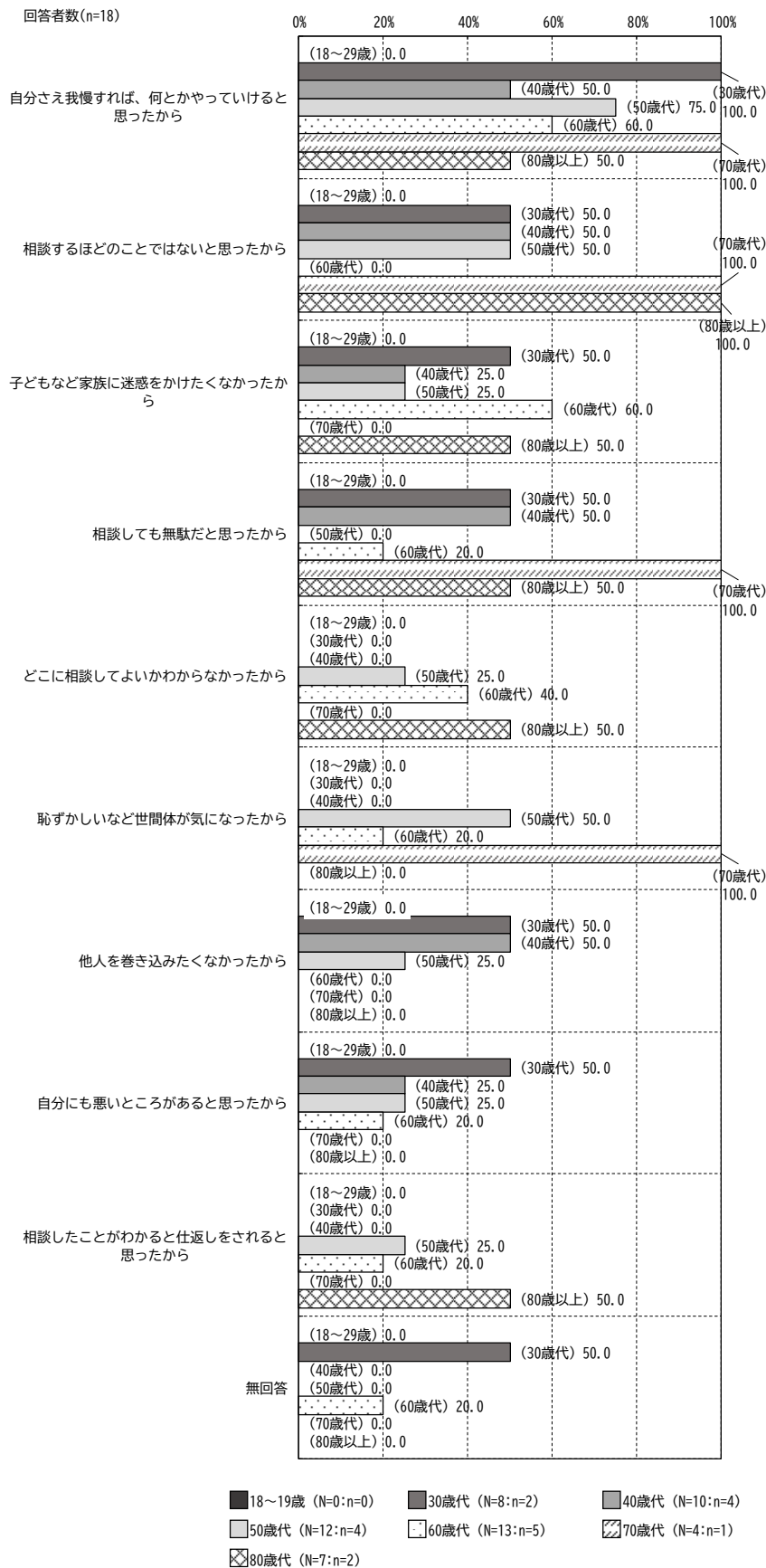
[DVの自覚はないが困難を抱えている人]



女性の年代別でみたDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-2-2 DV被害で何もしなかった理由（女性・年代別）

[DVの自覚はないが困難を抱えている人]



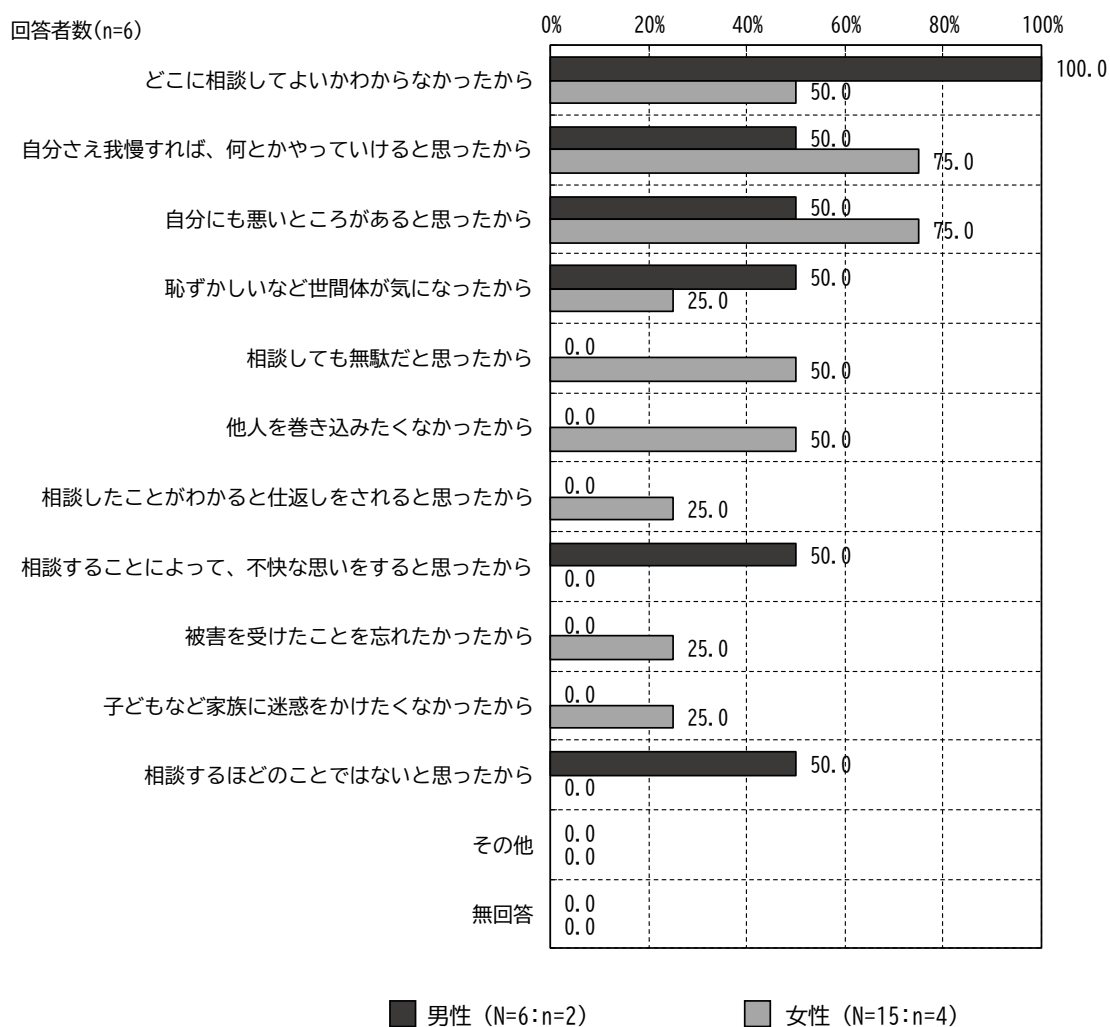
○ 問9で1又は2の回答者 ※デートDVを自覚している人

【デートDV被害で何もしなかった理由】

性別(図8-3-1)で見ると、男性は「どこに相談してよいかわからなかったから」が100.0%と最も高く、女性は「自分さえ我慢すれば、何とかやっていけると思ったから」と「自分にも悪いところがあると思ったから」が同率で75.0%と最も高くなっている。

図8-3-1 デートDV被害で何もしなかった理由(性別)

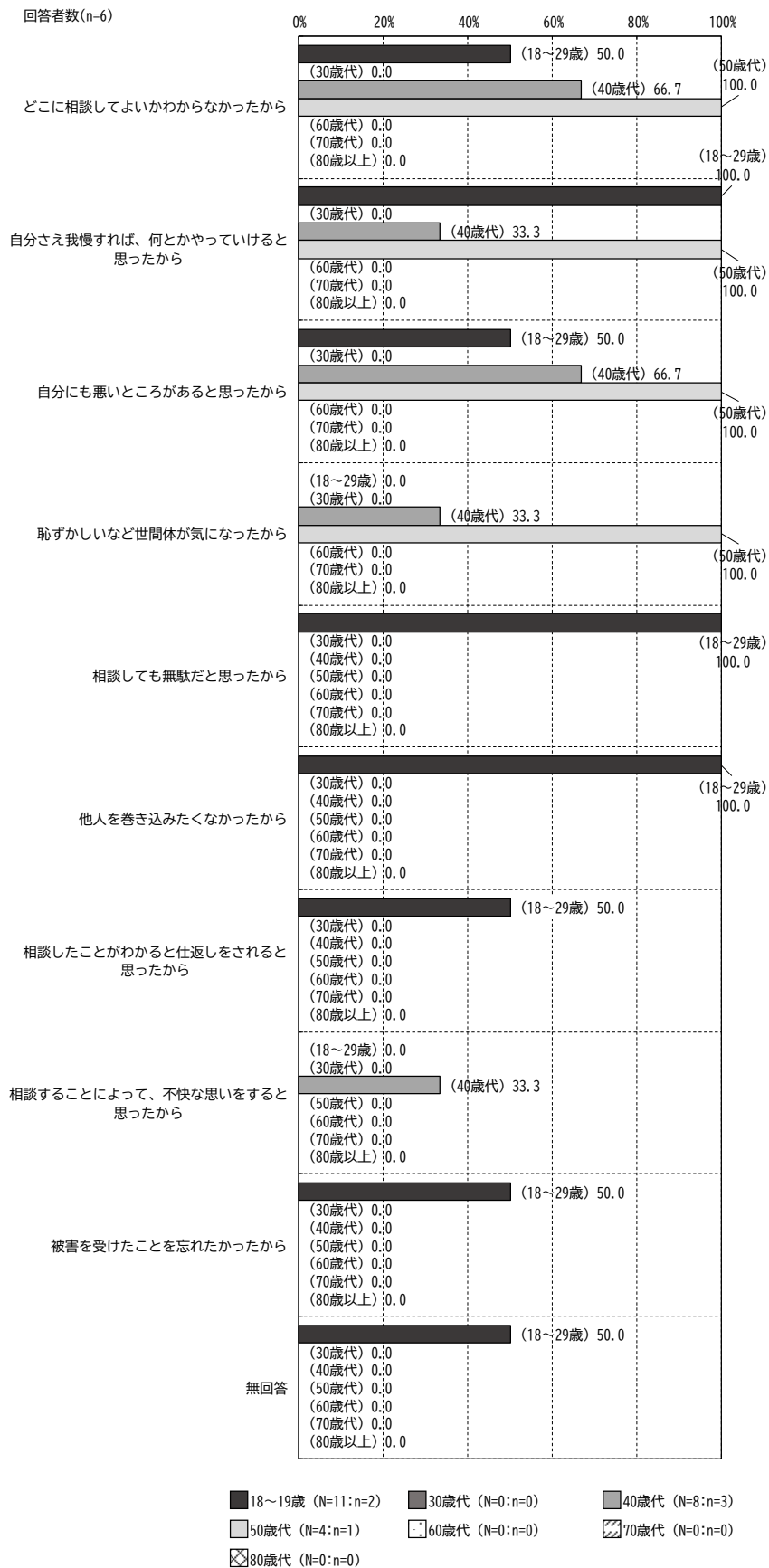
[デートDVを自覚している人]



年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-3-2 デートDV被害で何もしなかった理由（年代別）

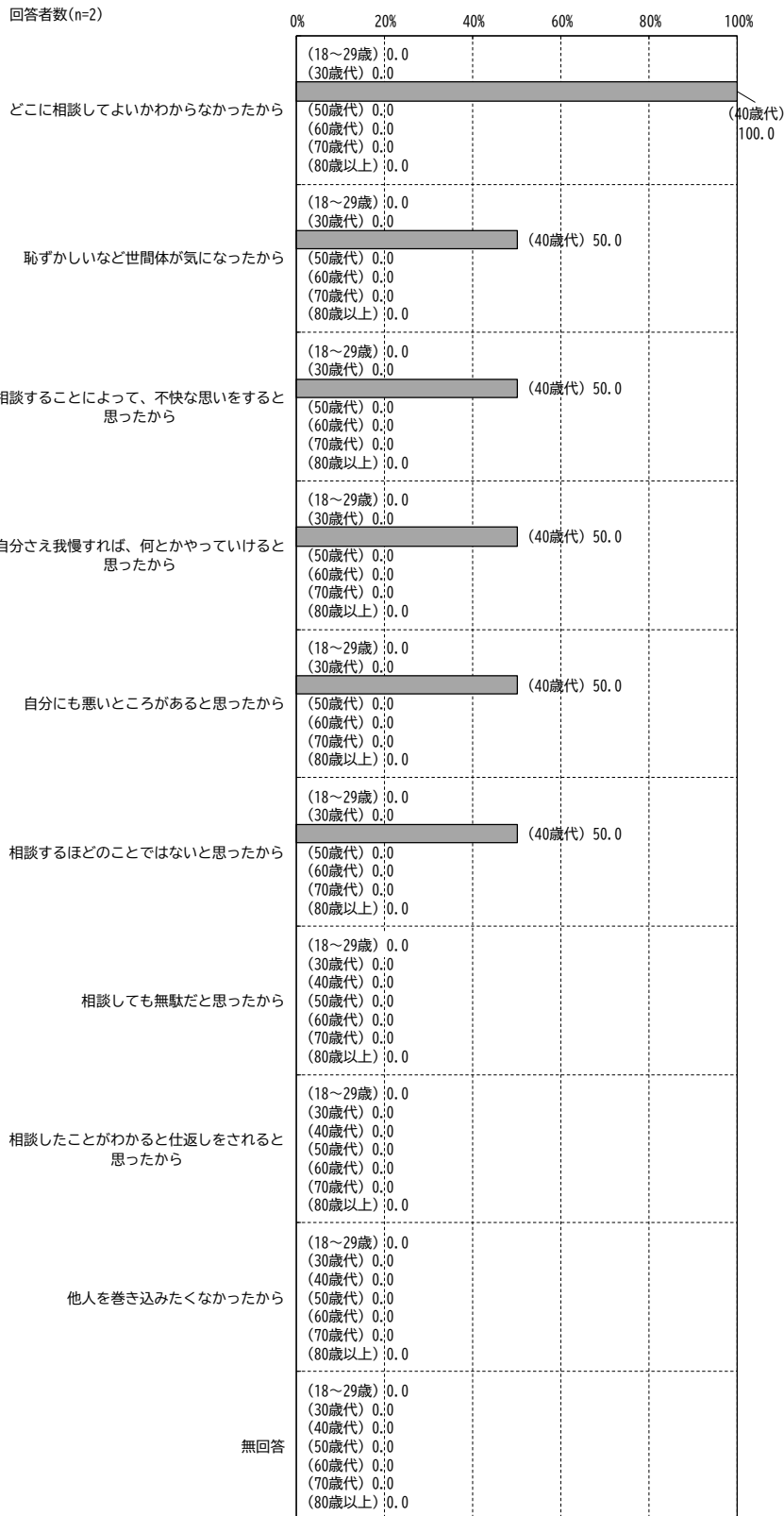
〔デートDVを自覚している人〕



男性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-3-2 デートDV被害で何もなかった理由（男性・年代別）

〔デートDVを自覚している人〕

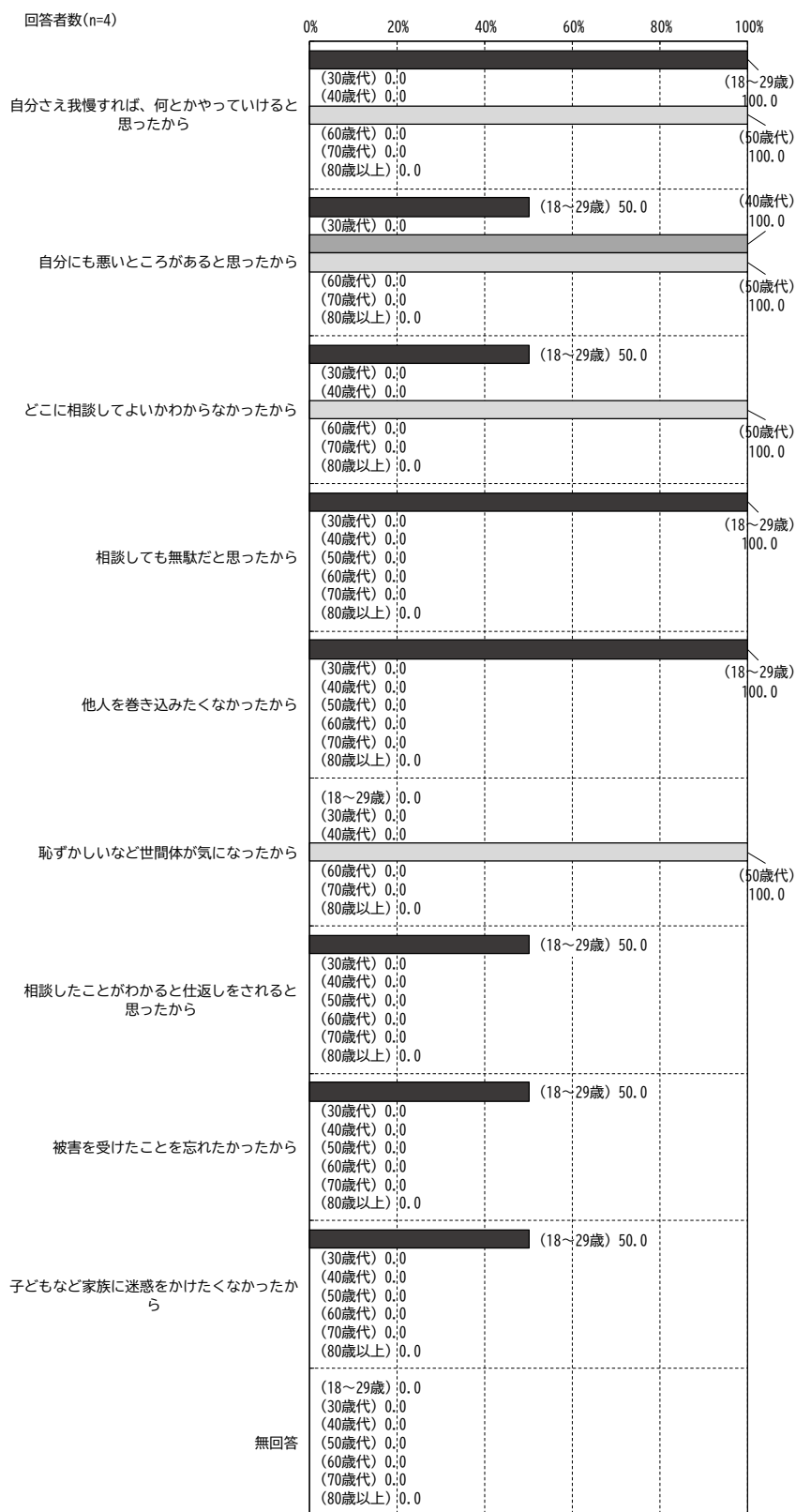


■ 18~19歳 (N=0:n=0)    ■ 30歳代 (N=0:n=0)    ■ 40歳代 (N=7:n=2)  
 ■ 50歳代 (N=0:n=0)    ■ 60歳代 (N=0:n=0)    ■ 70歳代 (N=0:n=0)  
 ■ 80歳代 (N=0:n=0)

女性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-3-2 デートDV被害で何もしなかった理由（女性・年代別）

〔デートDVを自覚している人〕



■ 18~19歳 (N=11:n=2)   ■ 30歳代 (N=0:n=0)   ■ 40歳代 (N=1:n=1)  
 ■ 50歳代 (N=4:n=1)   ■ 60歳代 (N=0:n=0)   ■ 70歳代 (N=0:n=0)  
 ■ 80歳代 (N=0:n=0)

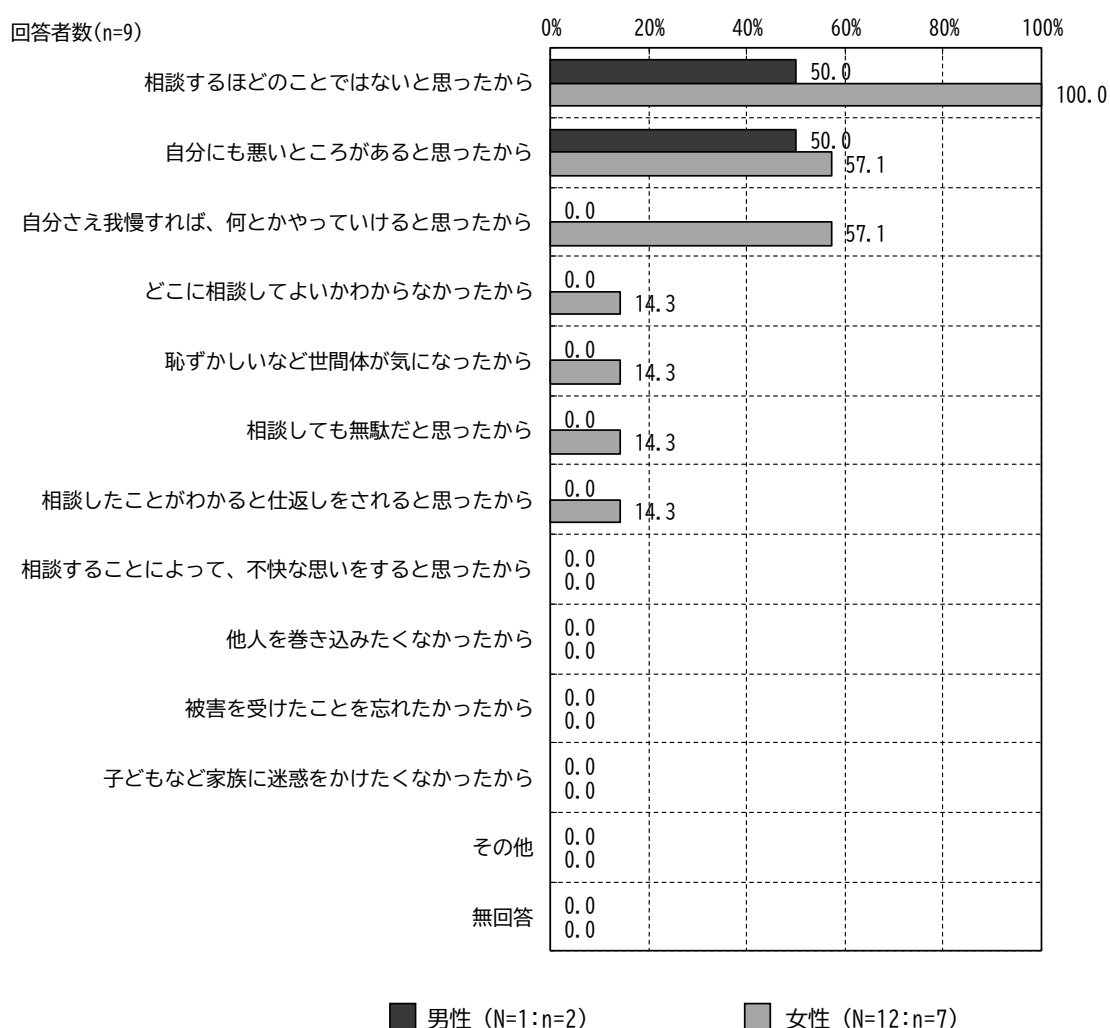
○ 問9で3の回答者 ※デートDVの自覚はないが困難を抱えている人

【デートDV被害で何もしなかった理由】

性別（図8-4-1）で見ると、「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高く、男性が50.0%、女性が100.0%となっている。次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」が高く、男性が50.0%、女性が57.1%となっている。（男性は「相談しても無駄だと思ったから」と同率）

図8-4-1 デートDV被害で何もしなかった理由（性別）

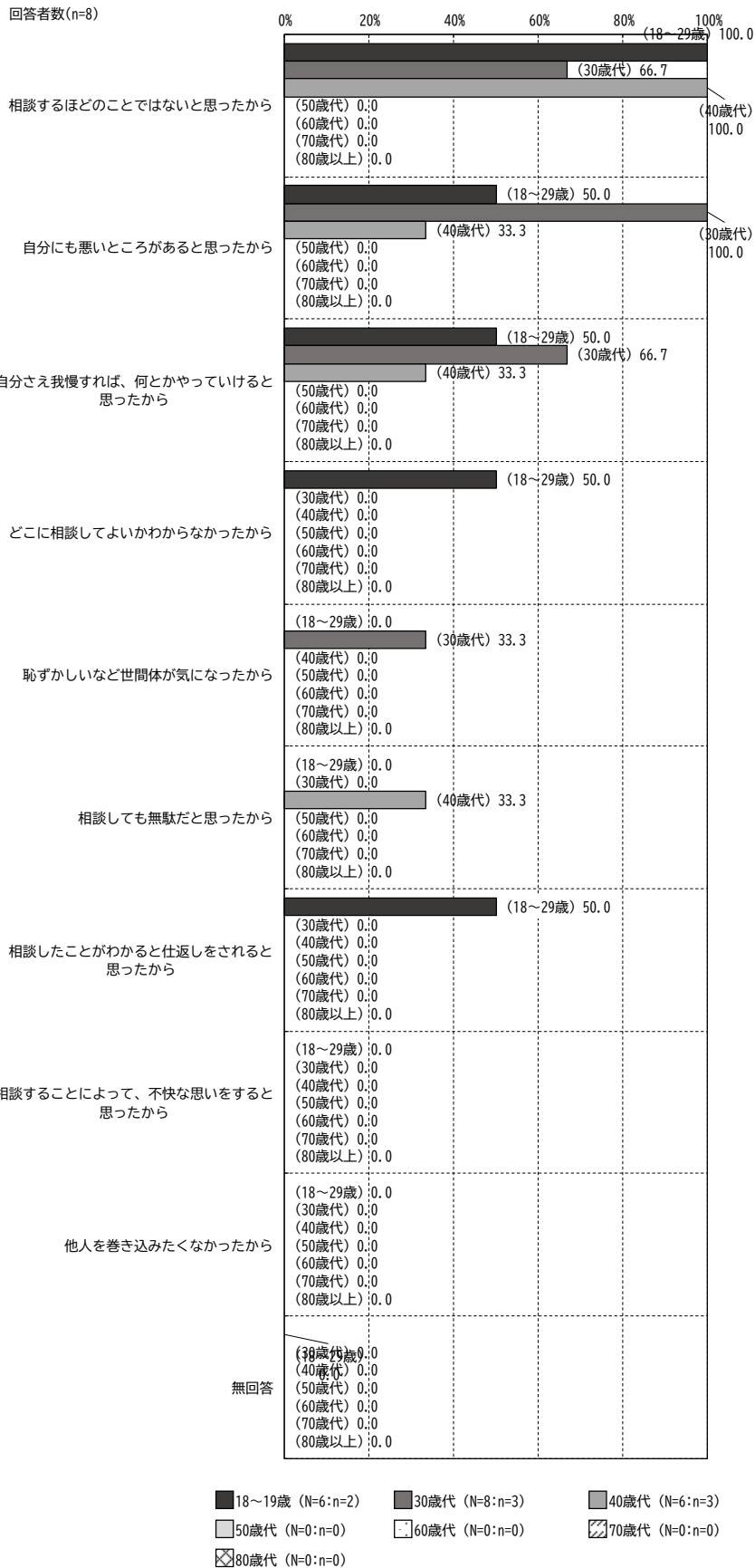
[デートDVの自覚はないが困難を抱えている人]



年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-4-2 デートDV被害で何もしなかった理由（年代別）

【デートDVの自覚はないが困難を抱えている人】

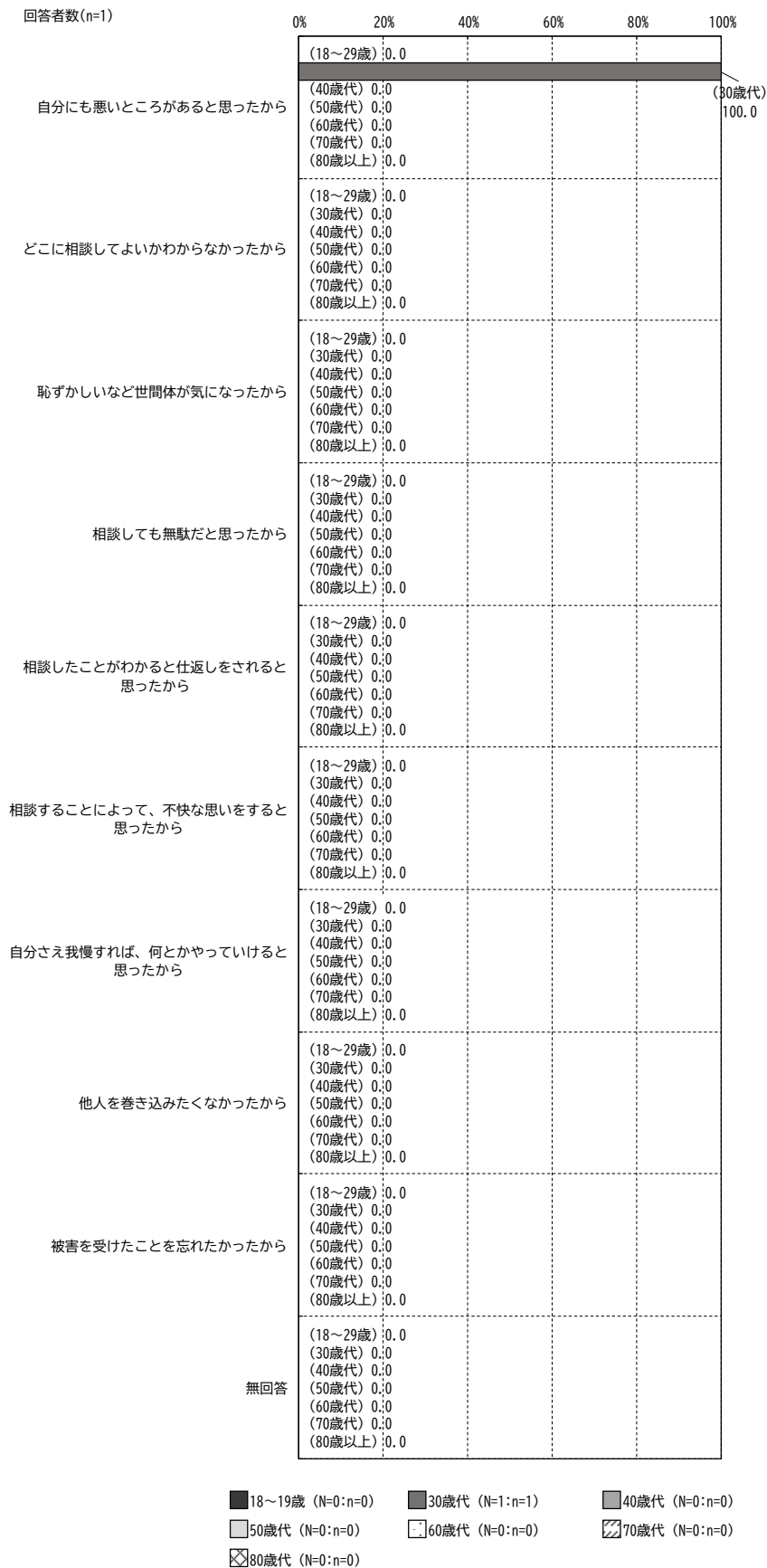




男性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-4-2 デートDV被害で何もしなかった理由（男性・年代別）

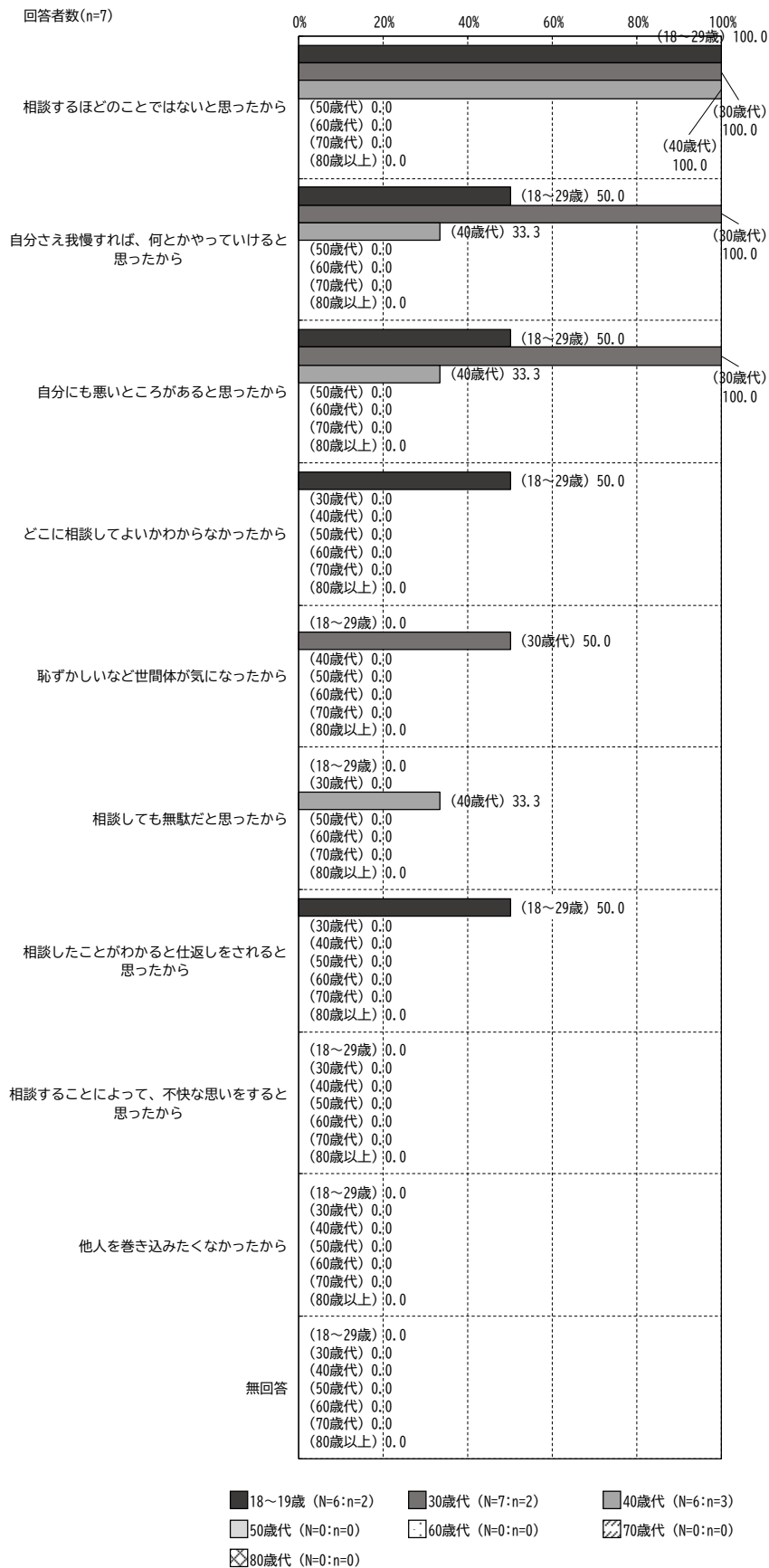
〔デートDVの自覚はないが困難を抱えている人〕



女性の年代別でみたデートDV被害の対応は、下記の結果となった。

図 8-4-2 デートDV被害で何もしなかった理由（女性・年代別）

〔デートDVの自覚はないが困難を抱えている人〕



○ 問11 その他（自由記載）の回答（2件）

No.	回答
1	自分が子供で「あたり前」なのかと思ってたから。
2	昔の事なのでDVと言う認識が無かった

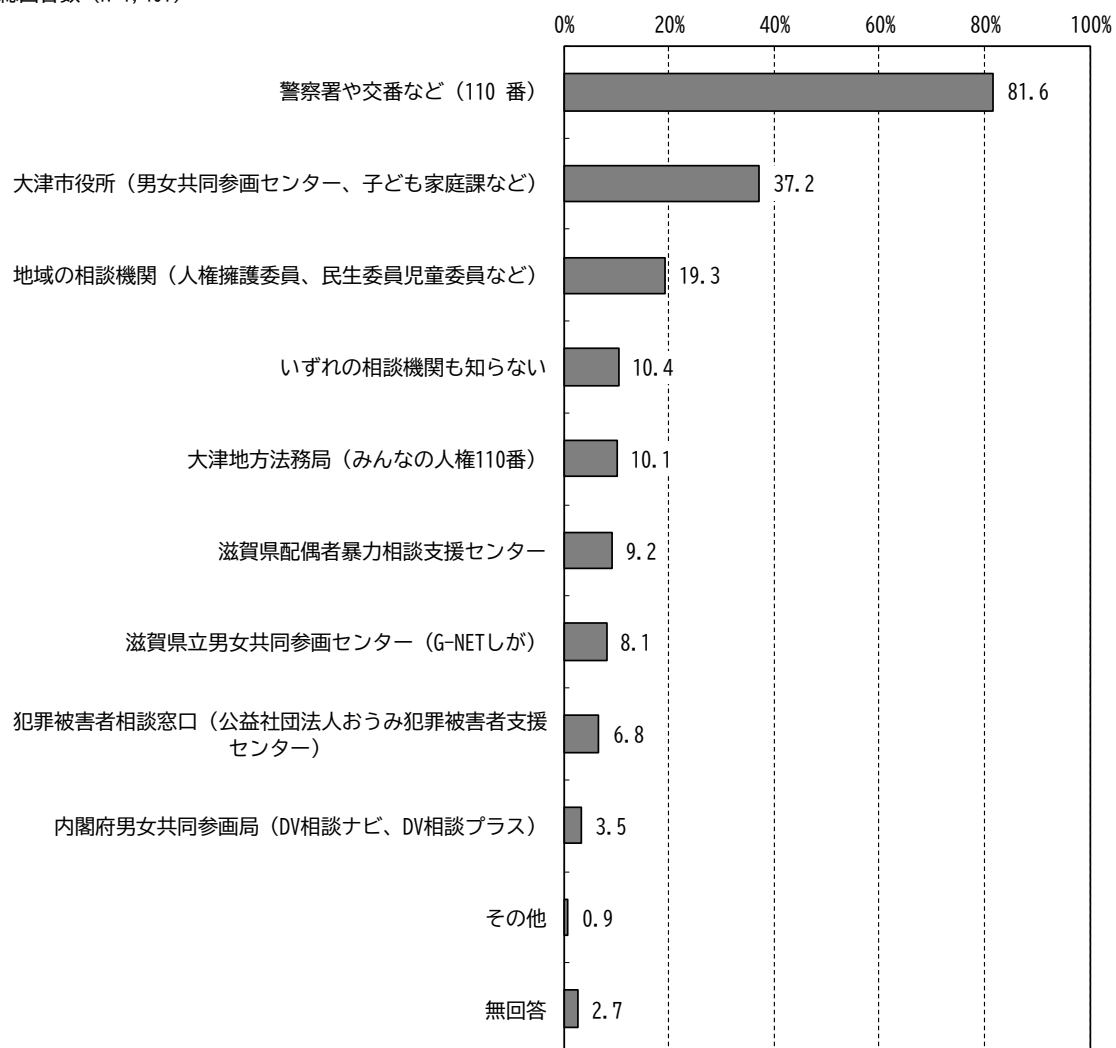
### (9) 相談機関の認知度

問12 配偶者や交際相手などから身体的・心理的・性的な暴力などを受けたときに利用できる相談機関のうち、あなたが知っている相談機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

全体(図9-1)で見ると、「警察署や交番など(110番)」が81.6%と最も高く、次いで「大津市役所(男女共同参画センター、子ども家庭課など)」が37.2%となっている。

図9-1 相談機関の認知度

回答者数(n=752)  
総回答数(N=1,407)



○ 問12 その他（自由記載）の回答（11件）

No.	回答
1	署
2	弁護士
3	カウンセラー
4	相談窓口がたくさんあることを知らなかった。
5	上記の機関で実名を出すだけでも勇気がいります。個人情報を守れる機関。本人の立場を鑑みカウンセリングを受けられる場所
6	妻と二人の生活で仲良く暮しているので知りたいと思わない
7	弁護士
8	弁護士
9	⑧以外は知らなかった
10	弁護士事務所
11	弁護士事務所

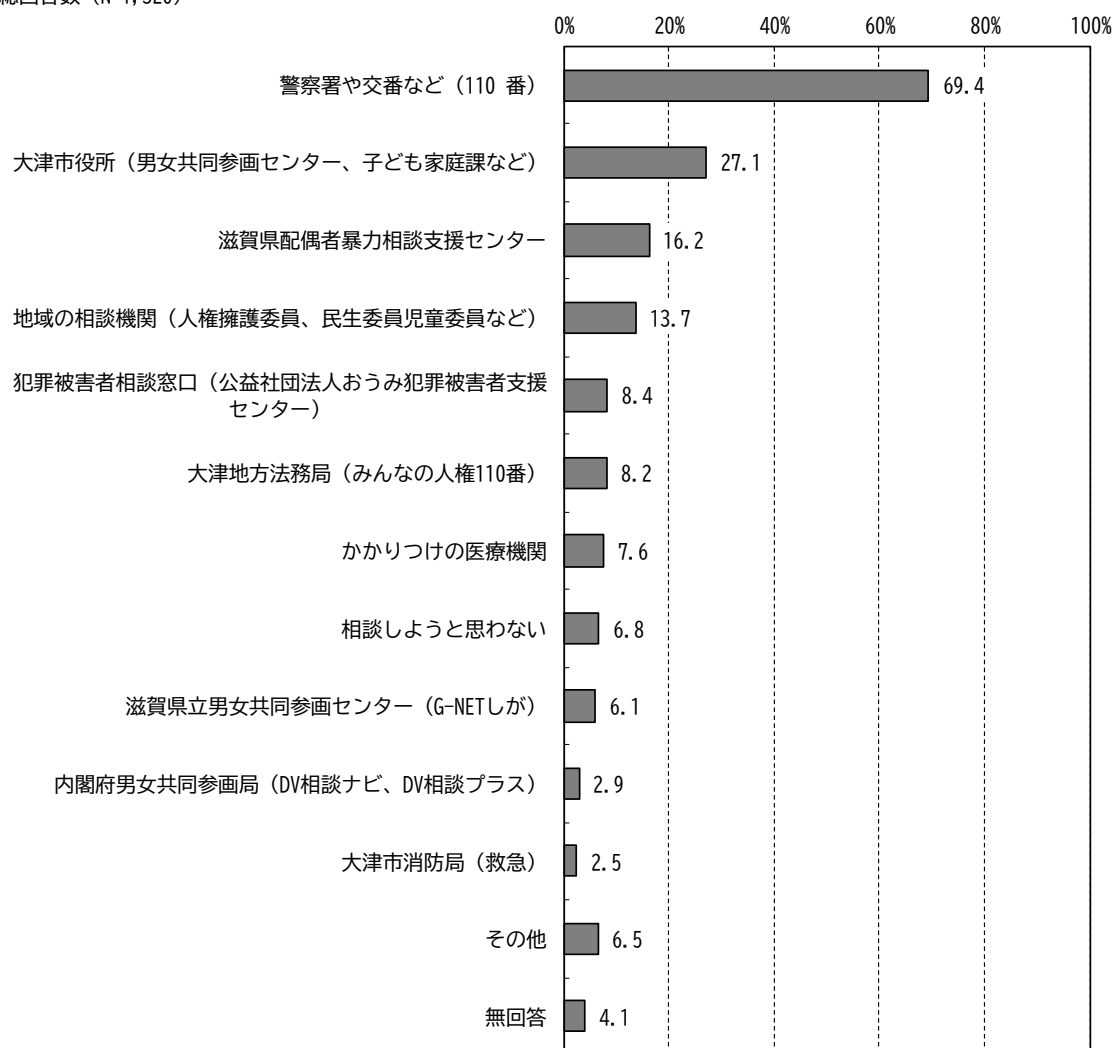
## (10) DV被害の相談相手

問13 あなたがDVやデートDVの被害にあった場合、どこに相談しようと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体(図10-1)で見ると、警察署や交番など(110番)が69.4%と最も高く、次いで「大津市役所(男女共同参画センター、子ども家庭課など)」が27.1%となっている。

図10-1 DV被害の相談相手

回答者数 (n=752)  
総回答数 (N=1,320)



○ 問13 その他（自由記載）の回答（56件）

No.	回答
1	親族
2	弁護士
3	D. V. にあう事はない。1人者です
4	ありえない
5	1～10まで、どれが積極的に対応するのか？
6	想定できない。但し、1～7までは数が多く違いが分からないと思った。
7	SNS
8	まずは、家族、友人。
9	友人・親
10	その時に調べる
11	わからない
12	弁護士
13	友だち・親・兄弟
14	カウンセラー
15	友人
16	わからない
17	友人
18	調べて適当だと思うところに連絡する
19	被害にあわないと思う
20	現状ではDVの被害になる事はない状況です。
21	相談したい時に、インターネットで調べて出てきた良さそうな所へ相談する。
22	安全に過ごせるためにどこに相談したらいいのかわからない
23	ケースワーカー
24	友人
25	相談先への信頼度と連けい。各機関の守秘義務の徹底。
26	未経験なのでわからない。状況・程度で変化
27	友人や親
28	カウンセリング及び適切な助言出きる方。悪い例は事後的、たらい回しにすること。
29	どこに想談してよいか分らない
30	DVに関しては関心がない
31	友人・家族
32	わからない
33	弁護士
34	189に連絡
35	その時にわからないとわからない
36	友人、親に相談してネットで検索くすると思う
37	まずは、友人知人、DVに詳しい方、市県議に相談
38	わからない

39	知人、友人
40	家族（デートDVの場合） ありすぎてわからない
41	友人
42	弁護士
43	家族、友人
44	家族（実家）
45	説明するのがむずかしい。それと個人情報もれる ●●●●の民生員は信用できない（●●●●●●） 民生委員●●●はすぐしゃべる
46	友人 親
47	家族、友人
48	ネットで探して出てきた相談先
49	知人
50	弁護士
51	考えたことがない。そうになったら考える。
52	相談したいがどこにしたら良いのかわからない。
53	家族
54	以前暴力を受けたときに警察に相談したことがあるが痴話喧嘩だと威圧的な態度を取られ脅されて警察は機能してないのだと改めて身にしみました
55	家族や友人に相談
56	友人



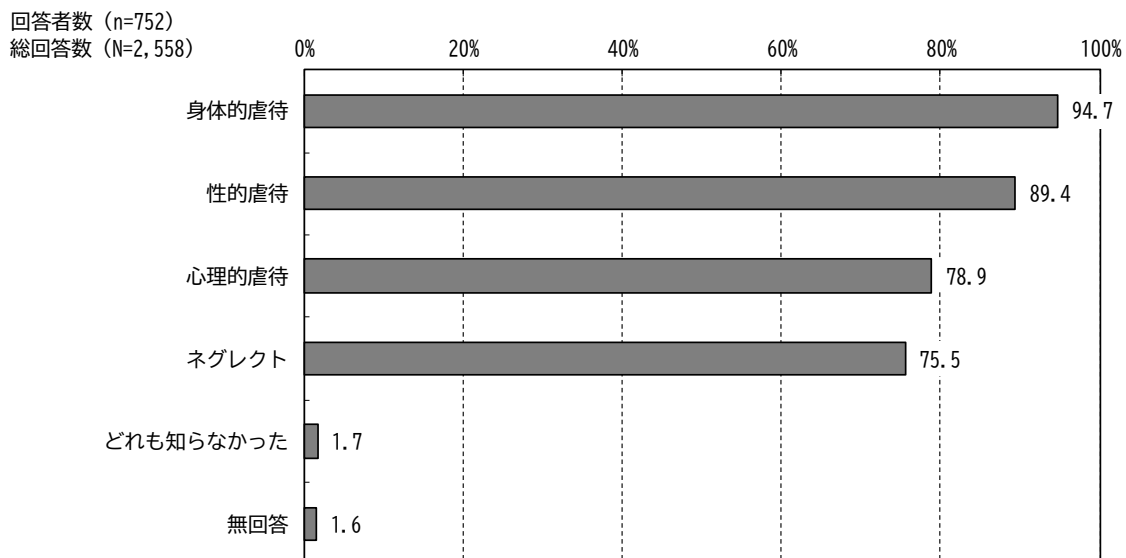
## 2. DVと児童虐待との関連性やそのほか家庭内に生じる影響などについて

### (1) 児童虐待の内容

問14 児童虐待の中で知っているものを選択してください。(あてはまるものすべてに○)

全体(図1-1)で見ると、「身体的虐待」が94.7%と最も高く、次いで「性的虐待」が89.4%となっている。

図1-1 児童虐待の内容

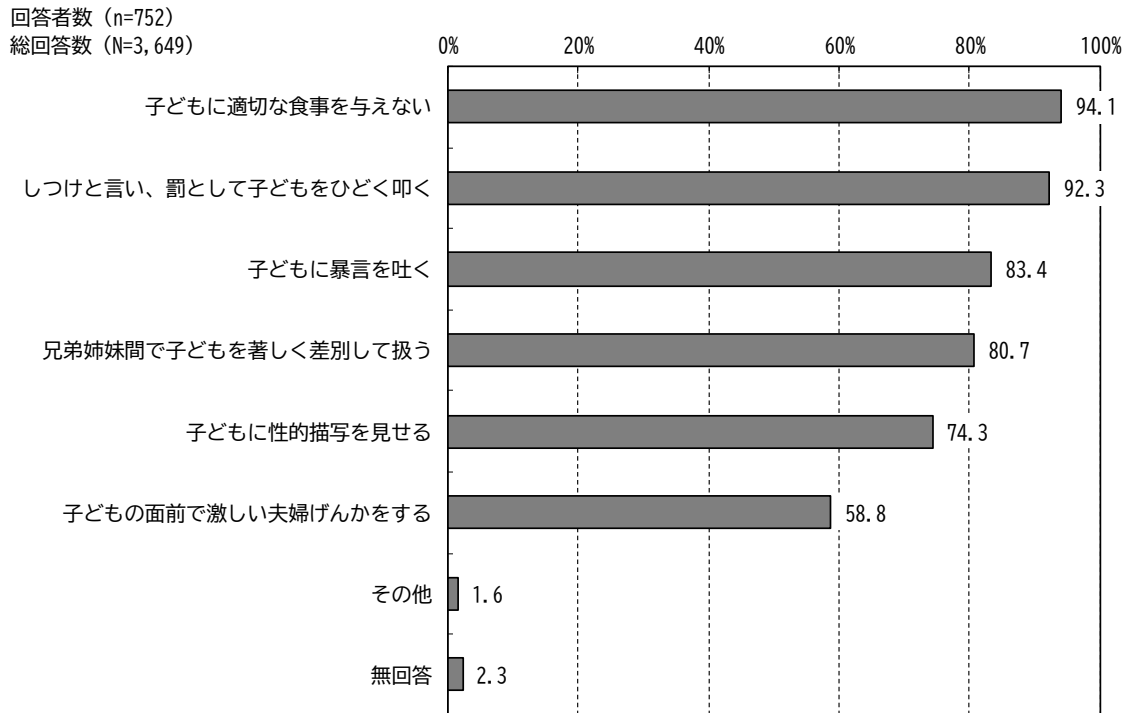


## (2) 児童虐待の理解

問15 次の中で、あなたが児童虐待と感じるものを選択してください。

全体（図2-1）で見ると、「子どもに適切な食事を与えない」が94.1%と最も高く、次いで「しつけと言い、罰として子どもをひどく叩く」が92.3%となっている。

図2-1 児童虐待の理解



○ 問15 その他（自由記載）の回答（13件）

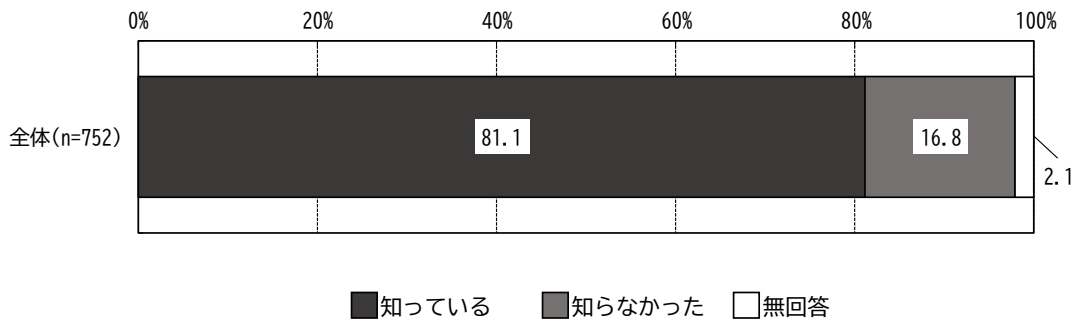
No.	回答
1	人前でおこる。
2	子の存在を無視すること。
3	子どもをムシする
4	子どもを学校に通わせない
5	子供を性的対象にする孫への性暴力が最近ありましたよね
6	宗教にもとづく虐待（統一教会2世問題等）
7	ネグレスト。極度な行動制限。
8	悪意あるあだ名で呼ぶ
9	ネグレクト 放置
10	衛生面、体調不良時の対応を怠る 子どもの困り事や変化に気付けない
11	過保護、過干渉
12	無視、夜や寒い時期の長時間締め出し
13	食べ物やお風呂など十分な生活をその子供のみ与えられていない

### (3) 心理的虐待について

問16 子どもの前でDVを行うことは、心理的虐待にあたることを知っていますか。  
(○は1つ)

全体(図3-1)で見ると、「知っている」が81.1%、「知らなかった」が16.8%となっている。

図3-1 心理的虐待について

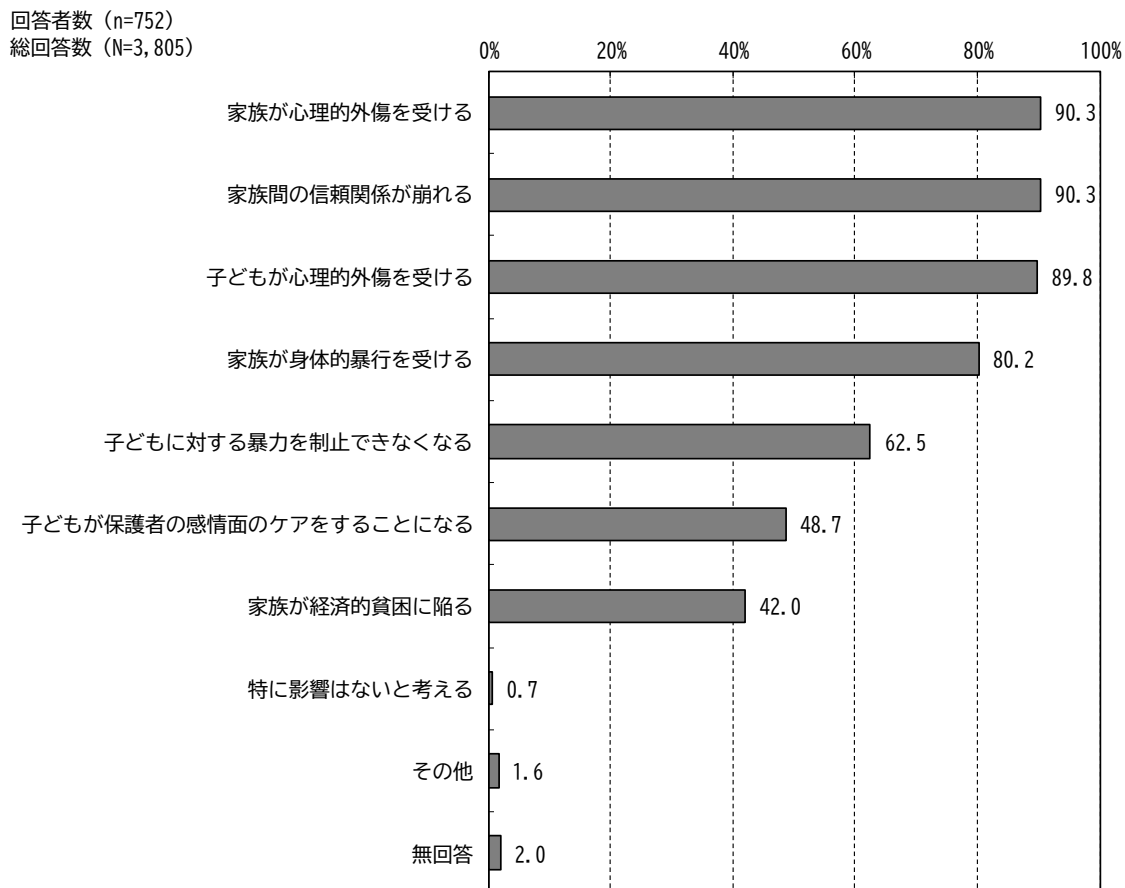


#### (4) 家族内に生じる影響

問17 DVによって家庭内に生じる影響はどのようなものがあると思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

全体(図4-1)でみると、「家族が心理的外傷を受ける」と「家族間の信頼関係が崩れる」が同率で90.3%と最も高く、次いで「子どもが心理的外傷を受ける」が89.8%となっている。

図4-1 家族内に生じる影響



○ 問17 その他（自由記載）の回答（14件）

No.	回答
1	家庭の幸せが全て無くなる
2	日本は罪が軽い 最低10年以上
3	子供が他人へ親と同じことをする
4	子どもの将来を可能性をつぶしてしまう
5	子どもが結婚したくなくなる（大人になって）
6	将来、子どもがPTSDを発症する
7	DVも児童虐待も影響をうけた子供の意思にかかわらず、少なからず連鎖する。
8	私達の年令的に余り関係がない
9	人間不信
10	アダルトチルドレン 成長発育障害 発達障害
11	家庭の基本的な温かさや楽しさ、父親の役割を理解できなくなる。生きていく事に希望が持てなくなる 思春期がひどくなったり、興味関心が家庭外（外へ）に向いてしまう。
12	子供の成長に大きな悪影響を与える
13	子供は自分がいけないのだとの自己肯定感が下がり、いつも親の顔を伺い続ける
14	家庭環境のストレスから、子どもが学校でいじめ・非行・不登校等の問題行動に走りやすい

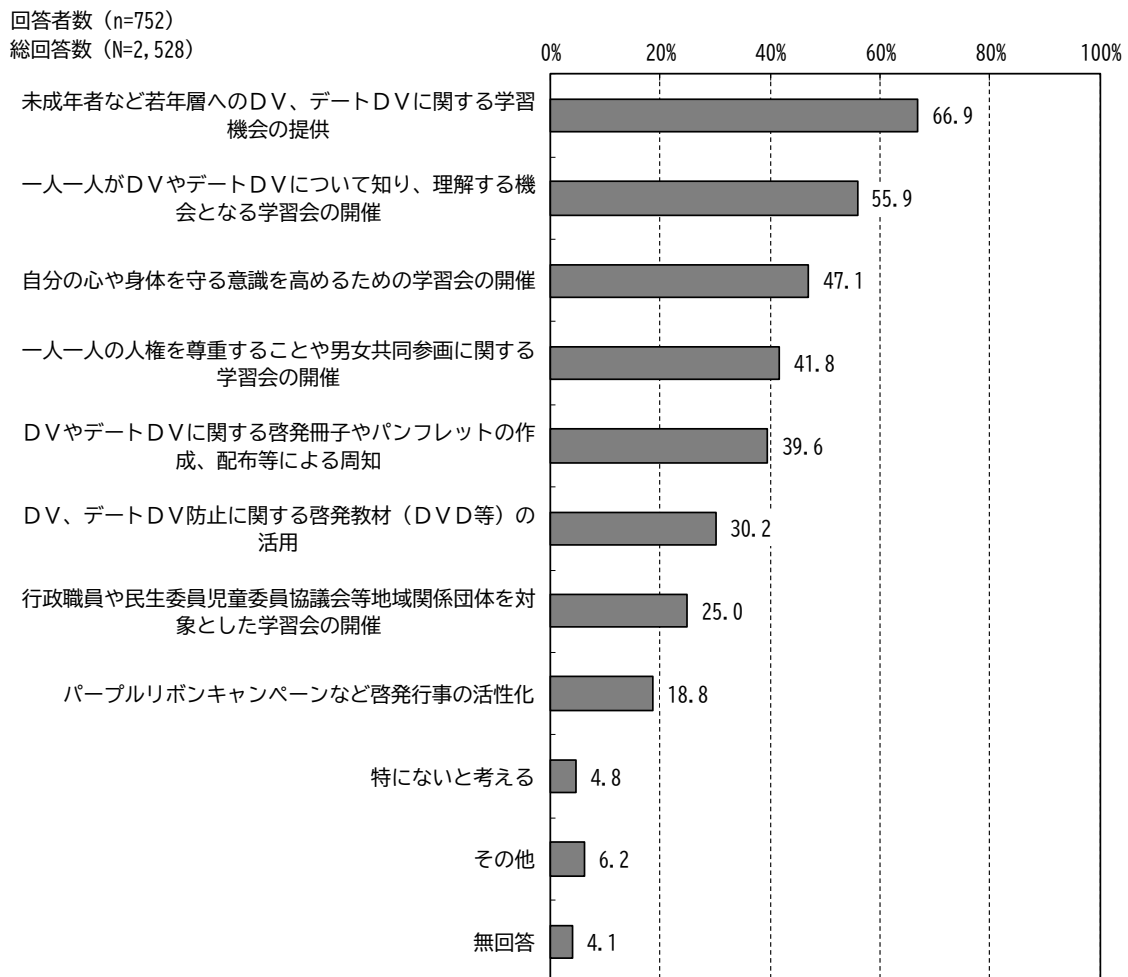
### 3. DVやデートDVに対する取組等について

#### (1) DV・デートDV未然防止に対する有効な取組

問18 DVやデートDVを生み出さない(未然防止)ために有効と思われる取組はどのようなものがあると思いますか。

全体(図1-1)で見ると、「未成年者など若年層へのDV、デートDVに関する学習機会の提供」が66.9%と最も高く、次いで「一人一人がDVやデートDVについて知り、理解する機会となる学習会の開催」が55.9%となっている。

図1-1 DV・デートDV防止に対する有効な取組



○ 問18 その他（自由記載）の回答（70件）

No.	回答
1	学習会やパンフレットは興味のある人しか参加しない・手に取らないため、加害者となる可能生のある人への影響はあまりないと思う。成人するまでの学校教育において全体的に教育するのが比較的効果があるのではないかな。
2	大人がストレスのない豊かなゆとりのある生活が出来る世の中にする事
3	している人は過去されている人が多いと聞く、そのループを切る為の声かけ、具体的には？ですが人との出会いで変化する事もあると思う。人とのつながりが大事だと思ってしまう。
4	問の1～8全て知った。DV知らない人よりDV当人の解決が先だと思う
5	道徳教育の時間を増やす事。(義務教育)
6	低年齢時から、ていねいに道徳感を養うこと。大切な幼児教育を置き去りにしてきたツケがまわって来ています。
7	学習会等を行っても、あまりききめはないと思う
8	学習会のあり方を考えて、気軽に認知する方法をとらないと参加者は少ないと思う
9	形式的、行事的なものでは無理やと思う。生み出されるのは、それをDVとっていないから、その意識はパターンのにはなくせない。
10	罰を重くする！
11	幼年期における暴力行為、暴力描写からの隔離、暴力排除の教育。
12	20代(30代)以下の人でないと、価値感などの変革を伴うような学習は期待できないので、高齢者(40代以上)に対しては、かなりShockingな体験を伴わない形では、学習会はコスパで見合わない。
13	そもそもDVをする人が学習会に参加するでしょうか？
14	家庭が穏やかである事、機関よりも、少しでも、平和に暮せる、仕組みを。
15	TV、ネットでの啓発広告/特集番組
16	子供の時から家庭や学校で人の嫌がることをしない、他者を大事にする気持ちを養うこと。罪に問う厳罰化
17	厳罰化
18	具体的に個人が相談できる窓口を作る。
19	やさしい社会
20	親、保護者への啓発授業に取り入れる 女性学や優れたカウンセラーを招いての学習会
21	小中高校等での学習の機会を増やす
22	厳罰化
23	添加物や砂糖の摂りすぎを防ぎ、栄養内容を改善する。
24	DV犯罪の厳罰化、実例のメディア報道
25	学校教育の徹底！！
26	メディアで頻繁に取り上げる、Webで相談方法を周知する、など
27	学校教育の場で話題にすることにより全てのDV(いじめも含めて)が少なくなるのでは
28	貧困をなくす、人権権利を確立する
29	学習会の開催する取組があったとしてもそれがあつてをしんとうさせないと意味がない
30	児童相談所の人員を増やし、スキルを高める方策をとる。
31	DVやデートDVが生まれる原因をほり下げる研究とその結果を活かすこと
32	そもそも研修会に参画しない。高校で授業にする事。
33	テレビ放送での学習を増やすこと
34	テレビなどを通じた啓発



35	私達に関係ないので考えたことがない
36	自分で●●DVが犯罪であると認識させる
37	Youtube 等人の目につくものへの広告活動。事例案●ドラマなど
38	テレビ、ネットも利用すべき
39	罪を重くする。
40	DV・デートDVを受ける人、する人が、学習会に参加するだろうか、他に手はないか
41	上記は自らの参加型で任意の為、学校などの授業など強制的な指導に取り入れるべきだと考えます。
42	相談場所が沢山あるということを多くの人に知ってもらう
43	TV、SNS、動画サイトなどでのわかりやすい広報
44	現在、学校ではかつて実施していた性教育を系統だって教えておらず男女の性の在り方についての知識が正しく子ども達に伝えられていない。教育の中の性教育を根本的に考えなおす必要がある。
45	厳罰化
46	小学校からの授業の一部(道徳など?)の中は知識として取り入れるべき。DVに家庭内イジメ! 小さい頃から、なぜDVをしてしまうのか&DVを受け取ってしまうのかなど考える練習をさせた方が良いと思う。
47	厳しい罰則を作り、広く知らせる
48	メディア活用
49	加害者への教育の機会を作ること
50	身近に相談できる機関を増やす
51	私自身、経験ないので、良策はわからないが、現実的にその状況を脱した経験者を多めに会議等に参加していただき生の声を生かした方が「有識者」の面々よりは血の通った方法が見つかるのではないのでしょうか。
52	わからない
53	金銭的、時間的心のよゆう
54	学習の問題では無い気がします。ストレスによりDVに発展していると思うので未然防止には、メンタルケアが有効のように思います。
55	本人が気付かないかぎりムリ
56	人権を含む 性教育(学校など機会をもうける)
57	高校生などの授業で学べる機会を提供し、知識を備えておく
58	未然に防ぐのは厳しい。ダメなことは分かっている上での行為。ただ、どう言う行動が該当するのかを周知することは重要
59	相談窓口の周知
60	わからない
61	地域や教育現場と社会生活、医療機関が連携を取れる環境を作る
62	dv 加害者更生プログラムの実施
63	加害者側の治療機関の整備
64	若い人には SNS の活用が有効だと思う。
65	義務教育の中学校で相談できる機関の説明や必要な証拠の取り方などを教えておくべき。社会人になってわざわざ学習会に行く人間なんて既に被害者の人が多いはずなので未然防止につながらない気がします。
66	企業との連携(企業内での研修など)
67	諸学校での教育課程への組み込み
68	地道に啓発するしかない。子供の頃の教育は大切。

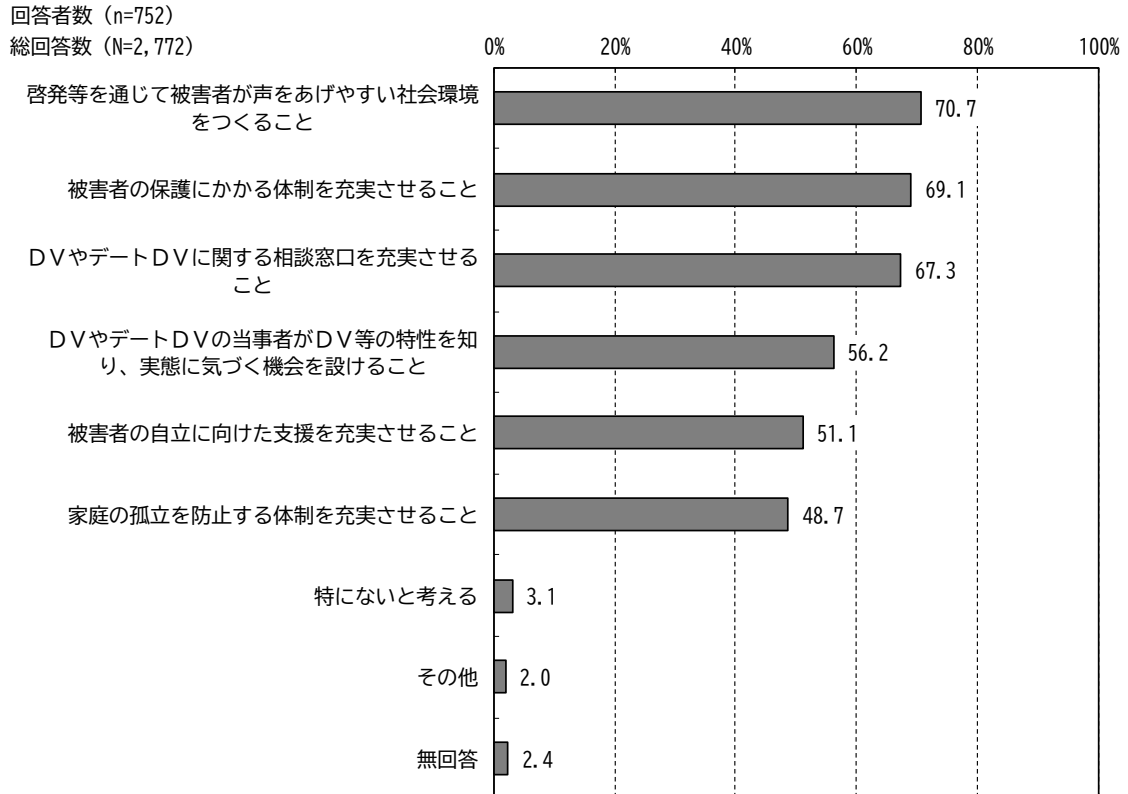
69	加害者の刑罰強化
70	マスコミ等による周知

(2) DV・デートDV支援に対する有効な取組

問19 DV・デートDVの防止や被害者の保護、家庭への支援をするために有効と思われる取組はどのようなものがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

全体(図2-1)で見ると、「啓発等を通じて被害者が声をあげやすい社会環境をつくること」が70.7%と最も高く、次いで「被害者の保護にかかる体制を充実させること」が69.1%となっている。

図2-1 DV・デートDV支援に対する有効な取組



○ 問19 その他（自由記載）の回答（25件）

No.	回答
1	子供を保護する機関を充実させる
2	問18に書いてしまった。関わる人の数を増やす、担当の人がみれる数に限界があると思う
3	DV被害者が自分から声を上げるのは難しいので、こちら側が介入できるようにする
4	やさしい社会
5	加害者への教育プログラムの実施
6	加害者へのかわり（カウンセリングなど）
7	加害者から確実に慰謝料を取る、高引や税金の様に自動的に支払う様にする
8	当事者を刺激しないで相談意識を高める方策が出来たら？
9	罰則強化
10	相談窓口の周知
11	相談窓口の充実
12	取組を充実させてもそのしきみがあることをしてもらうにはどうしたらいいかも考える必要がある
13	児相を活性化される。
14	経済的な環境が大きいので、むつかしいと思う。
15	向う3軒両隣の親交を深める地方自治強化
16	行政の対応を●がなものにする。心の中に●●●●●●精神を育てる
17	お金がないと心に余裕をもつことができないため経済的に余裕がもてるように支援する。
18	加害者への教育の機会を作ること
19	正直、今更アンケート！と感じます。頑張ってください！！効果があると思われる事をどんどんやって下さい。
20	2. も大事だと思うが周りの人が声をあげやすい環境が大事
21	貧困をなくす！
22	加害者の人格ケア
23	18歳未満であれば、児相の介入 職権保護のうえ教育機会の提供。
24	そもそも相談窓口がどこかわからないことが多いと思うので、専用のサイトや掲示物があると思う。
25	被害者側からの観点で語られがちだが、加害者側に問題がある事の方が多いのだから（ストーカー問題も含め）もっと視野を広くして取り組んでもらいたい

### (3) DV・デートDVに関する意見

問20 DV・デートDVに関して自由に記入してください。(記入は任意です。)

No.	ご意見
1	できるだけ被害がひどくならないうちに被害者を保護することはとても重要なことです。被害にあわれた方が前向きに社会生活を営めるようにそのケアも大切です。それだけでなく、DV加害者について何故このような行動をするのか、その原因も多角的に見ることも必要ではないか、例えば配偶者間の関係は複雑で加害者と思われる方が被害者であったりすることもあり、人と人との関わりがうまくできないことが引きがねになったりする。被害者を守るということと、加害者を少しでも生み出さないという教育も大切です。
2	加害者となる主たる要因がその人の人間性になあるとすれば、大人の性格を変えるのが難しいように、DVの未然防止は困難と思われます。地方自治体は、強制力をもって問題に対処することができない以上は、被害者の保護や支援に重点的に取り組むのがよいのではないのでしょうか。
3	性的欲求のある人は、お金を出してそういう所へ行けばいいのに！社会に出ると怒られたりストレスの発散としてDVが起こるのではないかと？1人1人が生きている事に感謝して、ゆとりのある生活が出来る様に！皆が少しずつ相手の身になって暮らして行かなければ～
4	自分がDVを受けていると分かること 相談する窓口があると知っていること 相談した後にどうなるかが分かること を、広報・周知することだと思います。
5	配偶者から、馬鹿にする言葉が多かったが、はっきり、「そういう言い方は、嫌だ」と言い続けたら、今では、ほとんどなくなりました。
6	当事者は自分の身に起きていることがDVかどうか分からない場合も多いと思います。(年齢が若ければ若いほど)DVとはどういうものかを理解したり目にする機会が増えるとよいと考えます。また、気軽に相談できるところがたくさんある、という認識の周知も大切だと思います。
7	児童虐待にもつながると思う。悲しいです。
8	問18で書きましたが問19が必要だと思う 一番大変なのは当人達だと思います。当人達が普通の生活に戻れるように助けてあげて下さい
9	特にはないです。
10	教育者やスポーツクラブにはまだ老がいがある。
11	この様な問題を表面的なモグラたたきではなく、なぜ起きているのかも同時に対応しないと、なくなりません。その他の多くの課題が、その場しのぎで、根本対策が出来ていない様に感じます。もう一度、「ダメはダメ」と、はっきり言える世の中にしないと、八方美人的な平和主義のなれの果てだと感じています。加害者の人権より、死んだ方の人権が大切だと思っています。個人の人権(生きる権利)を守ってもらえず無念の死を遂げた方より、能々と生きている犯罪人が居る限り、犯罪は無くなりません。DVを受けている人が苦しみ、加害者が能々と生きている、加害者に厳罰を加えない限り、無くなりません。勝手な加害者一人のために、多勢のまじめな人達の手をわずらわす、バカげた社会です。
12	町内で見守る支援体制を作る
13	DV・デートDVは被害者に心と体の傷を負わすものです。それらのDVを無くし、その上、被害者と共にDVを無くしていく活動が必要不可欠だと考えられます。
14	DV加害者は自分の周囲の環境に抑圧された感情があるのだろうと思う。心の弱いものがより都合よく弱いものへと向けられる暴力等の発散なのか。それにしてもよくもまあ自分勝手な行動である。DV加害者もある程度、カウンセリングや医療が必要かも知れない。

15	道徳教育も必要かと思う
16	TVやネット、SNSなどで啓発等を市が積極的にやるべき、特に被害者側が声をあげやすい環境と支援するべき
17	D、Vを受けてる本人が、考える事、又、行動を興すことが出来なければ●●●言っても何をしてあげても、無駄と思われる。
18	・もう少しデートDVに関して、くわしく知りたい（パンフレット他） ・●●●●、後の心のケアを、しっかりとサポートしてあげたい ・CMでももっと流すべき。
19	他人事になり易い事案である。コロナ禍で表面化しない傾向にあると思う。安心して生活できる環境が構築できることを願う。
20	最近では子供の虐待が多く、命を落としている場合が目につきますが昔と比べ、近所づきあいがなく、隣の様子もわからず、手をさしのべられず、防げないようになっている気がします 子供が犠牲にならないようにしてあげたいと思う。行政も後手に回ったり、連携がとれてなかったりで、未然に防げることもできない、もっと経費や人を投入して対策をとる必要があると思います
21	微妙な差異、そこに感じる微かな違和感の総体として、DVやいじめが「許せない」となり、その人なりの「正義」となる。客観性に欠ける正義は暴走する。ただ、全体を俯瞰しながら一方にのみ片寄らないよう心がけていきたい。
22	まず相談をする警察に
23	・どの年齢でもDVはだれにでも起こりうる問題だと思います。そのコトの認知やどういったコトがDVに当たるのか幅広くみんなが知り相談できる場所の充実が必要と思う。DVを受けた人がその子供へと連鎖していかない体制作り、支援が大切と思う。
24	問15は、昭和の子育てとしては、自身経験しました。そのような教育及びしつけ、育てられ方をしました。現在では、これが児童虐待にあたるとするならば、子供にとっては、心身良好に育つ環境が確立されると思いますので、社会が問15のような事柄のない世の中になってくれれば、その風潮が高まればと思います。
25	DV加害者の心境は、理解できません。加害者側の治療、相談窓口も、必要かなと思います。
26	これらの問題に取り組む官庁、相談窓口等が、会議や関係者での議論に時間を取るよりも、「行動第一」を最重視する。
27	メディア等により、多くの方に知ってもらう。又、相談しやすい所の電話等を周知してほしい
28	当事者からは話しづらい事が多いと思われる。少しでも周りで怪しいと思われる時、行政の一定の介入が必要では？子供の場合家庭訪問、面談必須 逃げこめる場所の提示（もっと知ってもらう） 電話するより、まず、来てもらう方が早く対処できると思います。必ず守ってくれるという確信がないと行動しにくいのではないのでしょうか。
29	被害者が第三者に相談することで更に被害が大きくなるという恐怖や、逃げた後の収入や生活の軸を安心できる明確にすることこそ被害者を救う要素と思う
30	自分にはあまり関わる機会のないものという認識ですが、子育てをしている立場として、人を大切にすること、自分を大切にすることはあたりまえのこととして考えられるように自分の子どもにはなってほしいです。それが結局暴力をへらすいちばんの方法だと思っています。
31	DVに関しては当事者が被害意識が低い気がする。地域での見守りも大切だけど、“されてはいけないことをされている”“おかしい”と感じて逃げていいんだ 助けを求めていいだと自分を大切に考えて欲しいと思う。後で泣いてあやまれようが、暴力はふるった側が一番悪い
32	DV及び児童虐待は、心に深いキズを残してしまう。一度心にキズをおってしまうと、立ち直るのに時間がかかり、本人も大きな努力が必要となると思う。社会からDVがなくなる努力をおしまない様にしていきたい。微力ながら…。

33	幸い、私自身も含め私の身近にはナイので良く分からないが何故DVの被害者はその現状を打破しようとしな か…色々な救済制度が有ることを知らないケースもあるだろうが根底にマインドコントロールと云うか洗脳され てしまっているのではないかと考えています。自発的に求める救済措置もさることながら「回りの人が動く」大切 さをもっとアピールすべきではないでしょうか。
34	親から子へ代々うけつがれていくものだと思っている。「いじめ」も「DV」も同じ。根本的な原因を対処しない と解決しないと思う。いじめもDVも加害者のメンタル治療が必要ではないでしょうか。
35	被害者の保護も重要だが、加害者にならないための教育も大切だと思う。
36	おかげさまで自分は現在まで体験する事なく回りにもいませんでしたが今後子ども達がまきこまれないよう被害 を被ることのないよう祈るばかりです 万が一の場合手をさしのべてくださる場所が多ければ多い程良いと思 います
37	自分は、DVなど受けずに今まではこれでしたが、先はわからないです人ごととは思わず考えていくことが 大切だと思いました。このようにアンケートを書くことによって、考えるきっかけになりました。私は大津に住ん で数年ですが、近所つきあいなど少ないところだなど、感じています。今時は全国的かと思いますが、まわりから では気がつきにくいかもしれないと思いました。
38	意識しない行為が相手を傷つけた場合、DVと云えるのか？
39	これを行う当事者は相手の気持ちを理解できない人だと思います。今さら“あなたは今DVをしていますよ止めて 下さい”“相手が嫌がっているでしょ”と伝えても悪意を感じていなければ防ぐことは不可能です 第三者が無理 矢理引き離すしかダメでしょう
40	DV加害者への刑罰をもっともっと重くして欲しいです。
41	新聞・TV等のニュースで話題になっていますが大変こわいことで一件でも減らすことはむずかしいことと思 います 早い目に芽をつむことが大事かと思ひます より良い対策よろしくお願ひします 御苦勞様です
42	その原因となることをどう無くしていくのか、長い取り組みが必要ですね。
43	みじかにDV・デートDVを感じたこともなく認識不足のこともあります
44	・特になし。
45	DVを受けている人が気楽に行ける場があればいいと思います。
46	特にDVを受けている女性（老・若問わず）に対し、とにかくどこに助けを求めたら（かけ込んだら）よいか、わ かりやすく、実際に助けを求められる具体的な場所を広く衆知することが必要です。
47	AVを規制する
48	時代が変わると良い方向に向くと思います。
49	DVの被害者は、DVを行う人に対して「暴力をふるう」といった事を過小評価し、「時折見せてくれる優しさ」 を過大評価するという寛大効果があるので、中々自ら、他者に相談や援助を求めるといった事は難しいと思った。 だから、周りにいる人が異変に気づき、相談にのったり、警察などに通告してあげる事が大切であると思う
50	・今までデートDVは知りませんでした。この機会にPCで内容を知ることができました。
51	この調査でDV・デートDVの違いが少しわかりました。又今後はもっと広報誌や本等を読み勉強をして少しでも 被害にあわれた人達に気持ちをもっていきたいと思います。
52	この問題はいつの世も変わる事なくあると思われます。規則正しく理解し人に思いやる事の出来る人が多くなっ てほしいです。
53	国民全てが学ぶこと！他人ごとでなく、自分ごととして人の傷みをとらえようと努めること、そのような具体的 取り組みを

54	私は1度目の結婚のとき、DVを受けていました。命の危険を感じて逃げるように離婚しました。1度だけ、警察のかたが家に来られたことがあります。おそらく近所のかたが通報されたのだと思います。「助けて下さい」の一言が言えませんでした（家に夫がいました）。警察のかたは、家族構成と勤務先だけきいて帰られました。あの時、もう少し勇気を出していれば、又、警察のかたがもっと詳しく話をきいていただければ、と後悔しています。
55	DVにあった事がないのでよく判りません。各自の意識の問題と思われませんが、少しでも少なくなる事を望みます。
56	特に苦しんでいる子供への支援が喫緊の課題と考えます。
57	いつ自分が加害者や被害者になるかわかりませんが、DVやデートDVを知る事で意識を高めるきっかけになりました。問7で知り合いで被害にあった人がいるに○をしましたが、身近に●●●だと改めて感じました。
58	道徳学習の充実
59	地域のつながりが薄れる中、周囲が気づく体制づくり。声をあげやすい環境が必要だと思います。
60	DVに関係する行政機関職員の自覚の向上が必要で、特に不作為による当該職員の法的責任を明確にする必要がある。
61	パンフレット等をいくら作ったりしても手に取って見ることはないし理解しにくい。特に児童虐待について学校で教育し、声を上げやすい環境を整えるべき。被害者は大人も小人も自分さえ我慢すれば…という考えになりがちで被害が重症化する。助けてくれる場所があるんだということをもっと知らせるべき。パンフレットを役所に置いていだけでやってるつもりか！！
62	DVは子供への影響が強い。暴力を見て育つと何でも暴力で解決しようとする人格になりやすく、暴言を聞いて育つと自己肯定感が低くなりやすいと自分の経験として思う。そしてそれは人格として刻まれ表面的には見えなくても一生消える事はない。歪んだ人間がこれ以上増えない様に優しい世界であって欲しい。DVが原因で離婚した加害者側には再婚時、新しいパートナーに過去の出来事を開示して欲しい（婚届提出時に）。DVは再犯率が高いので。
63	自分がDVを受けている認識がなかったので、相談して初めて自覚しました。でも、加害者側に立つ人から更に追いつめられるようなことを言われ、訴えることで更にしんどくなります。そういった部分への支援を手厚くしていただけたらと思います。
64	私は被害に合った事はありませんが、もし、友人や知人が合っていたとしたら、勇気を持ち保護してもらえる窓口をさがし、一緒に戦ってあげたいです。又、もし、してしまっている方なら、間違いに気づかせてあげたいと思います。
65	暴力のない世の中をつくる為の●策と思います。幼児期から遅くとも小学校低学年から、力が強い者が弱い者に暴力を振れば罪となる国であると伝えるだけで、きっと良い国になると思います。弱い者が声をあげてよい、とわかるだけでよくなると思います。
66	人を思いやる心を育てる事
67	妻と口論するとあなたの言っていることは「DV」だとよく言われる。(テレビ、等の影響?)
68	当事者が自分の置かれている環境の認識が出来ていない 時間が長く続いていると思われるので、回りにいる人達も気付かないのでは? TV等にて気付かせる目的で、認識させることを目的とした映像を流せることが出来たら良いのでは?



69	私は25才で結婚 話長くなりますが2人女の子を生み上が3才1才ぐらいにアパートで4人生活始めて半年余り、その間に私主人にDV受けました。最後は、主人が離婚用紙を持ってきて名前と印鑑をおさせられ、市役所に提出して実家に子供2人と私を車で送り届けられました。その後私は6年後再婚、その前後ぐらい前夫から(合っていないし、しゃべりもしてません) 仕事先や家の回りうろついたり…そして職場から今の主人と話しされてそれからは何も無かったです。しかし40年近く私の居場所や職場に前夫が来るのではと不安で頭から不安がはなれた事ありません。しかし今の主人が大病してから過去を忘れるようになりました。私も73才です。過去を忘れられて84才になる今の主人をささえて、明るくたまに娘や孫と会って楽しく過ごせられたらと願っています。
70	基本的道徳の教育
71	学校や社会で身近にDV等についての敷居の低い相談窓口の充実を望みます。
72	このような事が起こるのは、根本的な問題(貧困等)が解決されていない事が多いのでは?ゆとりある暮らしがあれば減っていくように感じるのですが…
73	夫婦間、家庭内、恋人同志など他人に知られたくない部分であり問題解決がむずかしいと思う。
74	家庭・個人間の問題に●●●しない。弱者を切り捨てない優しい社会をつくる
75	・DV等を感じたら見て見ぬふりをしないで勇気を持って相談する。 ・行政がしっかりフォローする、アンケートだけで終らせない。
76	DVの被害者は、一度や二度では相談しない事が多く警察への相談は、かなり深刻な状況になった時の事が多い。近隣住民が申告できる受皿が必要なのではないでしょうか
77	設問の3、4に答えた様に無知で有り、設問及び例等で少し内容を知った次第で有り答えられず責任を感じております。
78	被害者への保護は絶対に大事だとは思いますが加害者側への対処をもっと考えてもらいたい 加害者は自分のしていることがDVだとわかっていない
79	子どもの不登校が原因で夫婦間のいさかが増えて身体的にたたいたりするようになった話を聞きました。家庭内の元々の問題について相談できる窓口が充実すればDVも減ると思います
80	DV・デートDVの根本的原因は、現代の過重な、自己中心的な行動、発言から由来している気がします。もう少し各個人が相手への思いやりや互助精神を重視すれば解決する気がします。自分の欲望や権利を主張するのであれば、それ以上に相手や周囲の方々のそれを尊重し、大切にしないといけないという基本が忘れ去られているだけではないでしょうか。自分がやられたら嫌なことは他人にしないという簡単なことなのに…。
81	・外部からだ被害を受けている実態が発見しづらいと思います。DVを受けている本人達が強くなるとなくなるとおもいます。そのためには弱い立ち場の人が、自立できたり、強くなれる社会を作らなければならないと感じます。
82	加害者に重い刑罰をつけ、DVをしないよう抑止力を高めてほしい。
83	・就職先を含めた職場での啓蒙活動も大切かと考える。・市民への啓蒙は特別な冊子(さっし)を配布することも1つの手段と考える。
84	一番気付かれにくいのが家族間のDVだと思う 言葉の暴力は周囲にいる人間にも多大な影響を与えていると思う 特に子どもには気を付けていかないといけないと思う 心に傷が残るから 市役所にも誰でも相談しやすい窓口がもっとたくさんあればいいと思う
85	学生の時(中学~大学のどれか)に、DVについてのビデオを見ました。被害者は様々な事情から、中々周りに相談せず、限界に近い状態まで我慢した後、相談に行き、誰にもバレない場所(シェルター?)で一定期間、保護してもらったビデオでした。そのビデオを通して、保護場所があることや、被害者がたくさんいることを初めて知り、またその衝撃忘れられません(今でも)。すでにされてるかもしれませんが、学生時代に学習機会を設けると良いと私は思います。

86	児童相談所の人員を拡充し、児相をさらに活性化させる事が必要と思います。職員のスキルアップさせる学習の場を充実させる事が必要。そうでないと児童相談所の職員が心身症になり、円滑に動きが不可能になります。
87	被害が拡大する前にもっと警察等が介入すべきである。
88	当事者の考える間ができるようにする
89	DVは、テレビ等で知る事はあるが、身近では見たことがない 又、ネットニュースでも多くの事件が話されている 基本的には子供を育てる時に教えていない。あるいは機会がない等の理由が考えられる。親が受けていた場合が多くあるように思える。一人一人が自分の事だと思ってもう一度考え直す事が必要である。
90	亡夫（昭和一桁生れ）からは身体的暴力は受けたことはありませんが日常、高圧的な態度で接せられた。同じ大卒の学歴でありながら生れながら男が上、家計の柱であるからの家父長的すりこみからすべて高圧的であった。私（昭和二桁生）は夫婦男女平等、共働、協力すべきものと思っていたから「自分は尽くされるべきもの」と思っている夫によく「お互い●でしょう」と云っていたものです。
91	このようなアンケートを送付することで助けを求めるきっかけになると思います。DV加害者の意識を変えるのは難しいので逃げられる体制を充実させて助けてあげてほしいです。
92	・本人（加害者）がDVとは思わないまま、ふだん通りに生活し、接しているのが、被害者にとっては1番やるせない。本人に自覚を持たせるにはどうすればいいか？
93	自分がDVしていることに気付いていない人も多い。また、受けていることをわかっていない人も多し。DV（モラハラ、パワハラ、マタハラなど細かい言葉の違いはあるが）は、小さい時から①人のいやがることはしない②人はみな唯一無二の存在③いやなこと困ったことがあったら身近な人や、相談窓口で相談して、決してひとりでおかえこまないこと…等を教え伝えていくことが大切だと思う。DVのみならず、自殺願望や経済的困窮、ヤングケアラー問題 etc 全て悩み事は相談できる人や場所、窓口があることと、そこが信頼できるのか、が大切。受ける側の学習会も必要。そして連携システムの構築（府県をこえての）、責任所在がどこにあるのか（かかわった機関の全責任であることの自覚が必須） 通報者の保護も。 課題は多いけれども行政のみならず皆さんの活動に期待しています。一市民としてできることがあれば。
94	DV、デートDVだけでなく、いじめ、セクハラ、パワハラ等各種ハラスメント等は、社会のありよう・価値観の影響を大きく受けて生まれるものだと思います。それらが生まれる原因について深くほり下げる研究が活発化することを願っています。
95	家族間の人間関係を重点的に大事にする。教育を与える。
96	他の家庭の内情が解らず、DVかどうかの判断が難しい。昔のように隣近所との関係が親しくない。
97	高齢1人暮らしのため、あまり関係がなく、新聞等で見るだけにすぎない。
98	DV等の原因は千差万別なので、対策は非常にむづかしいと思う。新聞等でのニュースから考えると、生活環境が異状である。「さもあらなん」と思うことがほとんどある。起るべくして発生している。
99	自分自身にも身近でもDVなどなく生活していたのでもしこれからそのような事があつたら相談窓口を充実させてほしいと思った しかしDVかDVではないか見極めもむづかしいと思った
100	相談窓口を作ってもあくまでも相談で終わっているので意味がまったくないと思います。相談を受けたならば他とその事について共有して色々な機関と連携して動くべきだと思う。相談で終るのは意味がない あとのフォローをしっかりとってほしい 相談だけであと、なんの連絡しない
101	DV受けた事が無いのでよく分からない。
102	“これはDVなのか自分の被害妄想なのか”と判断できない人達が一番多いのではないかと思います。それが区別しやすいようなポスターなどで安心して相談できると良いと思います。

103	個人情報の守備。相談機関は沢山あってもきわめてナイーブな問題のため事後的な対応やたらい回しにすることになると、もっと心理面で困惑すると思います。相談機関をまとめて質の良いカウンセリングと対応出来る場所が必要。
104	被害者が声をあげたら責任を持って対応してあげて欲しい “こんななってるとは思いませんでした” は論外！！
105	加害者の精神的ケア、カウンセリングも大切だと思います
106	戦後日本の世相は、テレビの娯楽放送で、人間の互助精神、家族構成を崩壊させた。未来づくりは娯楽・スポーツ主義を排し、親・子・孫同居の家族構成を柱に幼い時から家の手伝い教え共に汗を流し家族全員で喜び合う世相をつくり出すことが大切である 短期でDVは解決は無理と考える
107	実際に暴力、暴言をふるっている人たちは、このようなアンケートには答えられないと思うのですが…
108	特にいままで家庭内においてありませんでした。
109	デートDVに関しては、DV被害者の別れたその後が気になる。ストーカーになりそう。
110	パープルリボンキャンペーンとは？
111	DVはダメ、ゼッタイ
112	高齢の老人です 設問について考えた事もないので不明です
113	加害者がどのような環境で、又どのような心理でDVをしてしまうのか、歯止めがどうして効かないのか、それは何かの病気なのか、社会病理なのか、その辺りが詳しく理解しにくい。
114	①『核家族 (=Coa Family)』や「●せぎ家族」などの進展で、本来の家庭が持つ家庭内の教育力や許容力がもろくして低下をしているのではないのでしょうか。(モラルや世代をこえた家族内の伝承力や教育力などを含めて)。②昔は教育界で「貧困家庭」や「ヤングケアラー」等の概念や存在はありませんでした。個々人の中の「きずな」も希薄な今日ですし、もう一度社会や文化や各々の人達の心の豊かさやゆとりと、人を人として尊厳するための心のあり方に目を向けて欲しいと思います。③児童(子ども達)や老人福祉などは専門性と人材の固定(担当が異動したり、省エネをしない)が大切ですしDVの世界は専門性と人間理解と関係のネットワークの深化が大切な気がいたします。(拝)
115	・存在を知る機会を作る。解決・相談の手引きを示す。・地道に運動を推進するしかないかな？
116	罪を認識させる事が大事
117	DV等●●●●気がついていないケースもあると思います。LINEなど気軽に相談できる場があると良いですね
118	警察に相談したが個人情報もまれて当人が報復を受けるなど「あってはならないこと」まず無くしてほしい
119	見て見ぬふりが良くない。その時に110番でなく、DV、児童虐待専用のTEL 417よいなー 117いいな 194いくよ 411良いー
120	DV、デートDVに関して被害者が女性であるというイメージもありますが男性が被害を受けていて声をあげにくいという可能性もあります。男女共に声をあげやすい世の中になればいいなと思います。
121	・結局デートDVで何ですか？説明無いまま終わってますけど… ・又、近所の若い住人が汚い言葉で自分の子供？を叱っているのを見聞きする事がありますが、注意すれば自分達に被害が有るかも？分からない為、静観している自分も居ます。スママセン。
122	学習会等は必要だと思うが、参加するのは関心はあるが当事者ではない人が多いと思うので、関心を持っていなかった人に参加してもらう工夫は必要だと思います。
123	DVを受けている事を本人が認識できてないことが多くあると聞きます。中高生の人たちからの早い時期から、知識を与えることは大切だと思います。

124	十人十色で人間は一人一人違う。ひとつの社会ルールについても考え方・見方が違う。一方向への考え方をしてもらうのは不可能と思う。全ての人に不平、不満のない社会ができるだろうか？DVに限らず個人の不平、不満があるから何かしらの●●から暴力や犯罪が起こると思う。幼少期からの環境整備（社会、家庭）が必要でしょう。
125	・学習意欲の低い層に、どのように理解してもらうかが課題と考える。 ・難しい制度や広報は浸透しないと思われる。 ・何でも警察、刑事事件にする風潮（家族や夫婦の崩壊につながる。）はバランスを欠いており、民事で収めるそうだと窓口や、啓発が重要。 ・DVなど難しい舶来のカタカナ用語はやめるべき。理解しやすい日本語で！！
126	DVは表にあらわれないナイーブな問題なのでそこをどのように介入していくかが大事となると思います。親から子への影響が大きいと思うので、未来のためにも子どもが安全な環境で育ってほしいです。
127	DV・デートDVや児童虐待の被害者を助けるために、当事者が実態を気づくことが出来る学習の機会（学校など）や、相談機関を知ってもらう情報発信が必要だと思う。
128	生き辛く、自分への人権意識も希薄な現代の社会の状況が根本的にはDVを生みだしていると思うが、男女間の立場の差がもっと激しかった時代からDVはあったのだろうと思う。被害者が声をあげることで顕在化してきただけであると思う。だからこそ、すべての人の意識にあげて対策をとっていくべきだと思う。
129	家族内でのDVは、血がつながっている以上さげられないものだが、デートDVは、避けられるものであると思うので、必要のない人とは関わらない方が良いと思った。
130	ある年以上の人達はDVと言う認識が無い人が多いのではないかな。全ての人達に伝える方法が有ればいいのだが。
131	学習会も大事だとは思いますが、それでDVしなくなるような人はそもそもDVしないと思います。（問18）なくす、少なくする為には、罰則を大きくする、など
132	義務教育期間にDVについて学ぶ機会を作ると良いと思う。一般向けに学習の機会や啓発行事をしても、参加するのはDVに関心を持って取り組める人だけなので、あまり意味が無いと思う。
133	シェルター等、被害者を守ることがあっても、加害者をのばなしにし、被害者の生活環境の制限がひどく、それが逆にストレスとを感じる場面がおおく、社会復帰等日常的に生活にとけこみにくくなった（過去）国が守ってくれているのだから仕方ないと、うけとめることもあったが、なぜ加害者は、のうのうと普段とあまり変わらない生活をしているのだろうか…と、どっちが被害者か、わからなくなったことを経験し、へんな世の中だなと感じた。シェルター等、守もってくれるのは、ありがたいが、窓も全てフェンスで外も出られず、中でも名前も、みの上話しも禁止、日常的に全て制限されて、仕事や学校など、もつてのほか（出あるけない）、その上、加害者は注意・警告程度でふつうの生活。警察も、なかなかかけあってもらえず、とりあえず、シェルターへと言う感じ…。被害者を守るより、加害者にたいする、処罰をもっと厳しくするべき！！
134	自分は関係がないと見て見ぬフリをする人が多いと思うので、相談等がしやすくなる環境づくりが大事だと思う。
135	問題はいつも被害者に目が行きがちであるが、一番保護しなくてはいけないのは加害者の方なんだと思う。加害者が何らかで傷をもっているからおこることかと。被害者は加害者を助けてあげたいのだとしたら家族まるごと助けるしかない。無知が一番よくないから現実を知って各自がよく考えることが必要だと思う。
136	家庭内で何でも相談、話し合える、家庭にしておく事が大切と思う。
137	身内だからと軽く考えていたり、外には判りにくかったりでなかなか無くならないと思う。
138	主人からのDVであれば自分が主人に対してどこがたりないかと考えて第1番に主人につくす事を考えたほうが良いと思います。
139	男女間の性の乱れが離婚が多くなりそれによって子供がその犠牲になりやすい。生活水準の低さ 見て見ぬふりをしてしまう無責任さ 被害者も加害者もお互い相手かわるいときめつけてしまう。
140	私自身は、これまでDVは、ありませんでしたが知人は、他県から逃げて、滋賀にこられた方がおられました。生活もしていかなければいけないので大変だなあとと思います。

141	貧困をなくし、格差社会をなくすこと。人を大切にできる教育が大事だと思う。
142	加害者のケア。自分がやっている事が加害だと言う事を理解していない人が多い。自分がやったのは相手のせいだ、自分がやる相手を選べる事（自分より弱い立場の人）等、自分の非を認められない。加害者の意識を変える事、再び同じ事をやらない為のサポートが必要。
143	行政を頼りにしております ありがとうございます
144	ニュースなど見て感じることは、家庭教育が出来ていないのでは？と思っています。忙しい日々の中でも、食事しながらでも家族の会話が大切だと思います。何が正しいのか、間違っているのかを子供達が判断する環境（家庭）が必要だと思います。
145	最終的に色々な機関があるということは責任も分散されてしまう 警察も民事には動かない 線引きがむずかしくグレーゾーンが出来る 結果相談したくても出来ないままの人が生まれる 最終ここが責任もつてするんだ！！という機関をPRするのが先決事案
146	DVといっても様々なものがあり、家庭内の事は見えてこないし、人に言いにくい事が多く、どうしても我慢して過ごしている人も多いと思います。子どもがいて、配偶者の社会的立場等もあった場合、解決の糸口が見つからない事がありそうです。職場の姿と家庭の姿が大きく違っていた場合も、誰が何を信じて助けてくれるか分からないし、伝えきれない事の方が多い気がします。夫婦間の歪みは子どもにも大きく影響するので、子どもと自分の生活を考えると思いきりがつきにくいと思います。社会的地位があったり、外面が少し良かったり挫折を経験してきていない人が仕事で思っている様にいなくなった時、そのストレスが家庭や自分より弱者に向いてしまうのかと…DV等も急に大人になってそうだった訳ではないので幼少期の家庭環境や発達の遅れや特性等、性格（持って生まれた）的な事も大きく関わっていると思われるので家庭や園でのサポートや、人として一番大切な部分をしっかり教えてあげる、勉強よりも基本的な事が分かっていないまま大人になってしまった時、自力で判断して進んでいける人も居るが、そうでない人の方が多いと思うので、お金をかけて賢い子を社会へ出すのではなく思いやりのある自分も人も大切に出来る、色々な人と繋がりを持つ力を育てる教育が重要だと感じています。
147	日本人が言葉の説明を受けなくてもわかる 日本語、漢字、ひらがな、カタカナを使う事も大事なのではないかと日頃思います 頭文字云々、カタカナ英語とかを使用するのは視覚には訴える力が半減する気がします
148	大変むづかしい問題、課題だと思います。表に出にくい家庭の中でおこることなので、是非被害者が1人でも減る様に市が取組が具体的に実現します様に宜しく願い申し上げます。期待しています！！
149	被害者への支援・ケアに目が行きがちですが、加害者にもケアが必要なことも考えられると思いますので（虐待の連鎖など）耳を傾けたいと思う。私は保育士として放課後デーに勤務していましたので特に児童虐待については、ネグレクトや義父からの性的虐待を受けた子どもを見て来ました。子ども達自身が自分を大切にできるような教育者が周りの大人が導いてあげたい。
150	DVは被害者だけをケアしてもなくならない。加害者も救わなければならない対象だと思う。加害者の立ち直りを助けるしくみ作りも考えていかなくてはいけない。
151	相談したことが加害者に知られることで更にDVが悪化する可能性がある。上記のような懸念がある方はなかなか相談もできないと思います。難しいとは思いますが、相談した方を即時保護できる環境が必要だと思います。
152	相談機関の1から7までを知りませんでした。デートDVという言葉を知りませんでした。
153	もっと意識を高めるために普段の生活の中でもDV問題が目に入ってくるような取り組みをしていただき、一人一人が真剣に考える機会をどんどん作っていただきたいです。
154	おつかれさまです。
155	問15、17、18、19は、個々人よっては答えが変わってくるが、私は、基本的には全てがあてはまると、思われます

156	DV加害者のケアがメディアで取り上げられるが、二次被害が出る（セカンドレイプ的な）のでやめてほしい、不快です。被害者への支援を充実させて、DVは犯罪であると啓発してほしいです。（面前DVが虐待であることも）
157	・加害者、被害者が声を上げることは難しい。世間ではDVに関して分っているつもりでもあっても人事のように思われがち、皆が真剣に取り組む体制は急務である。加害者に対しては学校教育で取り組んでもらい罪の意識を持ってもらうことと被害者の気持ちを汲んでもらいたい ・特に女性は、身の安全を考え、世間体など配慮しつつ、身近な相談場所を設けて、周知するようにしてほしい ・女性（男性）の体を知る、学習の機会を是非、学校教育で設けてほしい ・性教育の充実を小学生からはかってほしい（日本は遅れている）
158	家族も言った。私もそう思う。世間体があるので、相談に行きにくい（物を壊されたり、捨てられたり）
159	昭和生まれですので今程DVの事を悪いとは思っていませんでした！！ 特に子供には、教育のつもりで叩いたりしました。子供や孫に大人達がどう接していったら良いか？を色々な形で教えて欲しいです！！
160	道徳教育の強力他
161	・自分の近辺に該当ある家庭等（自分の家族も含む）心あたりがない ・テレビのニュースで聞く（見る）ことがあり昔から多くなっていると感じる。
162	このようなアンケートを増やしていくべき。
163	報道等で種々DVなどの情報を聞くにつれて、実際にあるのだと思うだけで、身近にそのようなことがないので、中々実感できない。今後は周囲にそのようなことが無いのかも心がけたい。
164	日本は昔からDVに限らず男性上位の風習が生活に根強く有り男尊女卑の考え方がこういったDVに影響を及ぼす原因になっているのでは無いかと考えます。今の世代の人達は自己中心な考え方を持っている人は相手の事を考えるゆとりが無く自分中心の要求を満たす事しか考えられないのでこういったデートDVなる表現の言葉が出て来るのではないのでしょうか。男尊女卑から形が崩れてこの様な形態になっているのではと思います。私自身も主人が男尊女卑の考えで有る意味常に心の葛藤をして来ました。今は主人から開放されてやっと自分らしい生活を持てる様になりました。
165	嫁ぎ先で娘がDVにあったとき、最寄りの警察署が親身になって相談に乗ってくれた。黙って家を出るとき、男性警察官と女性警察官が立ち会ってくれ、親として安心して娘の新しい門出を見守れた。当該警察官と警察署の対応に感謝している。
166	アンケートには賛成です。送る時の封筒には配慮が必要かもしれません。被害にあっている対象の家だった場合表封筒のDV表記に反応する加害者がいるかもしれません。中身や、返信封筒はやむを得ないと思います。
167	DV・デートDVは被害者及びその周りの人間に心理的外傷を与え、今後生きていく上でかなり苦しい思いをすることになると思う。特に、まだ学校に通っているような子供は人格形成に影響を及ぼしたり、人間を恐怖の対象として認識してコミュニケーション能力が著しく低下する可能性がある。そのため、被害者及びその周囲のメンタルケアを重点的に行い、加害者にはそれ相応の罰を与えるべきだと思う。こういった悪意を持った人間を無くすことはとても難しいと思う。だから、私は守ることを優先して取り組んで欲しい、そう考える。
168	DV被害を受けている人は、その判断が出来ない場合もあるので、自分のされてることが理解できるような場面を子どものころから教育し、気付ける社会を作ってあげればと思います。
169	被害者を出さないために若い人たちへ教育してほしいです。自分の心と身体を守ることに知らせることは大切と考えます。また負の連鎖を断つ為、加害者について更生や心のケアが必要なのではないかと感じます。
170	知っているつもりでも知らないことが多々あると実感しました。今回このような機会をいただき、ありがとうございました。困っている人が助けを求められる社会、子どもが守られる社会になってほしいです。

171	<p>改まって DV やデート DV に関してあまり考えた事無かったですし、私の周りにも被害あった！と聞いたことなかったのですが、今回任意ですが凄く考えさせられました。 自分の中ではデート DV になっていないと思ってましたが、避妊してもらえないのは向こうの身勝手な理由で私が理解してしまったのはやはり間違った行動だったのだなって今思えば感じました。その方とはすぐお別れしたのですが、その後も自分が妊娠していないか？避妊していないからこその病気や妊娠の恐怖がジワジワあり仕事の手が付かない時期があったので、今回本当改めて良かったです。ありがとうございます。 私みたいに知らず知らずのうちに DV やデート DV 受けてる方がおられると思います。その方のためにも頑張ってください！どこに相談したら良いのか分からない方多くおられると思いますのでどこに相談したら良いのか声を大にしてわかりやすく発信してほしいです。 よろしくお祈りします。</p>
172	<p>SNS を活用した取組みが必要だと思えます</p>
173	<p>被害者、加害者共に、お互いの思考や価値観の矯正が必要だと思えます。そこで、カウンセリングや心理的ケアの充実が重要と考えます。</p>
174	<p>男性被害者への取組も必要と思えます。</p>
175	<p>DV 被害者支援の職務経験があります。施設入所までを支援しましたが、被害者は禁止されていた携帯電話ですぐに夫と連絡をとり、ハネムーン期となり1ヶ月もしないうちに夫の元に戻って行きました。数年後、再度被害に遭い、子を2人連れ再度避難。 成人の場合は、本人の意思があれば周囲がどんなに説得してもあえて加害者のところに戻ってしまうことがあります。心理的に支配されている状態が続いているからです。最近話題になっている宗教虐待にも相通じるところがあり、法整備や医療的介入が必要な部分です。 被害者自身にもまだ相手のことを信じたい気持ちが残っているため、支援者は相談者に寄り添う以上に加害者を責める態度をとると、後々被害者から不信を抱かれることがあります。(実際にそういう場面を経験しました)被害を相談している状態の時と、安全なところで少し落ち着いた状態の時とは別の人格の人物と話しているくらいの差があります。 性的同意が13歳から16歳に引き上げられる刑法改正の議論があります。 日本では水着で隠れるところは、人に見せない、触らせない、というところの教育どまりです。 「性交」については学校ではまだ教えてはいけないことになっています。ただ、きちんと教えられる家庭がどれくらいあるのか疑問です。性交について触れてはいけないのに、どこで同意、承諾について学ぶのか。やはりこれは全員が通う義務教育中にきちんと大人が教えるべきことです。 この性についての教育の空白が、DV や児童虐待などにもつながっています。 性的な被害に気をつけるように講演した人が、「自分が父親からされているのは性交なのか」と小学生から相談されたケースもあるそうです。性交、を真正面から講義できなくても、あらゆる方面から性に関する正しい情報を学校現場に啓発していく機会は大事です。加害者は大人だけとは限りません。子ども同士でも、被害者加害者関係は発生します。 性について知識を持った子が、知らない子に間違った情報を流したり、本心は嫌がっていても無理やりポルノを見せたりすることも暴力になり得ます。そして実際わいせつなことをしたりさせたりする子自身(加害者)が、身近なところで自身が被害者であったりします。子どもの世界の被害者加害者は、実は全員被害者でもあります。 残念なことに、日本はアダルトビデオの発信が世界一と言われていています。性教育の遅れと無関係ではないと思えます。 男女共同参画課だけにとどまらず、児童相談所、各学校、教育委員会、消費生活センター、警察などと連携し、特に義務教育に特化した啓発活動の充実をお願いします。大津市ははじめ問題もありました。先進的な人権を重視する基本計画の策定をしてください。</p>
176	<p>DV における相談場所としてもっとひとまとめにすると対応策のレパトリーを増やすという点においていいと思った。それに、対応件数が多い方が信頼できると考えた。</p>
177	<p>特に無し</p>
178	<p>自分が受けている DV が DV だと自覚していない人がいると思えます。特に子どもは虐待を受けていると自覚しにくく、自分が悪いんだと思ってしまいがちです。tiktok や Twitter などの拡散力のある SNS を活用し、こんなことがあったら相談してと呼びかけると有効ではないかと考えます。</p>

179	大津警察のDVの定義に対する知識の甘さをどうにかしてください。
180	今回交際私情のもつれによりご迷惑をおかけしDVではないかと思われる行為をしてしまい申し訳ございません。しかし、その後電話にて相談させていただいた件については、動いていただきたいです。関係のない被害者が出る前によくお願い致します。お電話いただければ全て答えます。
181	加害者は長い時間を経て形成された広義の慢性的な病気である（すぐにはなくなる）と捉えられるので、医療に相当する認知・インフラを整備することが短期・中期的には必要。長期的には、教育課程を教育システムの在り方と共に見直す必要がある。
182	一昨年の冬ごろ、通勤路にある家から、柔道の投げ技のようなすごい音が聞こえたことがありました。何回もドスン！と言う音がしていたのでびっくりして立ち止まっていたら、子供が「僕が悪かったから許してください」と言っている声が聞こえました。ただ、これがDVなのかどうなのか分からず、毎日同じ道を通ることから何回も続くようだったら警察に言おうと思っていました。しかし、このようなことはそれ以降起こらず、またそのお宅のお子さん（おそらく）も元気な顔で家から出てきて友達と遊んでいるのも見かけたので報告しなくても大丈夫だろうと判断しました。DVについてはこの言う言わないという判断、線引きがすごく難しいと思います。（人は感じ方が違うので、ただの親子喧嘩、夫婦喧嘩も大事か否か判断が難しい…）
183	DV被害者にとって、加害者への恐怖は計り知れないものがあると思う。各相談窓口に行って相談（または保護）された場合、個人情報を守られるという確信がないと不安があるはず。実際公的機関から被害者の住所等が加害者に知れたと報道されたことが何度かあった。被害者が安心して頼れる仕組みであり、被害者の情報が守られる仕組みを確立し、それを市民に知らしめることが大切であると思う。
184	いじめの問題もそうですが、被害者側が逃げたり匿われたり、生活に支障をきたすことが多い一方で、加害者側が何の制限もなく生活を送れているのは、おかしいなと思います。判断が難しいところではあると思いますが、世の中に、加害者側に精神的な治療が必要であるという考え方などもできていけば、もう少し対策の幅も広がるのかなと思います。
185	DV等について、深く考えたことはなかった。メディアで見るだけのもので、どこか他人事感じていた。相談窓口のことを考えたときに、何も知らない、知ろうともしていなかったことに気付いた。中学生からでも教育してもらえる機会が何回かあっても良いものではないかと思う。
186	加害者側は自分の気持ちのまま暴れていること、していることについて気づいてないことが多い。だからこそ、相手の怒りの沸点が分からないため被害者側も身動き取れなくなる。やられるがまま。助けを求めようが相手には伝わりにくいし、思い出すと泣いてしまう。自分の心のコントロールすら出来なくなる。新しいパートナーができてこのトラウマとなったことは抜けられない。そのせいで毎日ビクビクする。新たなパートナーにも申し訳なる。大きな物音、大きな声には無意識に反応してしまう。加害者側だけが全て悪い訳じゃないと思う。子供の頃の環境が大きく影響しているのは間違いないと思う。日本自体の子育てに関する考え方が古い。悪い。もっと男性が子育てに前向きに参加出来ることができたなら、母親だけが負担を追うことなく、親同士も仲良くなり子供もすくすく育つことが出来ると思う。DVについて詳しく知る人は少ないと思う。自分は違う違うと思っている人は多いと思う。これは被害者も加害者にも言えると思う。被害にあっている人が1人でも少なくできるようにしたい。加害者側にも心のコントロールできるやり方など、配信して欲しい。証拠がないと警察は動いてくれない。役所、センターなどは人目があっていきにくい。snsなのでも相談できる窓口を沢山作って欲しい。人が目にできる機会を増やして欲しい。
187	離婚していますので、現在直接的なDV被害に遭う事はありませんが、養育費の未払いはそれには当たらないのでしょうか。離婚当時公正証書を作成しましたが、数ヶ月で未払いになり、携帯も解約されて、請求もできません。困っています。



188	昔の話です。すでに両親とも死んでいますが、私が小学生頃まで父が、母を殴るのを何度か目撃しました。父が何か気に食わないことがあり、急に怒り出す状況でした。ただ恐ろしく怖くてショックで父の暴力止めることが出来ませんでした。父は戦争に従軍しその時の影響で時々感情の抑制が効かないことを悲しそうに母は後で話してくれました。特に訳の分からない子供の前の暴力は虐待として心の傷として残っております。
189	周りを見ていて感じるのは、DVが当たり前の環境で育ってきた人ほどDVやそれに近い言動に抵抗が薄く、何がいけない事なのかの自覚がないまま同じような行動を他者に対してとっているなど感じる。女性の場合、交際相手から雑に扱われていても特に疑問に感じていなかったりする場合もあり、話を聞いていると育った家庭でDV的な光景が当たり前だった様子がうかがえ、問題の根は深いなど感じた事が多々あった。
190	だいぶん、だいぶんと言弊があるとは思いますが、格闘競技自体がある限りは、無くならないと思います。人を痛めつける競技の意味が全くわかりません。強いがかっこいい。ってのが、意味がわかりません。なので、DVは無くならないと思います。一つの意見として参考にして下さい。
191	結局デートDVが何のことかわかりません。
192	本調査を通し、DVに関する相談機関が複数存在することを知りました。若年層において、本調査に記載されている機関を全て知っているという人は少ないのではないかと感じました。
193	DV等を受けている人が声を上げやすい環境とそれに対する保護しやすい環境作りが重要だと思うのでそのような施設が充実すればいいと思う。
194	価値観は時代によって変遷するものです。戦前に親からの厳しい躾を経験した者にとって、それらが自主・自立・責任・義務・参加・協働など自らの価値観の根底に生きていと感謝しています。今日ではそれらの程度や種類によってはDVに分類されるようです。躾とDVとは微妙な差異があり、その意図や方法から峻別されることでしょう。学校教育や社会教育での人権擁護への敷衍を期待するとともに、人と社会や環境に対する理解や多様性への関心と、他方ではそれらへの責任や義務を再認識したいものです。
195	DVを引き起こしている当事者も救われる施策を希望します。
196	加害者側の特性や心理分析、DVに至る根本的な原因等を若年者層に分かりやすく伝え、加害者にならない教育が必要だと思います。加害者は常に自分は悪くない、自分を怒らせる相手が悪いと思っている様に感じます。後は被害に遭われてる方を積極的に守り救う機関が必要だと思います。話を聞くだけではなく。

「自由記述については、判別不明なものなどは伏字で表示する等を行っています。」